

# 島根県における労働者の生活満足度調査 報告書

2008年7月

上園昌武・伊藤勝久

日本労働組合総連合会島根県連合会（連合島根）

報告書の執筆者

上園昌武（島根大学法文学部・准教授）

伊藤勝久（島根大学生物資源科学部・教授）

本報告書は、島根大学プロジェクト研究推進機構「重点研究部門」の「中山間地域における住民福祉の向上のための地域マネジメントの構築」（2005～07年度）の研究成果の一部である。

本調査に関する問い合わせ先

島根大学法文学部 准教授 上園昌武

電話：0852-32-6137 E-mail：uezono@soc.shimane-u.ac.jp

連合島根 事務局長 堀内幹夫

電話：0852-21-8105 E-mail：horiuchi@shimane.jtuc-rengo.jp

## 目次

### 調査結果の概要

#### I. はじめに

1. 調査の目的
2. 調査の手法
3. 回答者の基礎データ

#### II. 労働環境への意識

1. 仕事とストレス
  - (1) 会社の業績と賃金変化
  - (2) 労働時間と残業時間
  - (3) 健康状態・ストレス・うつ病
  - (4) 働きがい
2. 転職と失業
  - (1) 転職願望と失業への危機意識
  - (2) ワーキングプア

#### III. 日常生活への満足度

1. 「自由な時間」への欲求
  - (1) 睡眠時間と「自由な時間」
  - (2) 長期休暇（夏冬休み）への欲求
2. 日常生活と家庭への認識
  - (1) 日常生活への満足度
  - (2) 世帯の金銭的なゆとり
  - (3) 家族との関係
  - (4) 日常生活への希望と現実

#### IV. 地域との関係

1. ソーシャル・キャピタルの豊かさ
  - (1) 隣近所・地域とのつきあい
  - (2) 地域への信頼感
  - (3) 自治会・町内会への参加
2. 地域への愛着さと将来展望
  - (1) 地域の現状
  - (2) 地域への愛着
  - (3) 地域の将来展望

資料（質問票）

## 調査結果の概要

本調査の目的は、島根県内の労働者を対象に、日常生活の満足度と将来展望を把握することであり、以下の点について明らかとなった。

### 1. 日常生活への満足度

日常生活への満足度が高い人は、睡眠時間と「自由な時間」が十分であること、家族との食事をほぼ毎日とり、コミュニケーションが十分に行われていること、隣近所とのつきあいが深く、地域に愛着を感じ、地域や見知らぬ土地の他人への信頼感が高いこと、自治会や町内会に参加し、地域との関わりが強いこと、1週間の労働時間が40～44時間（残業が4時間以内）であること、ストレスは感じながらも、うつ状態にまで精神的な負担が少ないことなどの条件を満たす傾向がある。

一方、日常生活への満足度が低い人は、睡眠時間と「自由な時間」が不足がちであること、家族とのコミュニケーションが不十分であること、地域への愛着が弱く、地域への信頼が低いこと、1週間の労働時間が45時間（残業が5時間以上）を超えること、ストレスを強く感じ、うつ状態又はそれに近い状況にまで精神的追い込まれていることなどの条件を満たす傾向がある。

「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度については、希望する日常生活で「家庭生活」を優先したい人が全体の7割以上を占めているが、現実の生活では「仕事」が優先されている。とくに、25～44歳の人には「家庭」を重視したいと考えている人が多い。

年齢が高くなるに従い、自由な時間の満足度が高まる。25～29歳が自由な時間での満足度が最も低い。所得水準が上がるにつれて、職場に対する満足度が上昇し、日常生活の満足度も高くなる傾向がある。

### 2. 地域別の特徴

地域別で差が認められた主なものを以下の通りに示す。

- ・ 転職願望や失業への危機意識は、賃金の低下と相関関係があり、飯石郡や仁多郡でやや高い。
- ・ 自由な時間に対する満足度が高いのは隠岐郡、鹿足郡で、低いのは邑智郡である。また職場への満足度が高いのは邑智郡、八束郡で、低いのは大田市であった。
- ・ 仁多郡、鹿足郡、隠岐郡、邑智郡は隣近所とのつきあいが深い人が多数だが、松江市や八束郡では、隣近所が誰なのかもわからない人が1割強を占める。町内会・自治会への関与の度合いも同じ傾向が見られる。こうした要因が地域への信頼度の大小に大きく寄与している。
- ・ 日常生活の満足度には様々な要因が影響しているが、地域間の差はそれほど大きくない。隠岐郡が最も良好だが、浜田市や松江市などの都市部も満足度は高い。ソーシャル・キャピタル（家族、地域、職場とのゆるやかで多様な人的なネットワークの形成）が豊かな中山間地域（仁多郡や雲南市）では逆に満足度が低い地域もある。
- ・ 将来の地域展望については、飯石郡、鹿足郡、仁多郡、雲南市で悪化すると感じている人が半分以上を占める。これは、過疎化への認識の強さが大きく影響し、地域社会

の変化や普段つきあいのある人の高齢化など、日常的に交流が深いために将来を悲観する結果に結びついていると推察される。

### 3. 結論

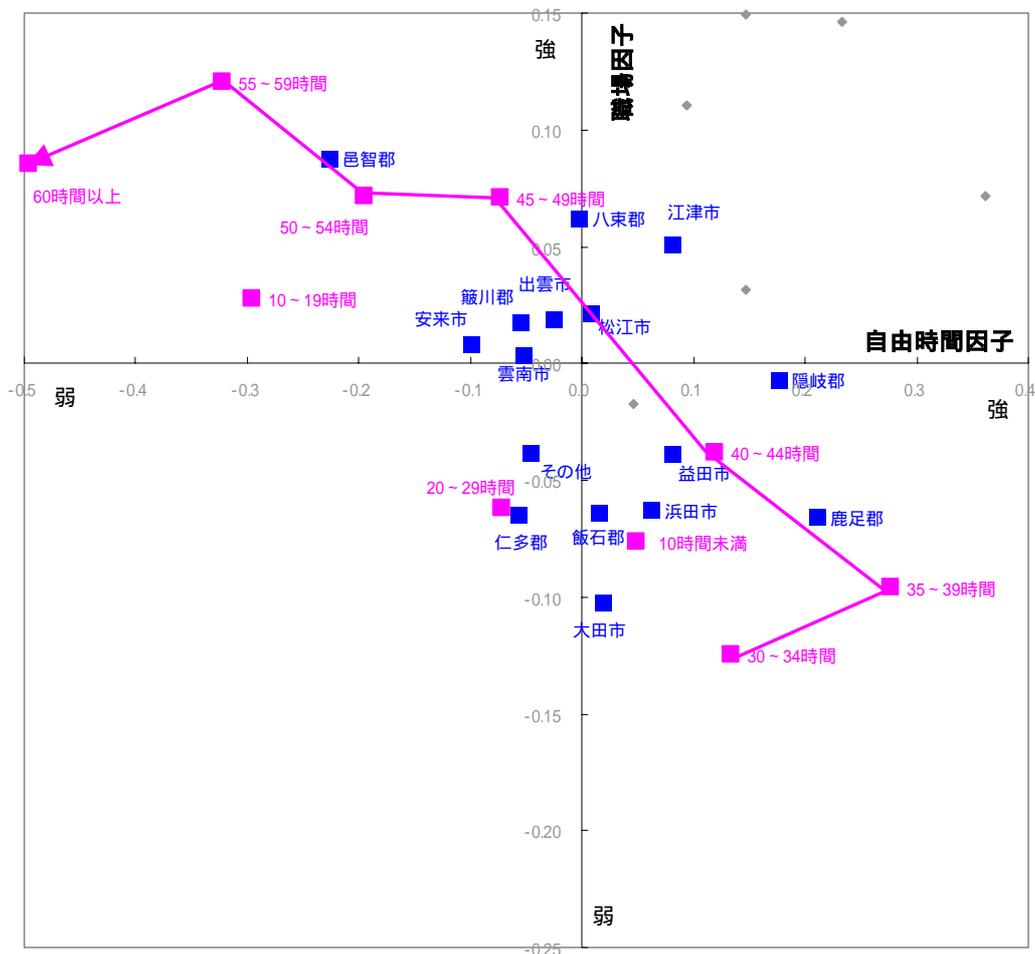
島根県全体でみると、労働者の生活満足度は全国的に見ても高いことが明らかになった。しかし、今回の調査は連合島根に加盟する正規雇用者が対象であり、非正規雇用者がほとんど含まれていないことに留意する必要がある。

労働時間の長さ（通勤時間を含む）は、睡眠時間や「自由な時間」、家族とのコミュニケーションの時間の多少に影響を与える。長時間労働であれば、生活への満足度を低くし、ストレスやうつ病などの形で精神的に大きな負担になっている可能性が高い。

中山間地域では、人への信頼や地域社会への愛着が強い傾向が確かめられた。その要因は、今もなお地域での交流が活発に行われており、島根県のソーシャル・キャピタルの高さによるものが大きい。しかし、過疎化の進展により、将来展望が悲観的となり、豊かなコミュニティ能力の減衰を招く事態となっている。松江市や八束郡などの都市部では、ソーシャル・キャピタルがすでに小さくなっており、コミュニティ能力が弱くなっている。それは昔ながらの地域社会が残る一方で、若年労働者や転勤労働者などの他地域からの流入者が多く、こうした人は地域社会に入れなかったことが要因だと推察される。

以上より、残業のない40時間労働と正規雇用を守ることが、良好な家族・地域関係を維持し、個人の精神的なゆとりを保障する。また、それは豊かなソーシャル・キャピタルを維持し、コミュニティ発展の必要条件であることが明らかとなった。

◆参考 自由時間因子と職場因子への影響



ここでは、生活満足度を構成する指標のうち、「自由時間因子」と、職場満足度の指標として「職場因子」を取り上げる。

自由時間因子とは、「睡眠時間が十分か」(問 17)と「自由な時間が十分か」(問 18)の回答結果で構成され、職場因子とは、「働きがいを感じるか」(問 11)と「職場で自分が必要とされているか」(問 12)の回答結果で構成されている。

0 から 1 に近づくほどその程度が強くなり、0 から - 1 に近づくほどその程度が弱くなる。例えば、鹿足郡の場合、自由時間因子が + 0.2 で他地域よりも強いが(自由時間と睡眠時間が十分と感じる人が多い) 職場因子は - 0.06 でやや弱い(働きがいが低いと感じる人がやや多い)。

1 週間の労働時間が長くなるほど、自由時間因子が弱くなるが、職場因子が強くなる(折れ線)。ただし、1 週間の労働時間が 60 時間を超えると、職場因子が弱くなり(+ 0.08)、自由時間因子は極度に弱くなる(- 0.5)。「40 ~ 44 時間」は自由時間因子がやや強く(+ 0.12)、職場因子が若干弱くなり(- 0.04)。「45 ~ 49 時間」では自由時間因子がやや弱く(- 0.08)、職場因子がやや強くなる(+ 0.07)。この程度の労働時間が、生活満足度と職場満足度の両者が最も良好な水準にあると言える。

## I. はじめに

### 1. 調査の目的

近年、格差社会やワーキングプア、サービス残業を含む長時間労働などの労働条件が悪化する諸問題が顕在化している。また、島根県はとくに中山間地域で過疎化と高齢化による限界集落の崩壊が進行しており、過疎地域特有の社会不安が漂っている。

しかし一方で、島根県の一般的な労働者は、東京などの大都市圏と比較すると通勤時間を含めた労働時間が短く、家族や地域とのつながりが深くでき、自分のために時間を費やすことができるため、日常生活への満足度が高いと考えられる。2002年に内閣府が実施した調査によると<sup>1</sup>、島根県はソーシャル・キャピタル（家族、地域、職場とのゆるやかで多様な人的なネットワークの形成）が全国で最も豊かな地域であることが明らかとなった。人間は社会生活を営む限り、人的なつながりの豊かさが生活の質を高め、日常生活への満足度に相当な影響を与えるはずである。

本調査の目的は、島根県内の労働者を対象に、日常生活の満足度と将来展望を把握することである。これまでに労働者の意識調査は全国で数多く実施されてきているが、地方に絞って日常生活や地域コミュニティの実態を明らかにした調査・研究はほとんどみられない。

労働者の生きがいは、所得・生活水準、働きがい、家庭・地域社会とのつながり、「自由な時間」の程度に複合的に依存すると考えられる。ワークライフ・アンド・バランスは育児・子育てに限らず、地域社会とのつながりや個人の自由な時間の確保も重要である。一般的に、地方在住者は都会在住者に比べて生活に時間的なゆとりがあり、家族や地域とのコミュニケーションが活発で、より人間らしい暮らしを営んでいると想像されている。一方で、過疎化問題やワーキングプア問題などで厳しい将来展望もある。

労働者は家庭や地域社会の中心的な存在であり、この階層が日常生活の現状と将来をどのように考えているのかを明らかにすることは、様々な政策の基礎データとして貴重かつ重要である。また、これらの点について、松江や浜田などの平野地域と中山間地域という地域の違いや年代別に、共通点や相違点を明確にすることも重要である。

### 2. 調査の手法

調査の対象者は、日本労働組合総連合会島根県連合会（連合島根）に加入している労働者（組合員）である。

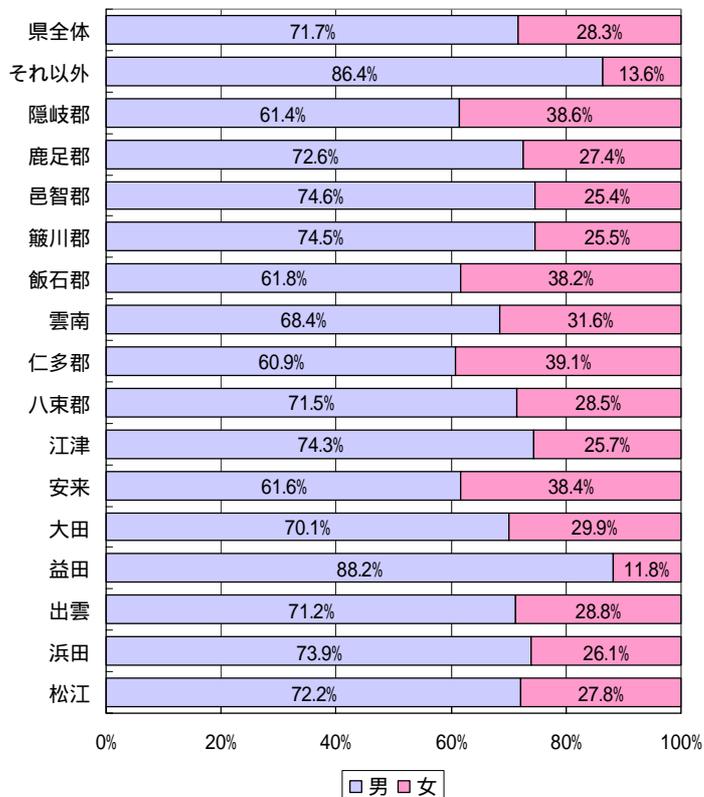
調査の方法は、質問票（資料を参照）とマークシート形式の回答用紙を31,523枚配布し、15,694人から回答を得た（有効回答率：49.8%）。調査の実施時期は、2008年1月下旬から2月末日である。

---

<sup>1</sup> 内閣府国民生活局（2003）「ソーシャル・キャピタル～豊かな人間関係と市民活動の好循環を求めて」

### 3. 回答者の基礎データ

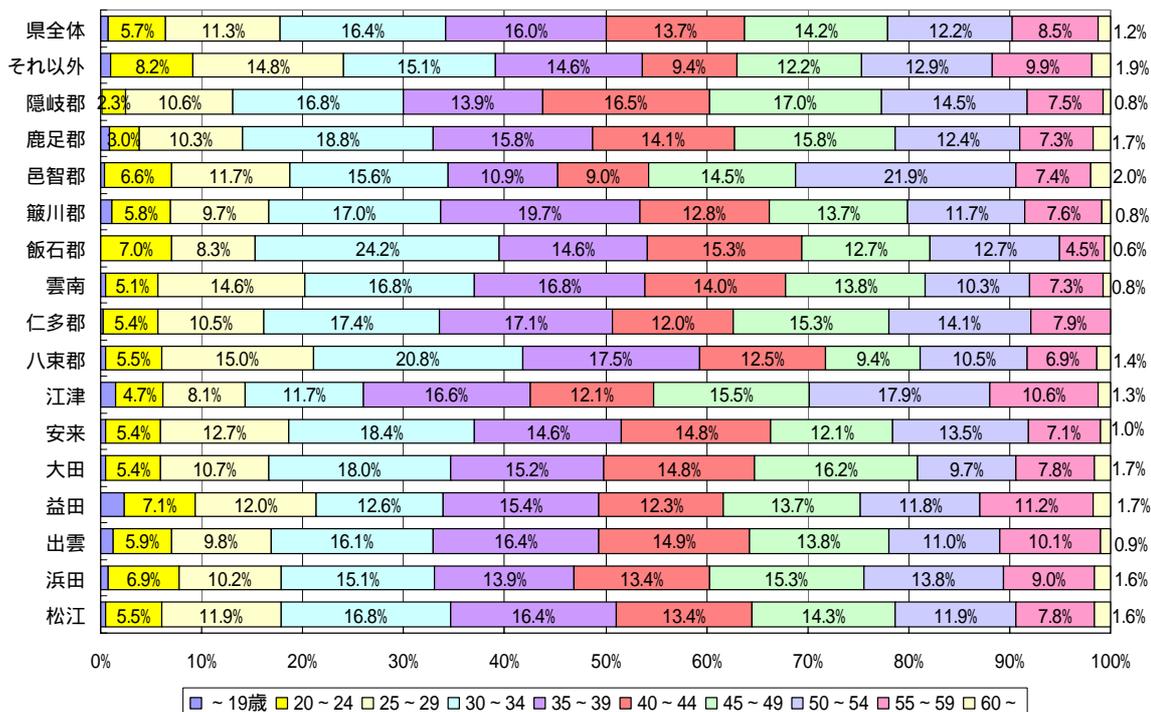
F 1 あなたの性別はどちらですか。 <有効回答数 (n) =15,619>



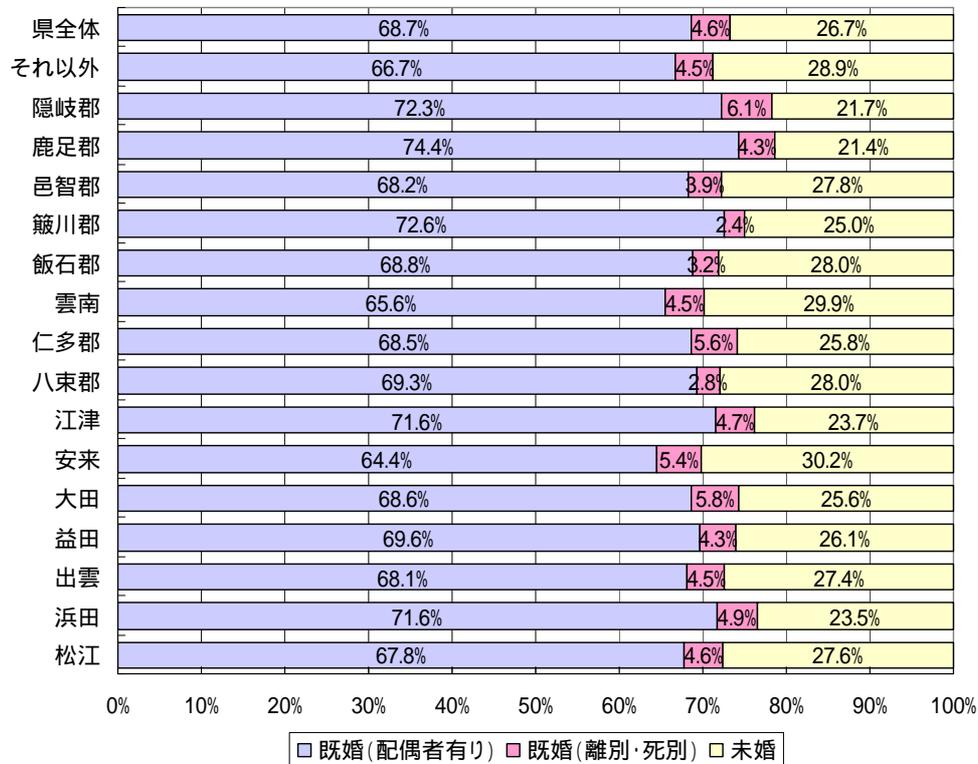
	男	女	全体
県全体	11,205	4,414	15,619
それ以外	368	58	426
隠岐郡	394	248	642
鹿足郡	170	64	234
邑智郡	191	65	256
簸川郡	529	181	710
飯石郡	97	60	157
雲南	902	417	1,319
仁多郡	238	153	391
八束郡	258	103	361
江津	411	142	553
安来	388	242	630
大田	506	216	722
益田	575	77	652
出雲	2,294	926	3,220
浜田	1,065	377	1,442
松江	2,819	1,085	3,904

「それ以外」は島根県外を指す

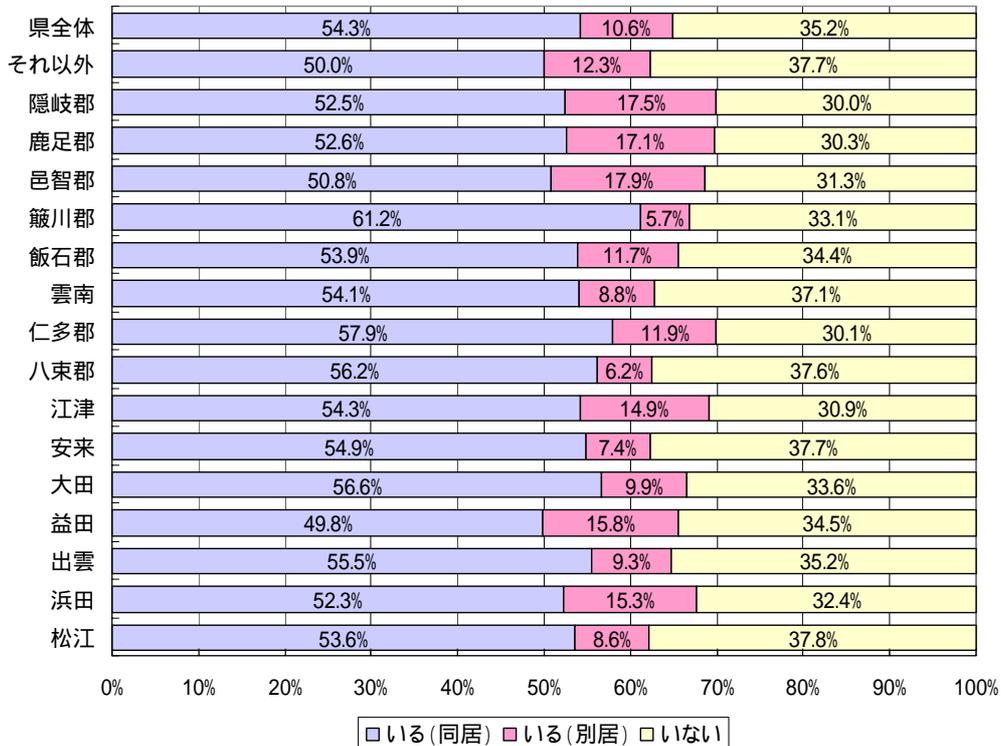
F 2 あなたの年齢は何歳ですか (2007年4月1日の満年齢) <n=15,616>



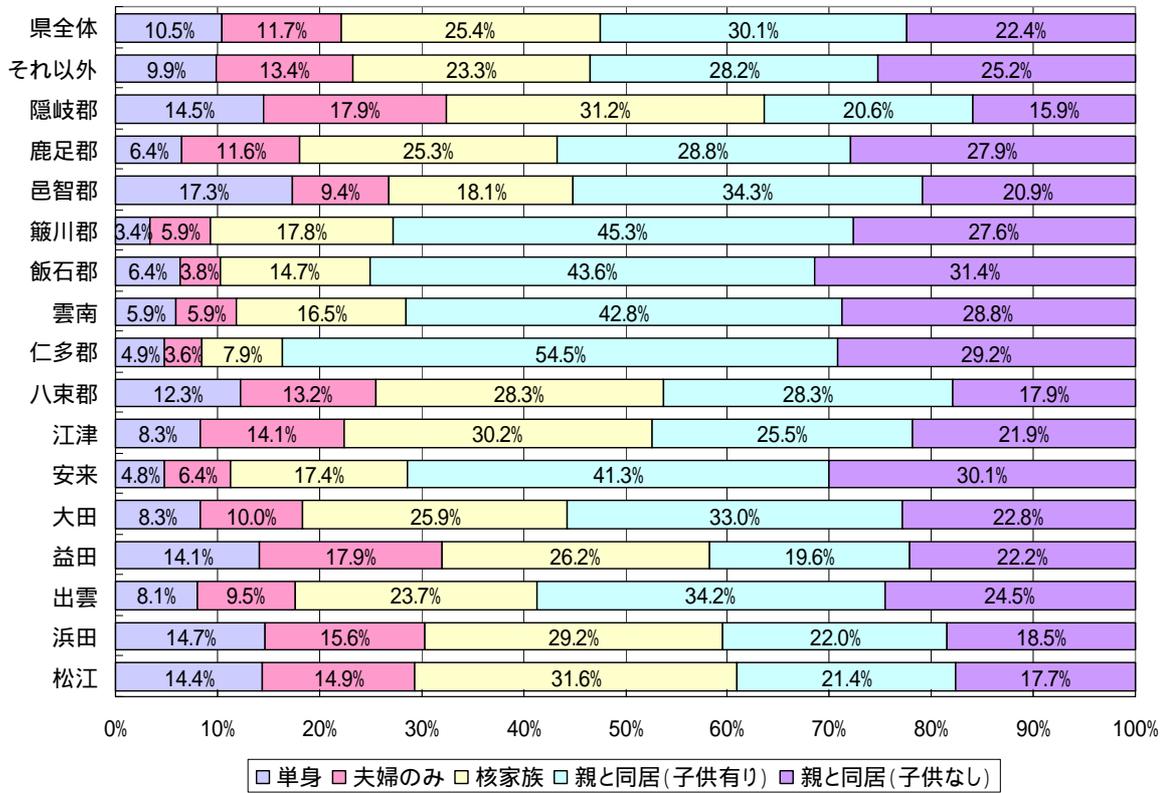
F 3 あなたは結婚していますか。 <n=15,694>



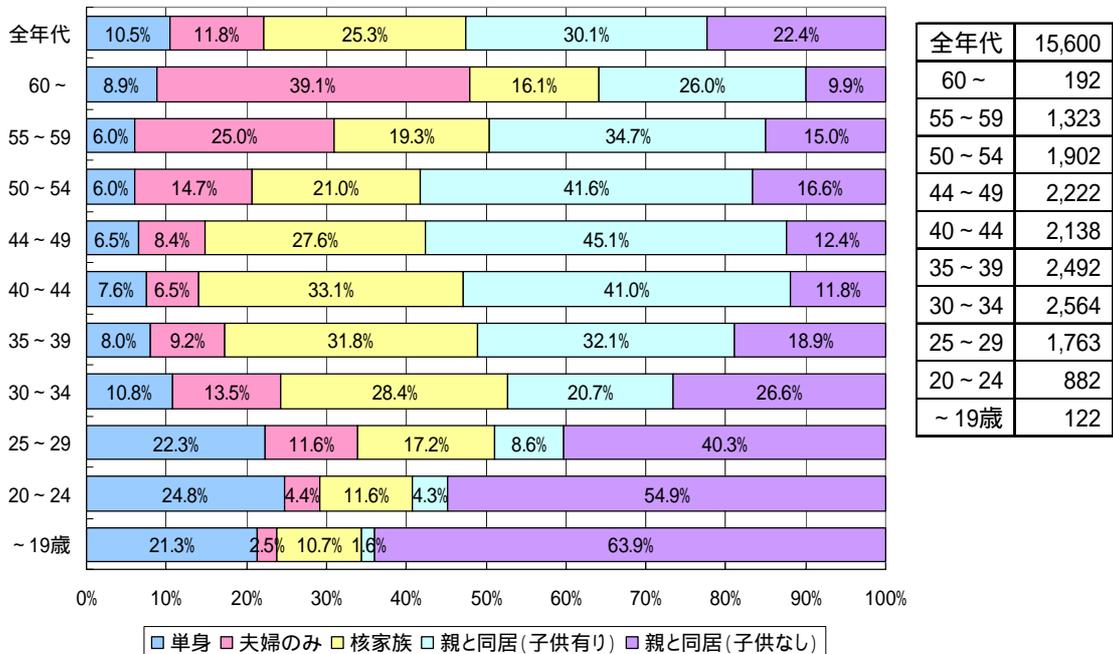
F 4 あなたには子供がいますか。 <n=15,308>



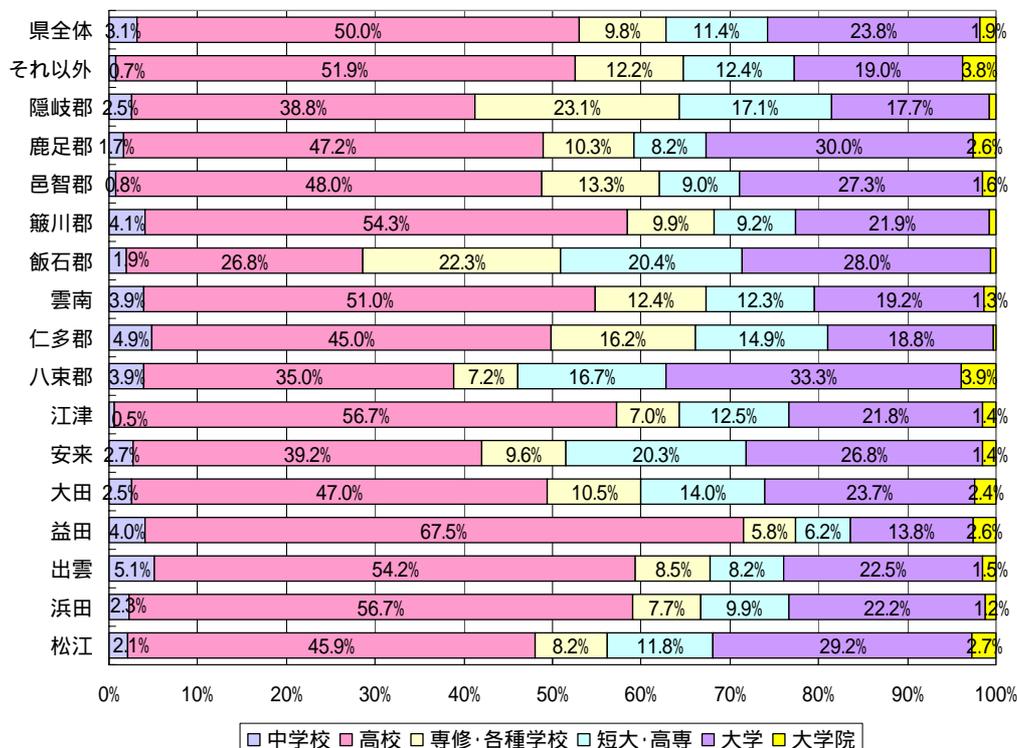
F 5 あなたは親と同居していますか。 <n=15,544>



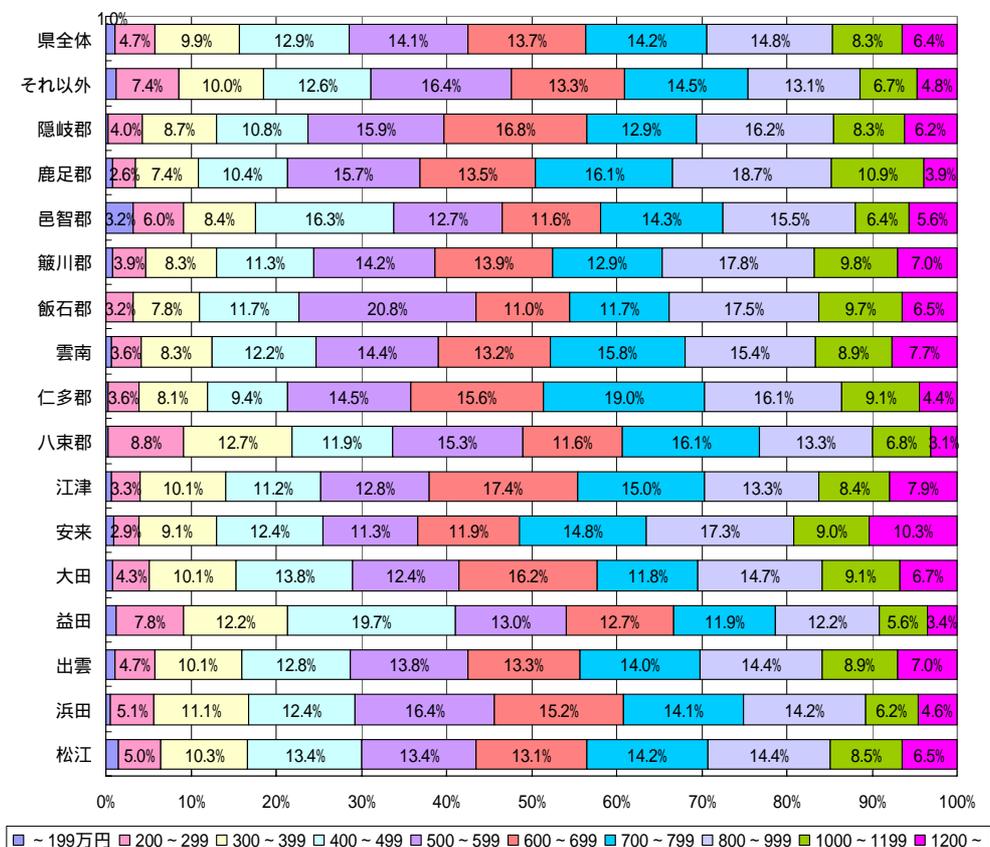
年代別 <n=15,600>



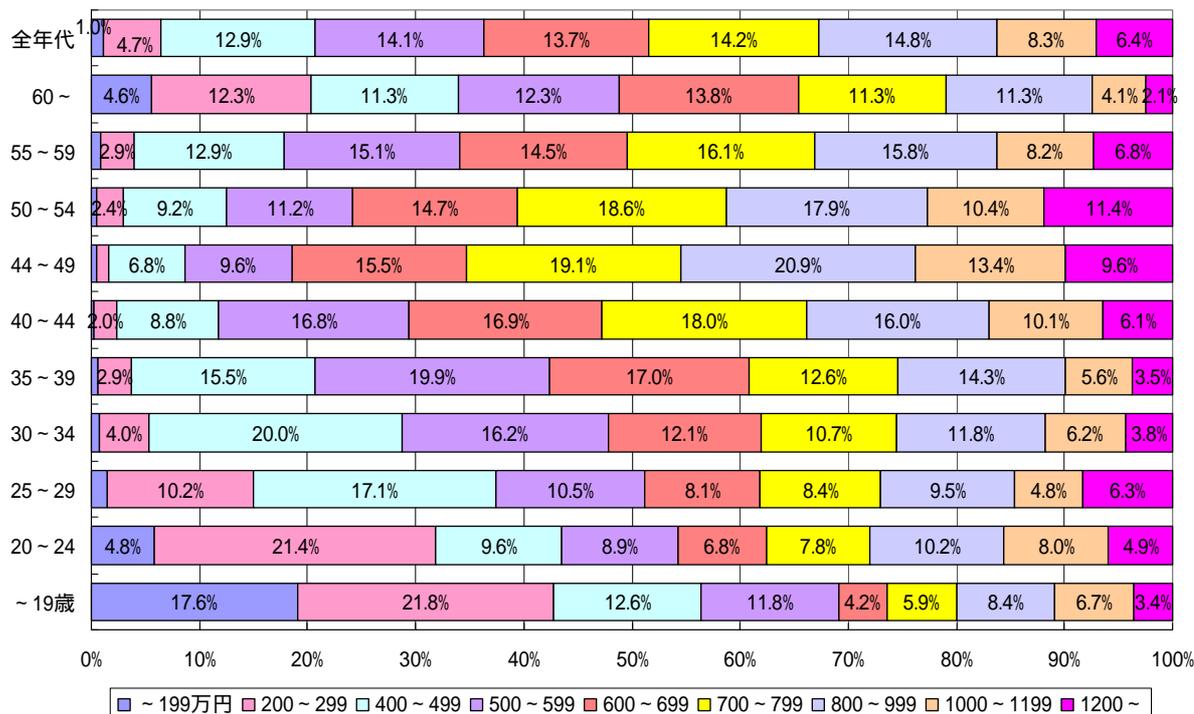
F 6 あなたの最終学歴をお答えください。 <n=15,591>



F 7 あなたの世帯全体の年収（税込み・一時金込み）をお答えください。 <n=15,306>



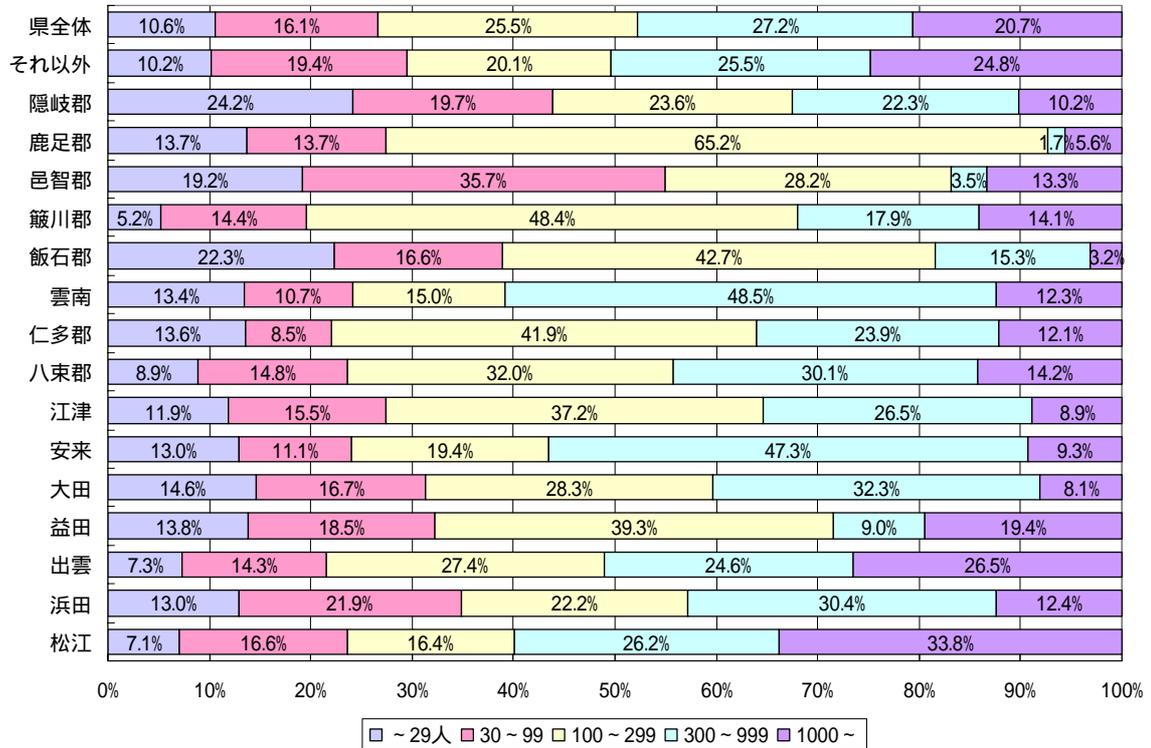
年代別の世帯収入 < n=15,357 >



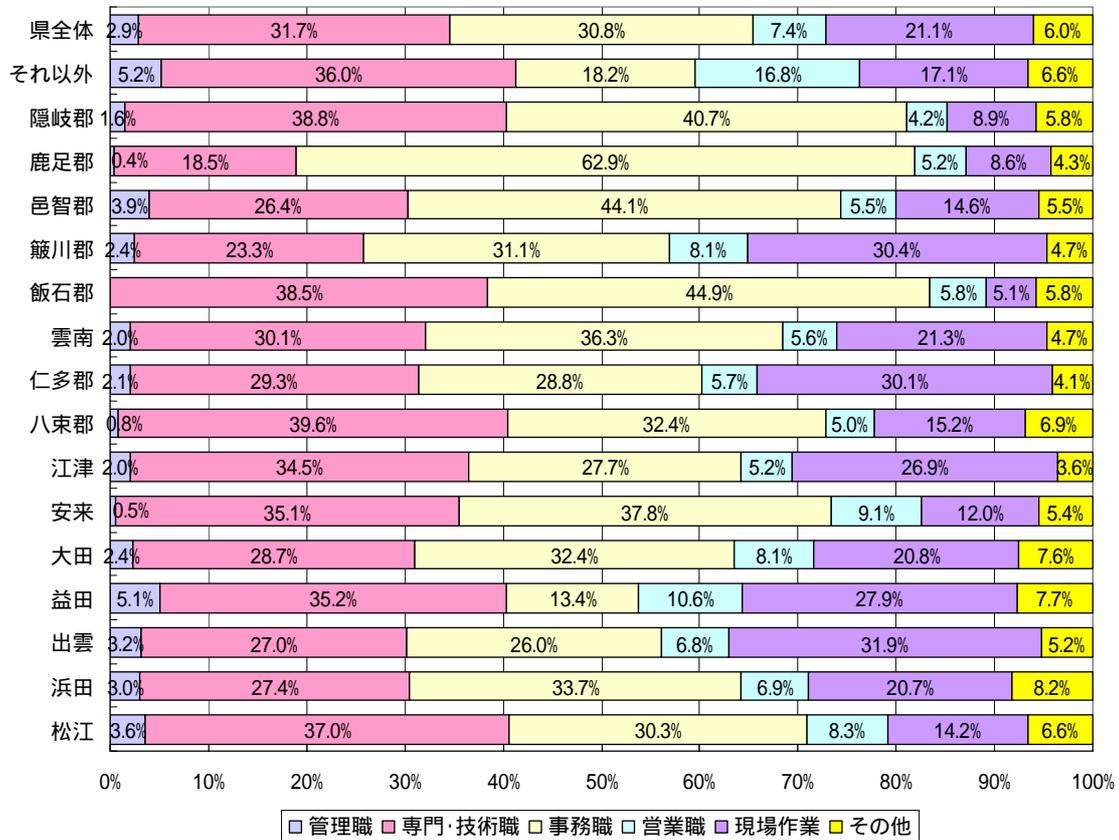
F 8 あなたの職場の業種をお答えください。 < n=15,486 >

	建設	食飲料	繊維	合板	紙パ	印刷	鉄金属	一般機械	電気機器	輸送機器	電気通信	鉄道バス	道路貨物	卸小売	農協	自動車学校	金融保険	公務員	その他
松江	5.6%	1.0%	0.4%	0.5%	0.0%	0.8%	1.6%	4.7%	2.9%	0.3%	20.1%	0.9%	2.4%	6.0%	3.7%	0.1%	1.9%	35.5%	11.5%
浜田	2.4%	0.0%	0.1%	0.7%	0.8%	0.1%	0.4%	4.0%	0.9%	1.8%	13.1%	7.6%	3.5%	1.0%	4.2%	0.0%	4.1%	40.4%	14.9%
出雲	2.2%	0.5%	7.2%	0.0%	0.0%	0.8%	12.6%	4.5%	4.6%	2.7%	11.8%	3.0%	2.3%	2.3%	0.6%	0.0%	2.2%	31.7%	11.2%
益田	3.6%	0.2%	13.3%	0.8%	0.5%	3.9%	0.6%	1.4%	0.2%	0.8%	22.9%	7.6%	2.6%	4.0%	4.2%	0.0%	4.5%	11.9%	17.1%
大田	1.4%	0.7%	8.2%	0.0%	0.7%	0.0%	3.8%	1.0%	0.3%	0.6%	4.6%	4.0%	1.5%	2.8%	8.6%	0.1%	1.8%	44.7%	15.2%
安来	2.2%	0.5%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	2.9%	8.3%	1.6%	0.0%	6.3%	1.6%	2.1%	7.5%	8.3%	0.0%	1.6%	49.8%	7.1%
江津	1.5%	0.0%	0.2%	0.2%	17.8%	0.2%	0.4%	1.1%	9.7%	0.7%	7.0%	2.6%	3.5%	0.7%	2.2%	0.0%	2.7%	38.8%	10.8%
八束郡	2.0%	1.4%	0.0%	0.6%	0.3%	1.1%	2.8%	25.1%	2.8%	0.0%	6.1%	0.6%	2.2%	5.6%	3.1%	0.0%	0.8%	33.0%	12.6%
仁多郡	0.3%	0.0%	4.4%	0.3%	0.0%	0.0%	2.3%	7.0%	22.4%	0.0%	2.8%	1.3%	2.3%	0.5%	8.8%	0.0%	5.9%	34.5%	7.2%
雲南	1.2%	0.2%	0.6%	0.2%	0.0%	0.2%	3.8%	8.0%	14.4%	0.6%	5.6%	2.8%	2.4%	1.4%	7.7%	0.0%	4.9%	38.3%	7.7%
飯石郡	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.6%	0.6%	0.0%	1.9%	1.3%	0.6%	0.6%	15.5%	0.0%	5.2%	67.1%	4.5%
簸川郡	1.4%	0.3%	3.1%	0.0%	0.1%	0.9%	7.8%	5.3%	5.3%	10.7%	8.9%	2.1%	2.1%	2.4%	10.7%	0.0%	2.8%	27.3%	8.8%
邑智郡	2.7%	0.0%	7.1%	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%	0.4%	9.4%	2.4%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	59.2%	9.0%
鹿足郡	1.7%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	1.3%	2.6%	0.4%	4.8%	0.0%	4.3%	73.2%	5.2%
隠岐郡	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.2%	0.0%	8.8%	0.0%	0.0%	0.2%	3.1%	0.2%	3.9%	73.5%	6.6%
それ以外	1.4%	0.2%	1.4%	0.0%	0.2%	0.5%	1.6%	11.3%	2.1%	0.7%	20.7%	8.5%	1.4%	12.9%	1.4%	0.0%	0.7%	13.9%	20.9%
県全体	2.9%	0.5%	3.0%	0.3%	0.8%	0.6%	4.2%	4.9%	4.3%	1.4%	12.6%	2.9%	2.3%	3.4%	4.2%	0.0%	2.8%	37.3%	11.3%

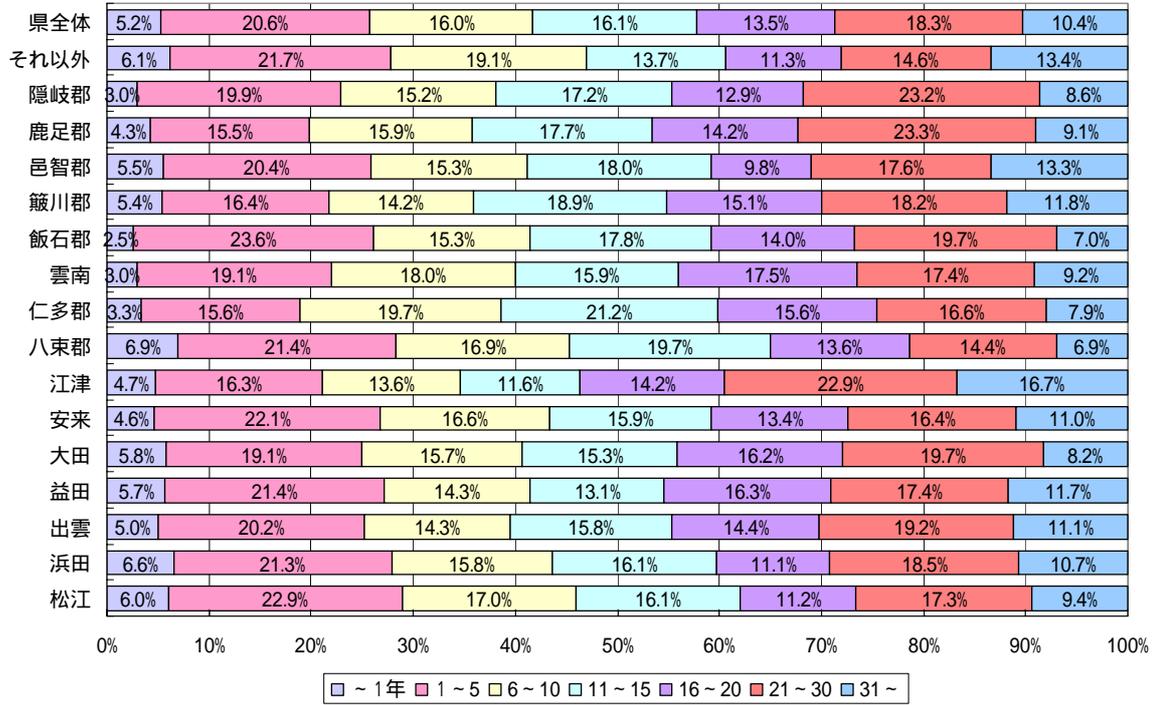
F 9 あなたの職場（会社）の規模をお答え下さい。 <n=15,510>



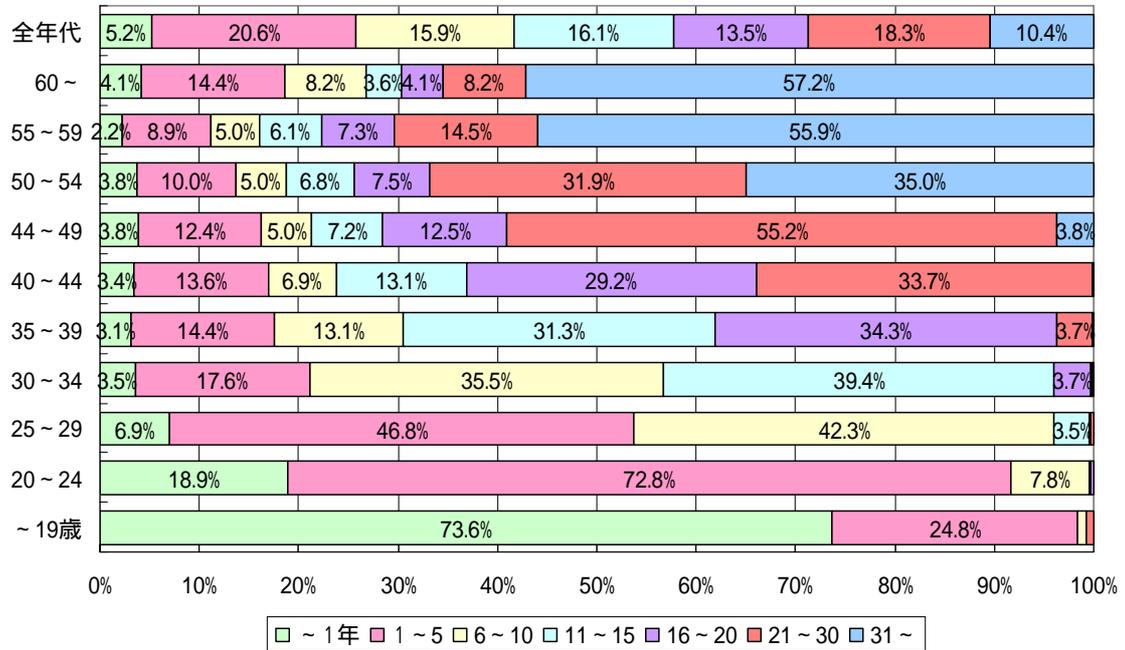
F 10 あなたの職種をお答えください。 <n=15,527>



F 11 あなたの今の職場での勤続年数をお答えください。 < n=15,576 >

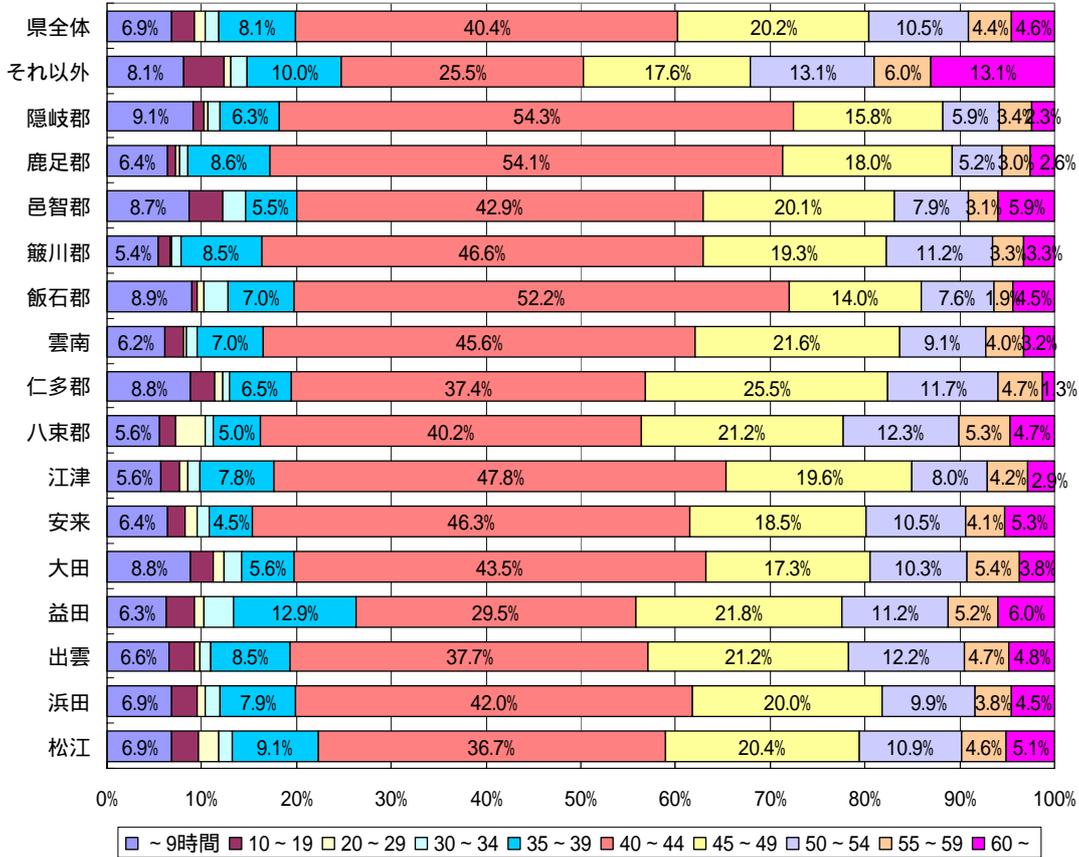


年代別 < n=15,630 >

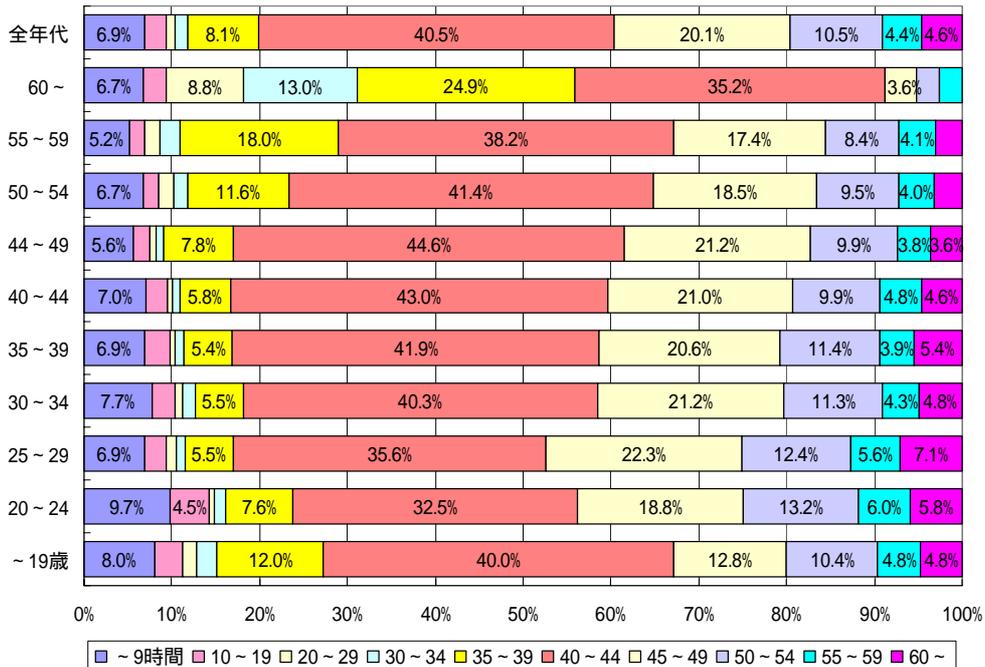


F 12 あなたの平均的な1週間の労働時間（時間外労働を含む）をお答えください。

<n=15,517> 19時間以下は、時間外労働と間違っ回答した可能性が高い。

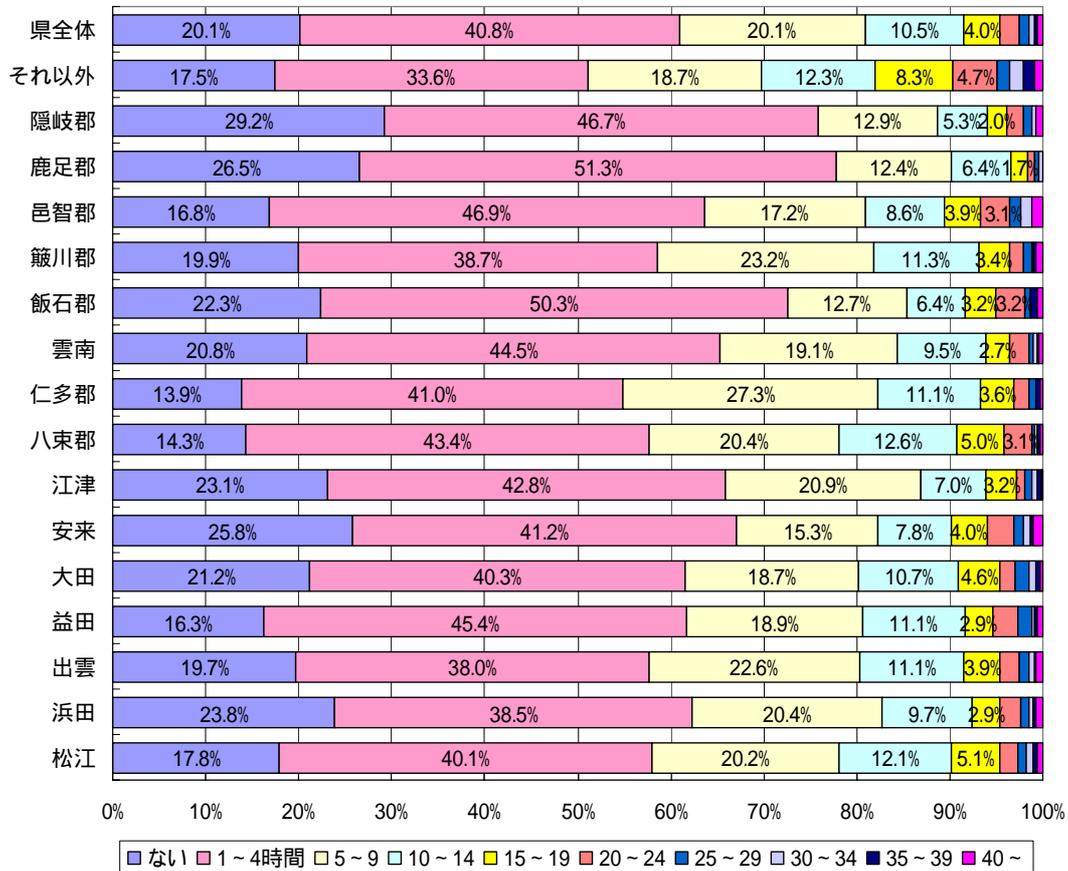


年代別 <n=15,562>

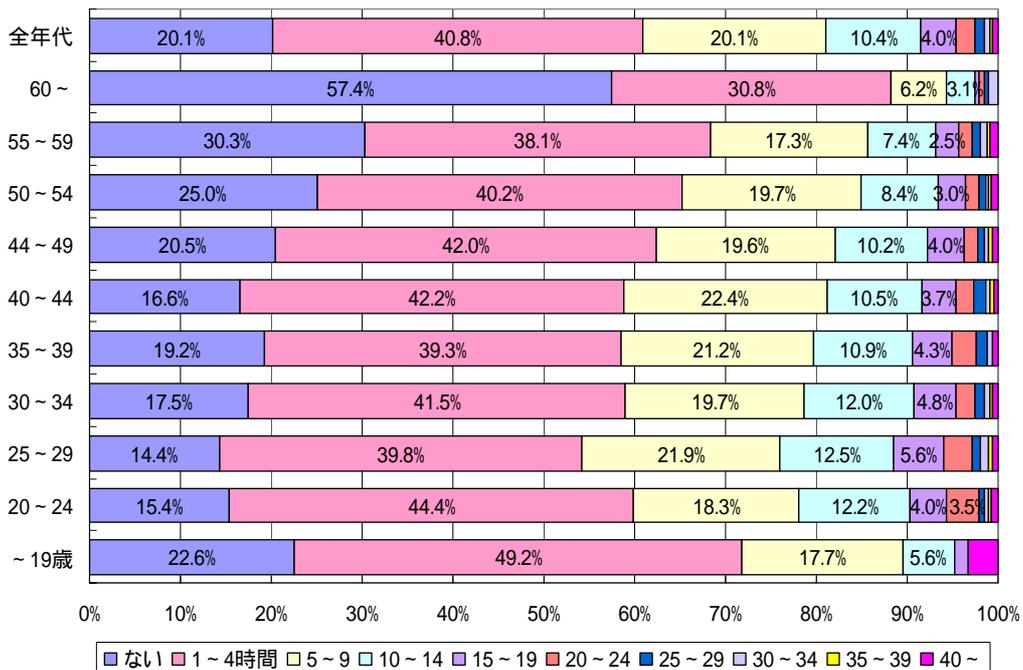


F 13 あなたの平均的な1週間の労働時間のうち、時間外労働をお答えください。

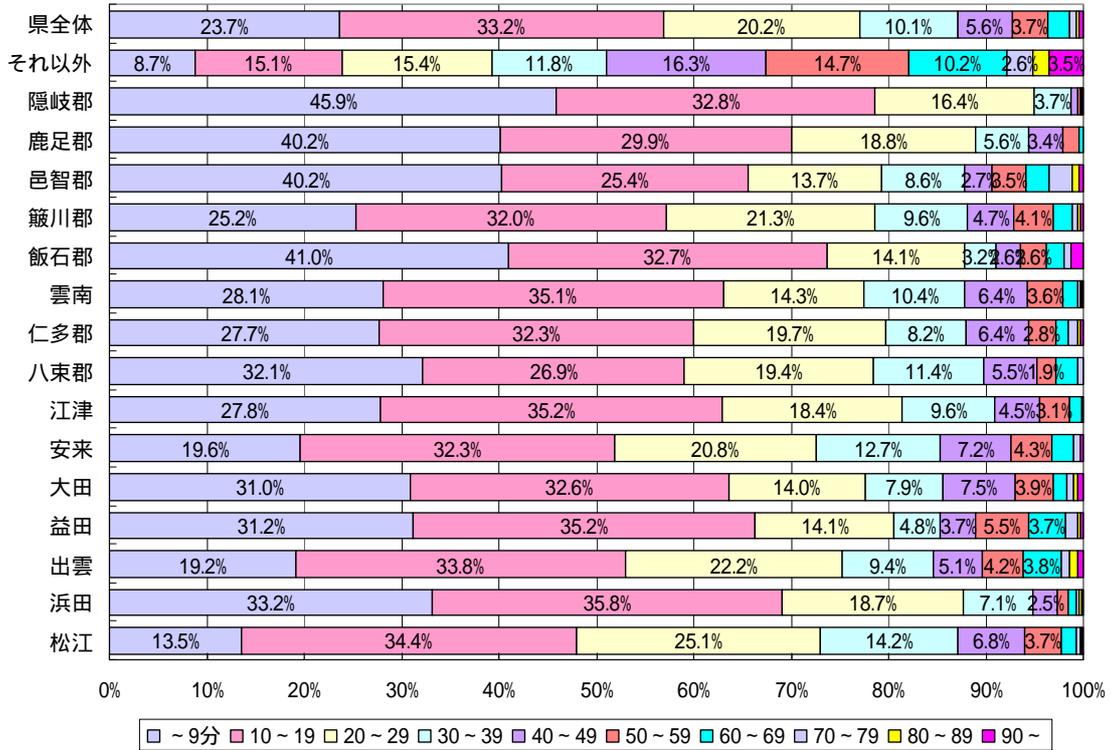
<n=15,549>



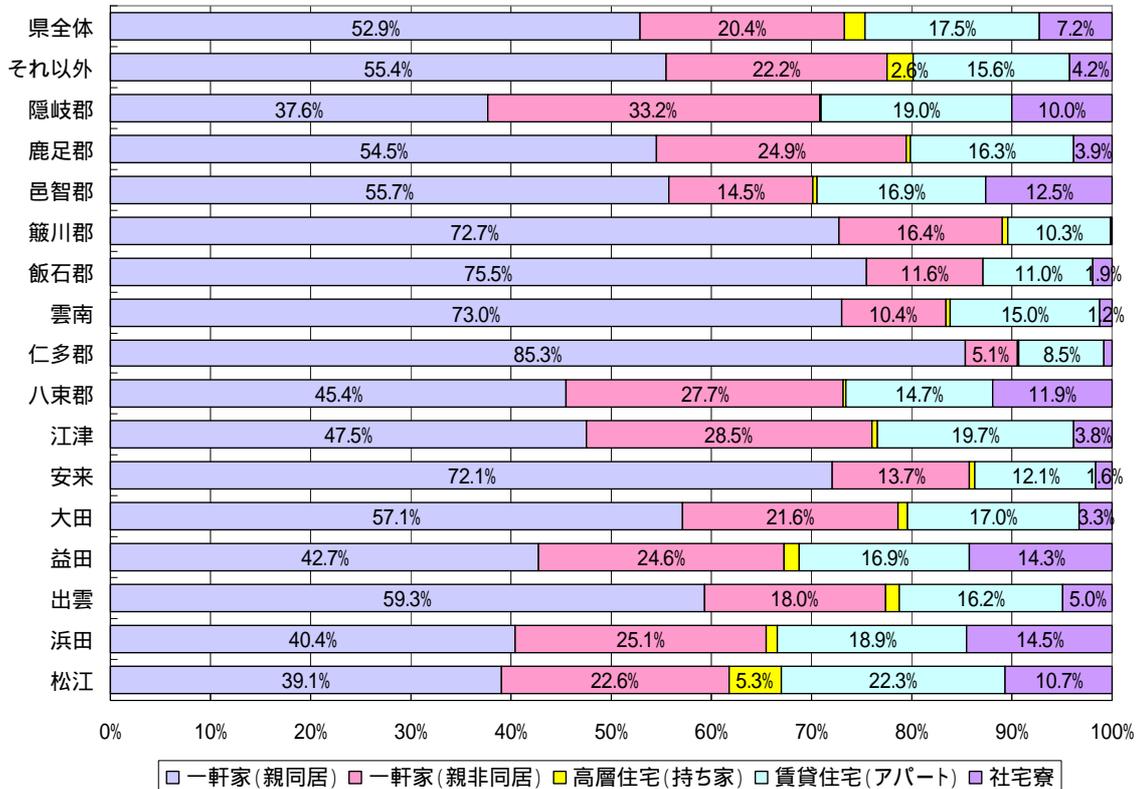
年代別 <n=15,593>



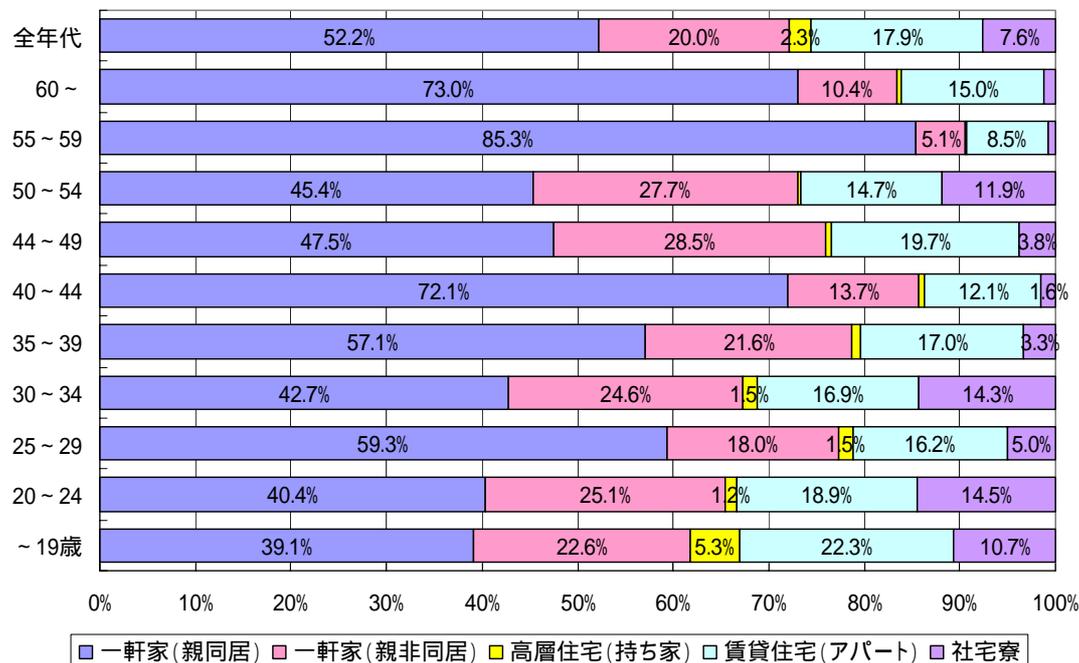
F 14 あなたの片道の通勤時間をお答え下さい。 <n=15,600>



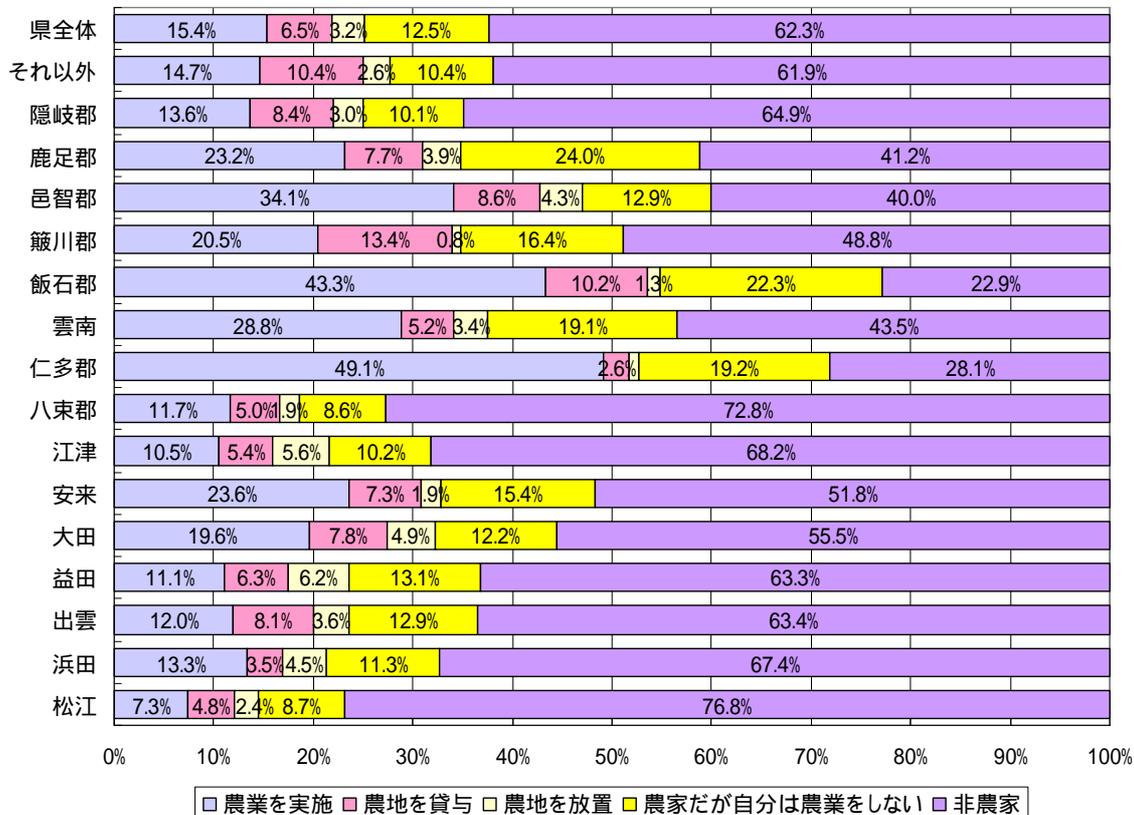
F 15 あなたの家の形態をお答え下さい。 <n=15,597>



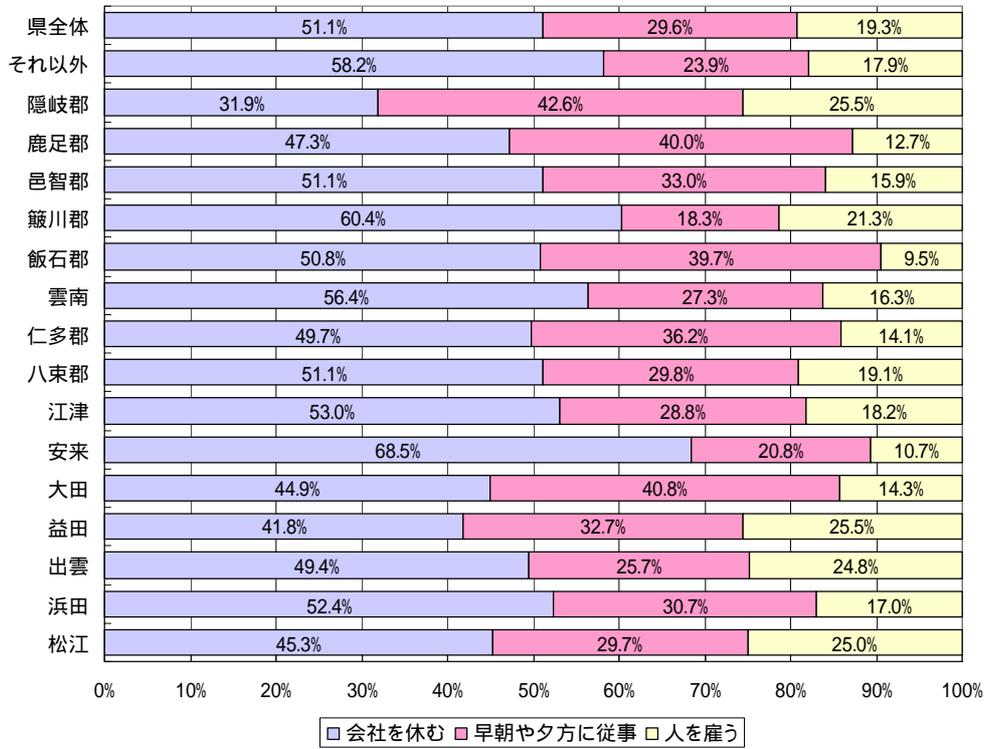
年代別 < n=13,185 >



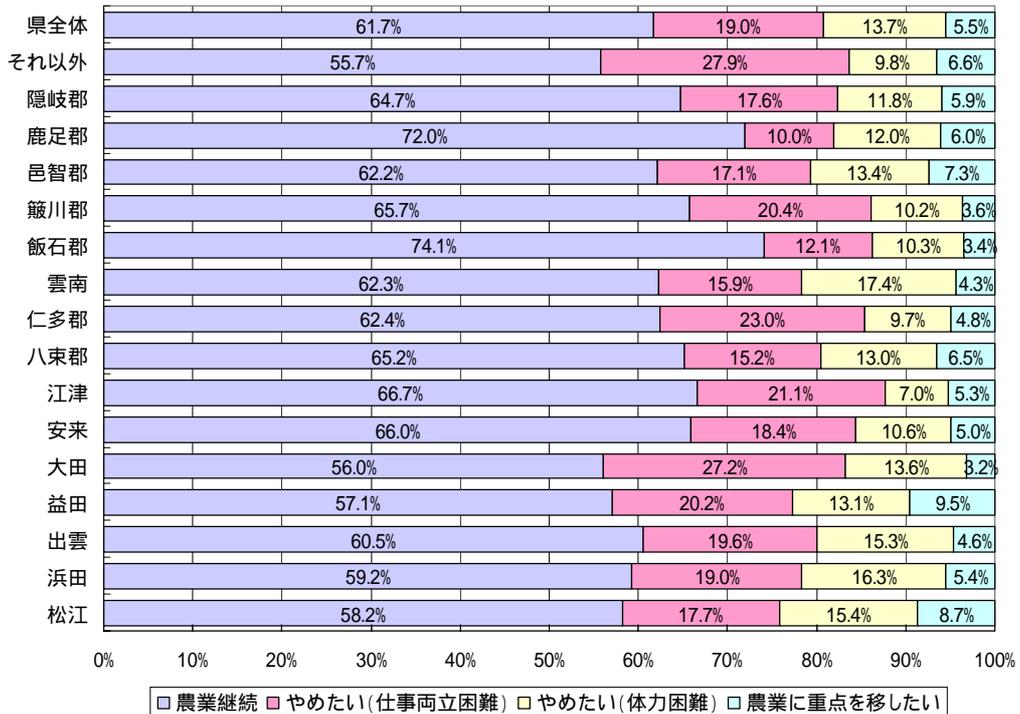
F17 あなたの家は農家ですか。また、ご自身が農業をしていますか。 < n=15,537 >



F 18 F 17 で 1 (農業を実施) と答えた方にお聞きします。田植えや収穫時はどうして  
いますか。 <n=2,564>



F 19 F 17 で 1 (農業を実施) と答えた方にお聞きします。仕事をしながら農業をすること  
をどう考えますか。 <n=2,291>



◆島根県の特徴的な結果（本文で指摘していない事項）

- ・ 家の形態については、中山間地域で一軒家の割合が8割を占め、5割が親と同居している。
- ・ 25～29歳は親と同居の割合が6割を占めるが、30代は独立を機に割合が低下する。しかし、40～44歳は72%、55～59歳は85%も親と同居している。親との同居については、簸川郡、飯石郡、雲南市、仁多郡、安来市で7割を占めているが、松江市、浜田市、益田市、隠岐郡では4割にとどまる。
- ・ 農業実施者の割合を見ると、35～44歳の2割が実施するが、45～54歳になると1割に減少する。しかし、55歳以上になると5割が実施するようになる。
- ・ 県全体の15.4%が自ら農業を実施し、家族農家が全体の3割を占めている。仁多郡で70%、飯石郡で65%、邑智郡で48%が兼業農家である。また、今後農業の継続については、7割弱が継続の意志をもち、鹿足郡と飯石郡で8割が継続の意志を持っている。

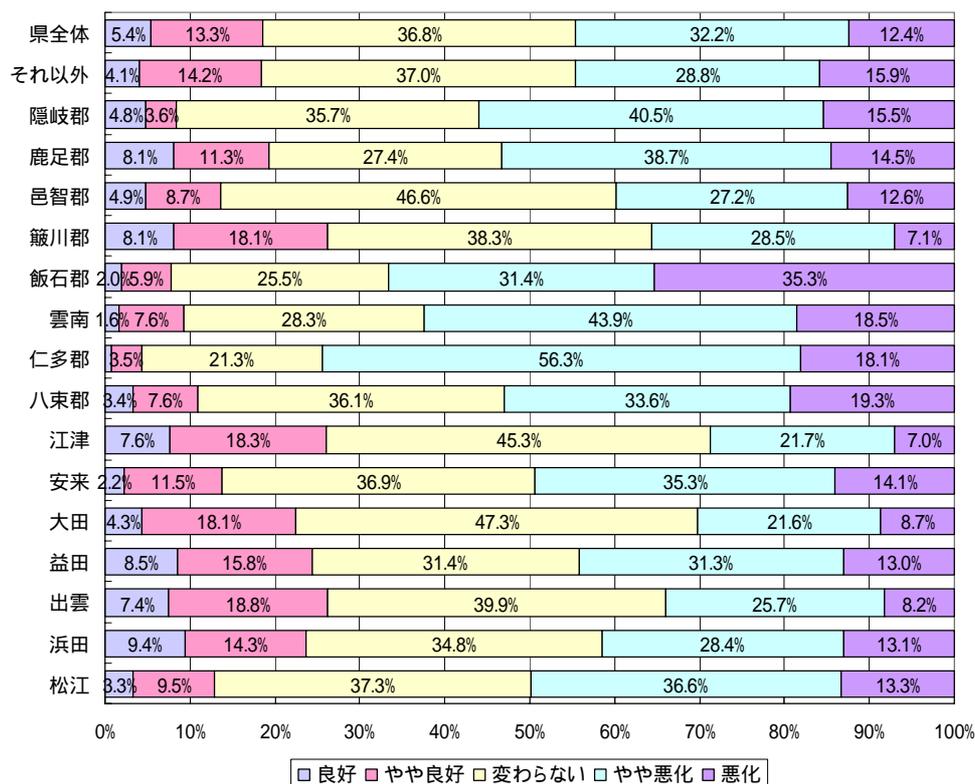
## II. 労働環境への意識

### 1. 仕事とストレス

#### (1) 会社の業績と賃金変化

会社の経営状況は、全般的に悪化傾向にあり、仁多郡と飯石郡でかなり悪化している。業種別にみると、輸送機器や鉄道バスは良好だが、合板、電気機器、電気通信、農協、金融保険などが悪化傾向である。

問1. あなたの会社の経営状況は昨年に比べて良好ですか（公務員を除く）。 <n=9,669>

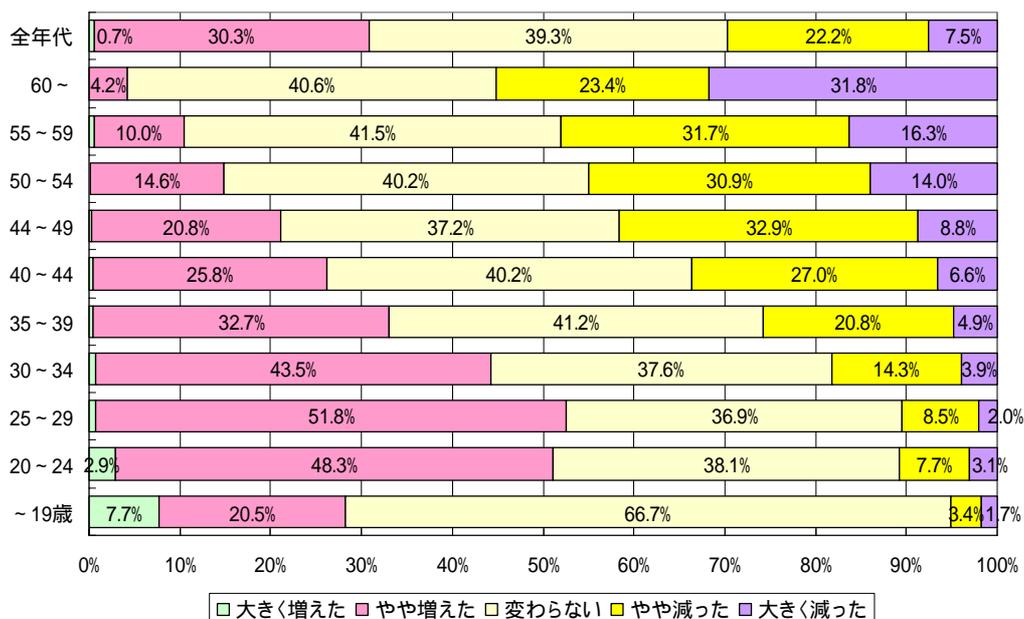


業種別 <n=9,669>

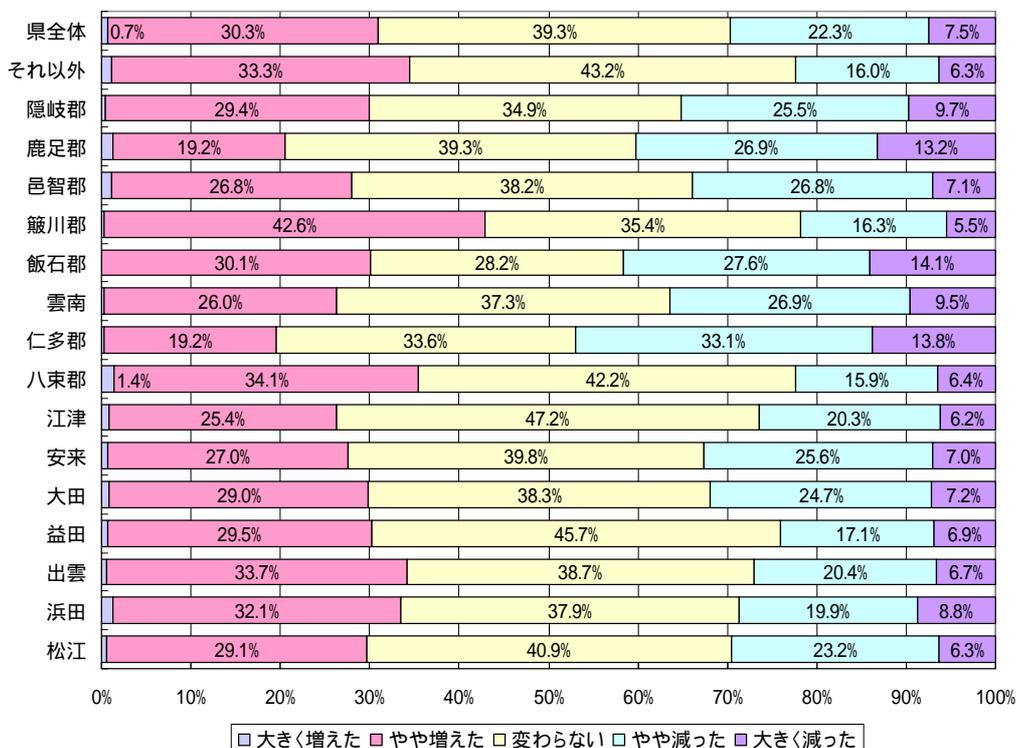
	良好	やや良好	変わらない	やや悪化	悪化
建設	8.7%	25.1%	41.6%	17.8%	6.9%
食飲料	11.1%	15.3%	33.3%	27.8%	12.5%
繊維	7.9%	31.9%	35.5%	14.3%	10.3%
合板	0.0%	4.5%	18.2%	43.2%	34.1%
紙パ	9.2%	20.2%	52.1%	18.5%	0.0%
印刷	1.0%	10.0%	48.0%	28.0%	13.0%
鉄金属	10.6%	26.5%	42.1%	15.3%	5.5%
一般機械	6.9%	11.7%	30.9%	32.0%	18.4%
電気機器	0.1%	6.4%	31.9%	48.9%	12.7%
輸送機器	23.7%	33.5%	30.8%	11.2%	0.9%
電気通信	2.2%	4.2%	31.6%	47.5%	14.5%
鉄道バス	12.0%	30.7%	35.9%	14.5%	6.9%
道路貨物	3.3%	12.2%	36.7%	28.7%	19.1%
卸小売	4.3%	20.9%	45.5%	24.8%	4.5%
農協	1.2%	4.6%	32.2%	43.0%	19.0%
自動車学校	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%
金融保険	1.1%	1.8%	40.5%	41.1%	15.4%
その他	5.8%	10.3%	42.5%	28.7%	12.8%
全体	5.4%	13.2%	36.8%	32.2%	12.4%

賃金の変化をみると、20代の5割が昨年よりも増加したが、30歳以上になると年齢とともに減少が多くなり、年功序列型賃金を特徴とした日本の経営が崩壊しつつあることが明らかとなった。地域別にみると、簸川郡で増加した人が43%を占めるのに対し、鹿足郡、仁多郡、飯石郡では40%以上の人が減少している。

問2．あなたの賃金（税込み）は昨年に比べて上昇しましたか。 <n=15,694>



地域別 <n=15,537>

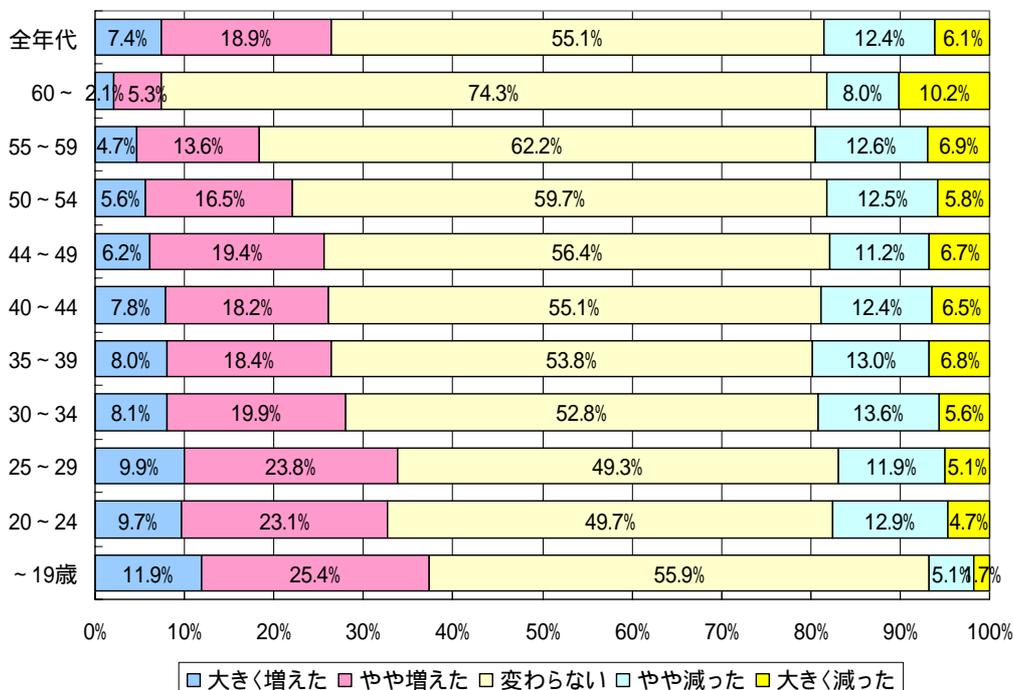


(2) 労働時間と残業時間

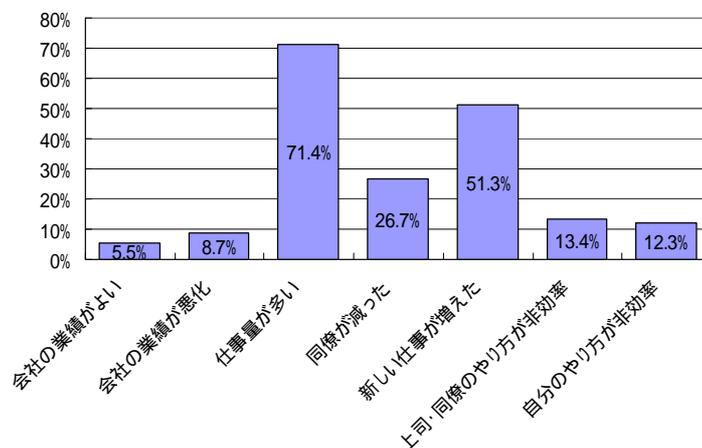
1週間の労働時間をみると、25～29歳の47.1%が45時間以上であり、その25%が50時間以上であり、他の年代と比べて最も長い(F12を参照)。1週間の時間外労働をみると、全年代で約8割が残業を行っている。さらに全年代の2割が10時間以上の残業を行っている(F13を参照)。

昨年と比較した残業の変化をみると、若い世代ほど残業が「増えた」の割合が増加するが、年齢が上がるほど「変わらない」の割合が増加する。残業増加の要因として、「仕事が多い」が71.4%、「新しい仕事が増えた」51.3%があげられており、人員削減による影響があると考えられる。

問3. あなたは昨年に比べて残業が増えましたか。 <n=15,528>



問4. 問3で1と2と答えた方(残業が増えた)にお聞きします。理由は何ですか(3つまで回答可)  
<n=4,492>

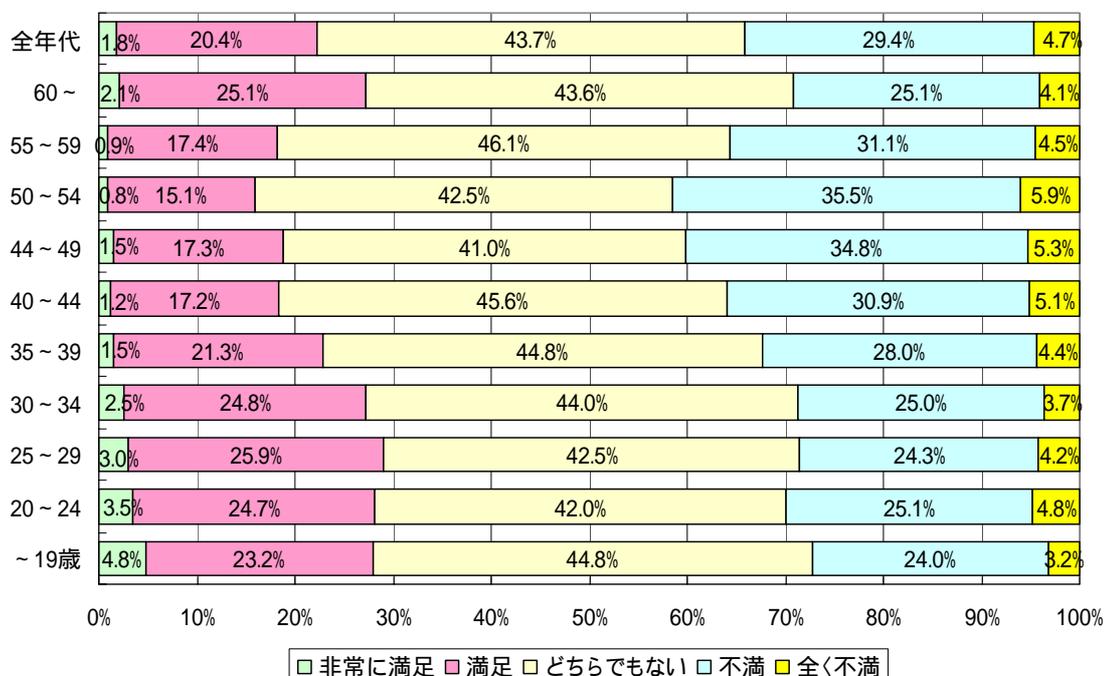


通勤時間も実質的な労働時間を含めて考える必要がある。片道の通勤時間については、県全体で 10 分未満が 23.7%、20 分未満が 56%、30 分未満が 76%である。松江市と出雲市は他地域に比べると長くなるが、それでも 70%が 30 分未満である（F14 を参照）。東京や大阪と比べて、通勤時間が極端に短く、「長時間労働 + 長時間通勤」という都会の労働スタイルとは大きく異なっている。

### （3）健康状態・ストレス・うつ病

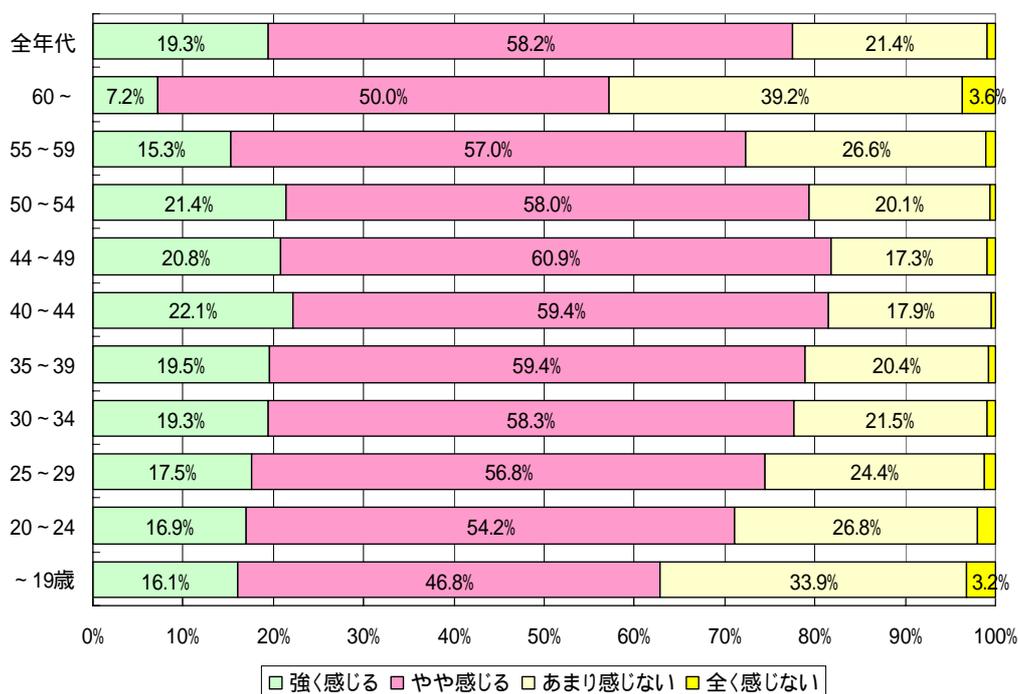
健康状態については、34 歳以下では 3 割弱が満足しているが、35 歳以上になると、健康に不満を感じる人の割合が増える。50~54 歳が健康に最も不満を感じるが、55 歳以上になると、健康に満足な人が増え、不満を感じる人が減る。

問 5 . あなたは自分の健康状態にどの程度満足していますか。 < n=15,639 >

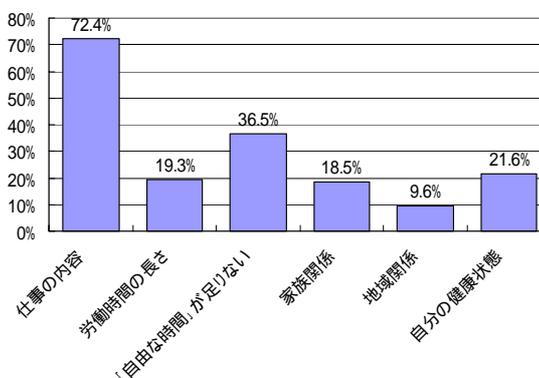


30 ~ 54 歳の約 8 割が日常的にストレスを感じている。その要因として、「仕事の内容」が 72.4%と圧倒的に多い。その中でも、「職場での人間関係」が 37.9%、「自分の能力不足」が 34.6%を占めており、職場での人間関係の希薄化や競争社会による過重なノルマや業績が求められていることが影響していると考えられる。

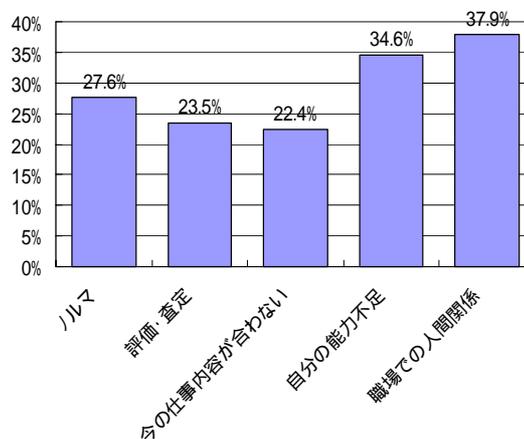
問6 . あなたは日常的にストレスを感じますか。 <n=15,601 >



問7 問6で1と2(ストレスを感じる)と答えた方にお聞きします。要因は何ですか(3つまで回答可)  
<n=11,982 >



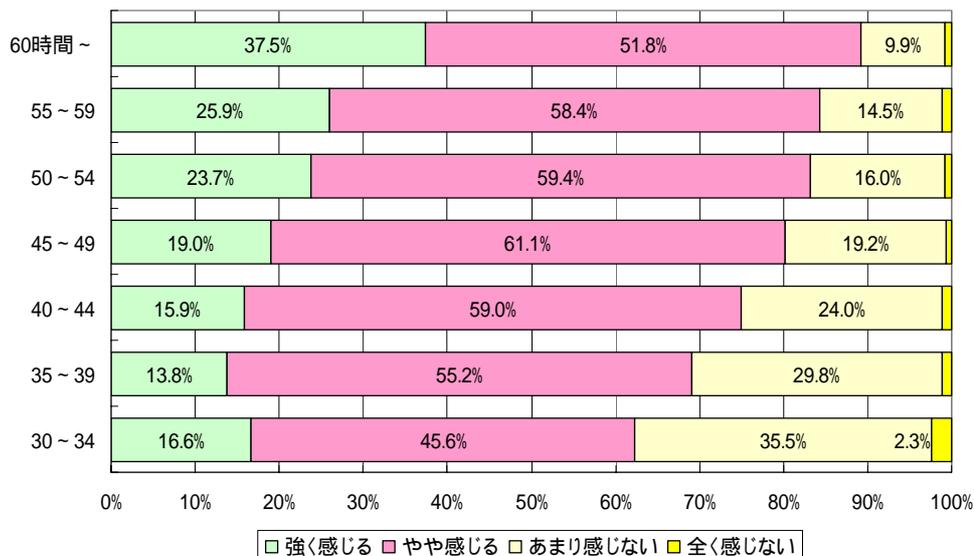
問8 . 問7で1(ストレスを感じる理由として仕事の内容と回答)と答えた方にお聞きします。要因は何ですか(2つまで回答可)  
<n=8,543 >



1週間あたりの労働時間が45時間を超えると8割の人がストレスを感じ、労働時間が長くなるほどストレスを強く感じるようになる。同様に、時間外労働時間が1週間あたり10時間を超えるとストレスが強くなる。

職種の違いでストレスの強弱に顕著な差が生じていないが、営業職がやや強く感じている。

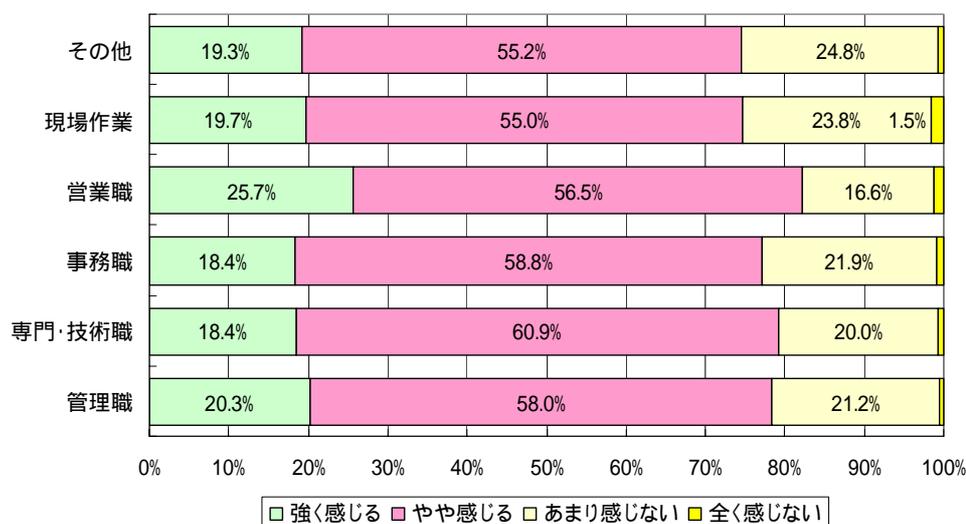
### 1週間の労働時間とストレスとの関係（30時間以上） <n=13,895>



### 1週間の時間外労働時間とストレスとの関係 <n=15,533>



職種とのストレスの関係 < n=15,513 >

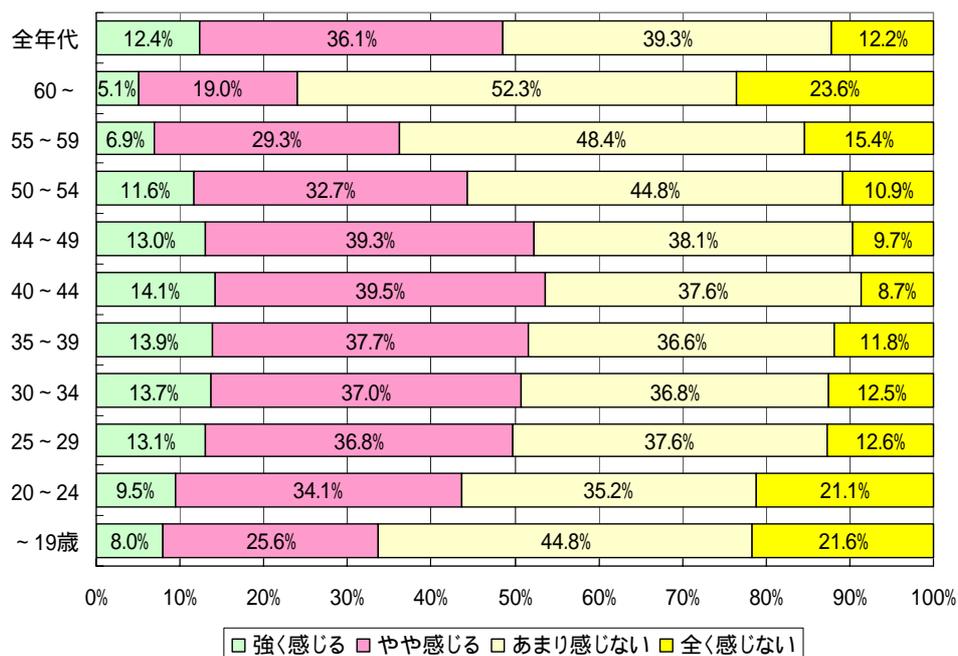


25~49 歳では、うつの自覚症状を経験した人は約 50%である。50 歳を過ぎると、その症状は大きく減少している。24 歳以下の若い年代では、うつを感じた経験のある人は少ない。うつの原因は、職場での人間関係が 43.3%で最も多い。

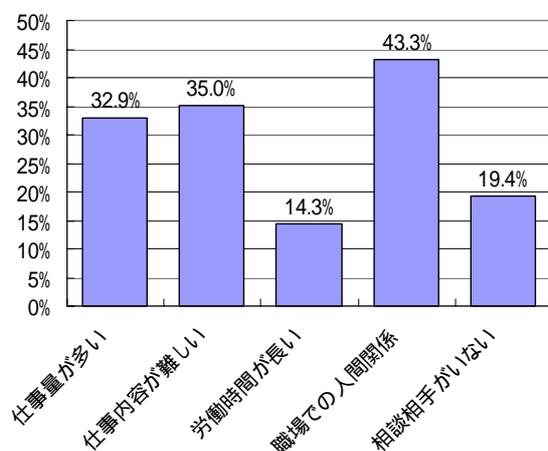
うつ状態について、事務職はやや強く感じ、現場作業はやや弱くなる傾向である。うつ傾向のほとんどの人は、ストレスを強く感じているが、うつ状態を全く感じない人はストレスもほとんど感じない。

問9 . あなたはうつ病が自分にも起こりうる、又は起こりえたと感じますか。

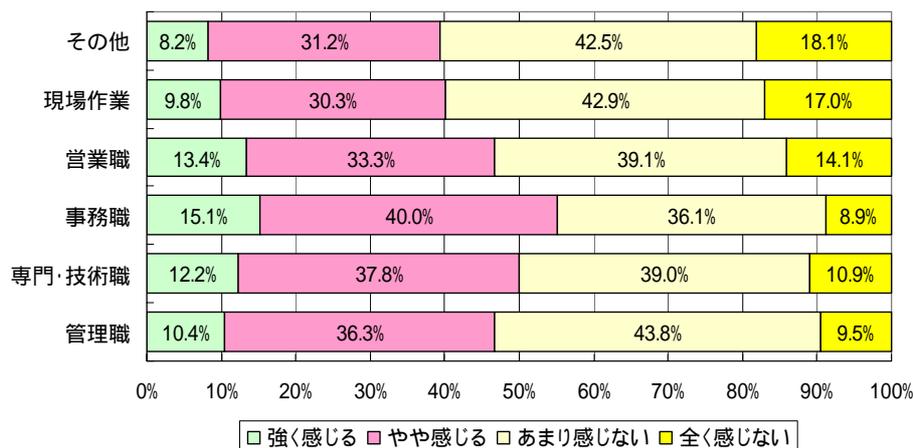
< n=15,583 >



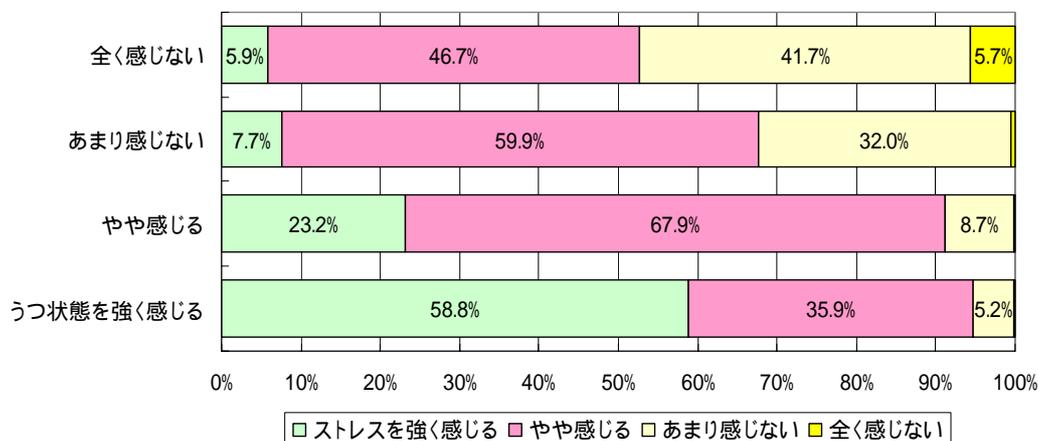
問 10 . 問9で1と2（うつ病が起こりうる）に答えた方にお聞きします。要因は何ですか  
（2つまで回答可）。 <n=7,762>



職種とうつ状態との関係 <n=15,494>



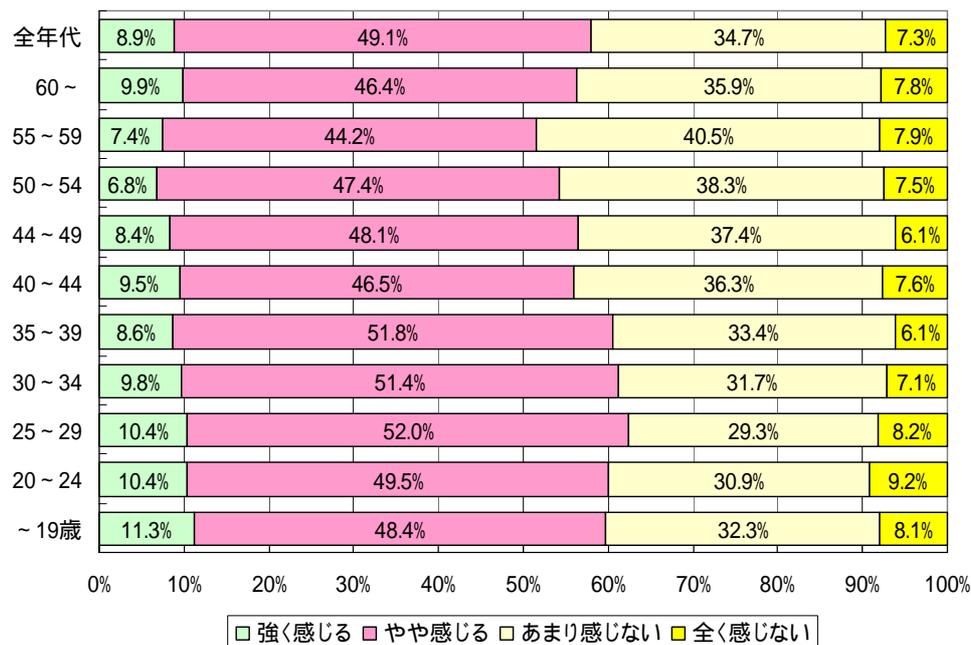
ストレスとうつ状態との関係 <n=15,531>



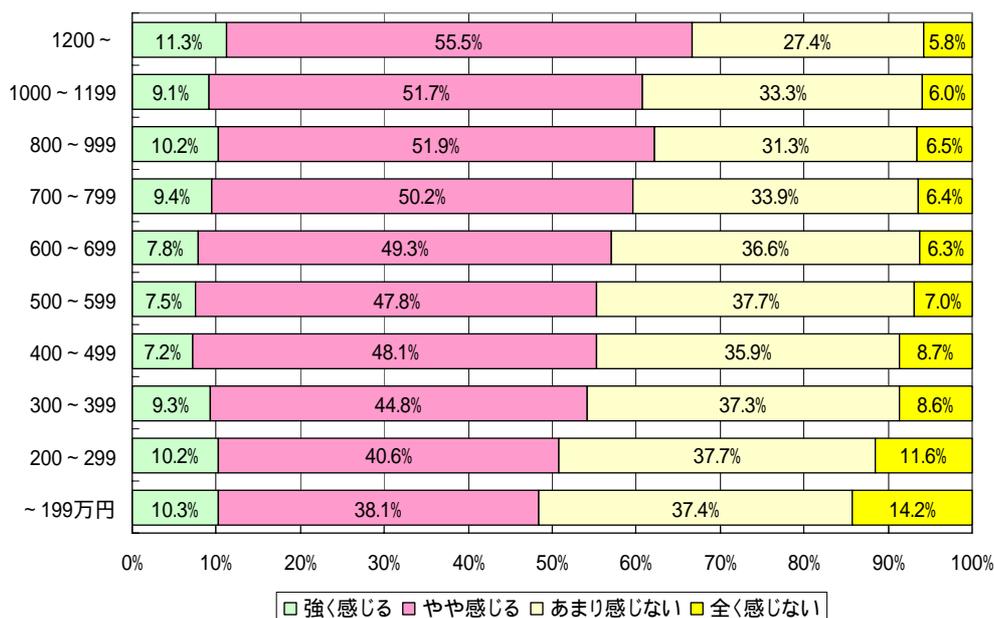
#### (4) 働きがい

全体の約6割の人が働きがいを感じている。地域間、年代間、労働時間の長さで差がほとんどみられない。収入が高い、または賃金が上昇すると、働きがいが強くなる。専門・技術職と管理職は働きがい強い。また、うつ状態を強く感じる人は働きがいを感じない人が多い。

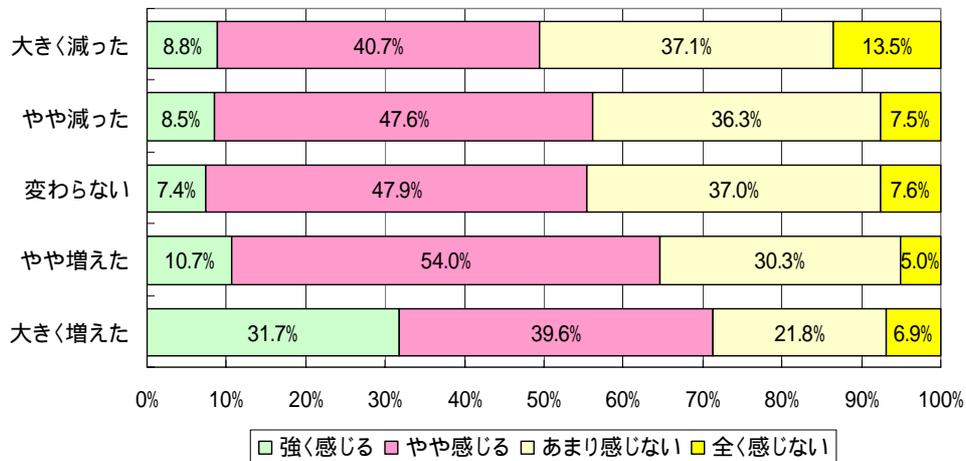
問11. あなたは今の仕事に働きがいを感じますか。 <n=15,618>



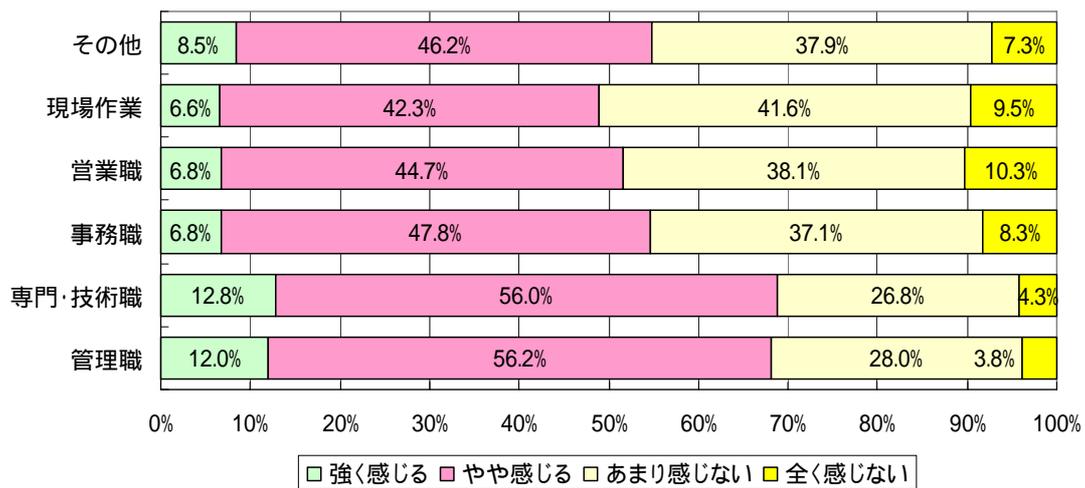
世帯年収と働きがいとの関係 <n=15,314>



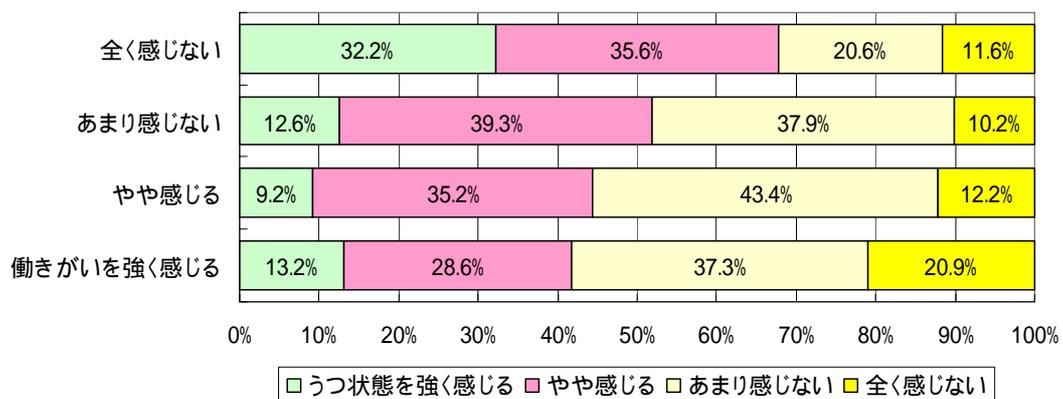
昨年比の賃金変化と働きがいとの関係 < n=15,545 >



職種と働きがいとの関係 < n=15,528 >

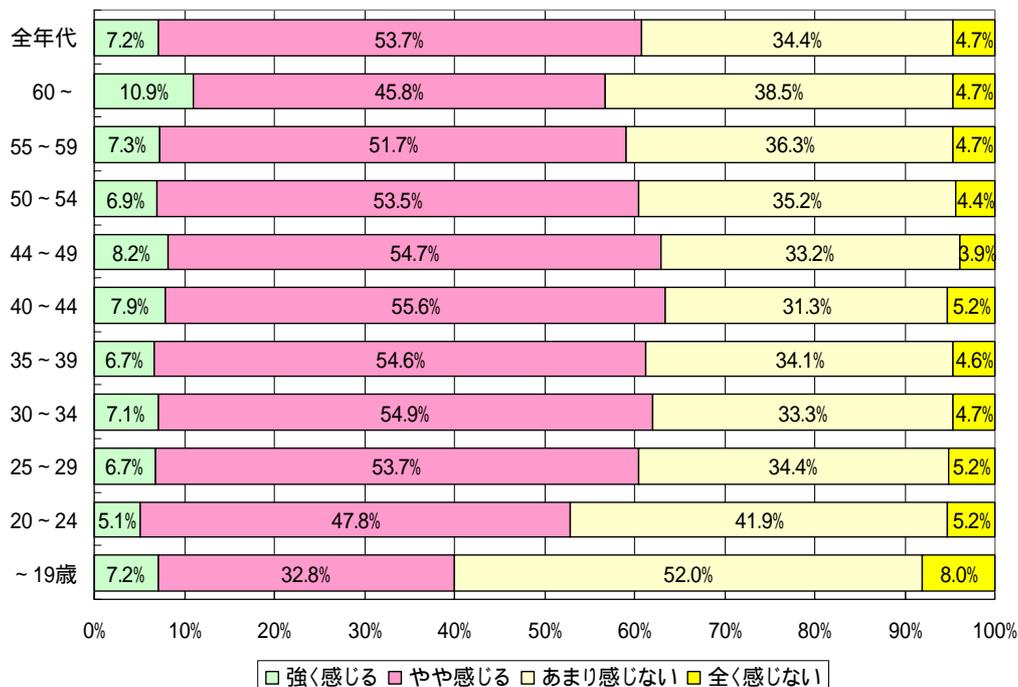


うつ状態と働きがいとの関係 < n=15,695 >

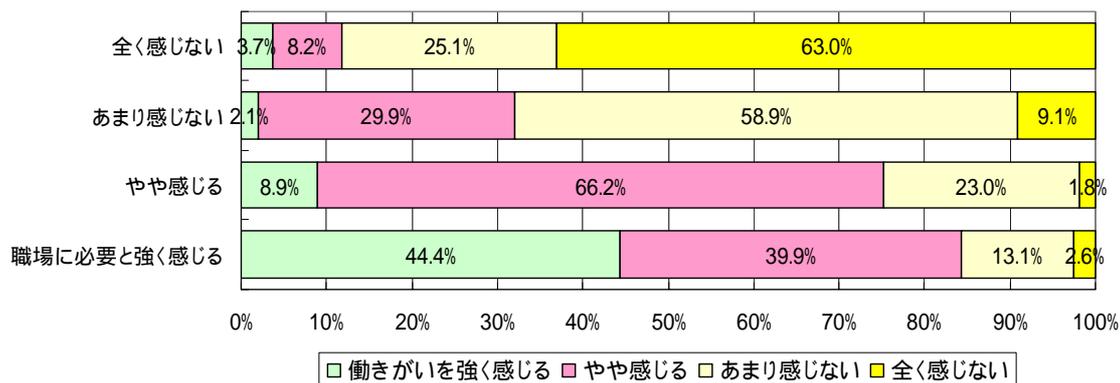


約6割の人は職場に必要とされていると感じているが、24歳以下の若い労働者は4~5割にとどまる。また、働きがいを感じる人は自分が職場に必要とされていると感じており、逆に働きがいを感じない人は自分が職場に必要とされているとは感じない。

問12. あなたは今の職場で必要とされていると感じますか。 <n=15,618>



働きがいと職場に自分が必要とされていると感じることとの関係 <n=15,694>

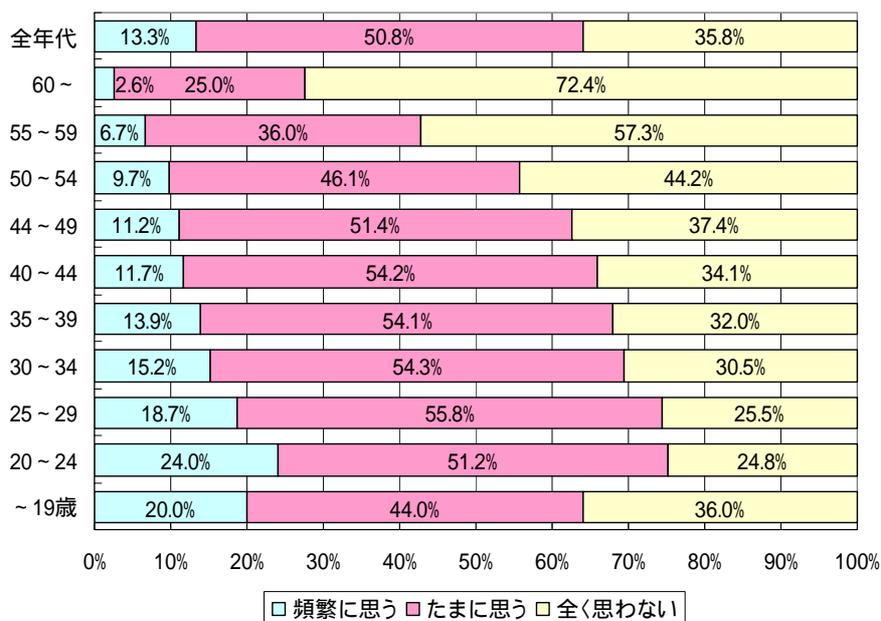


## 2. 転職と失業

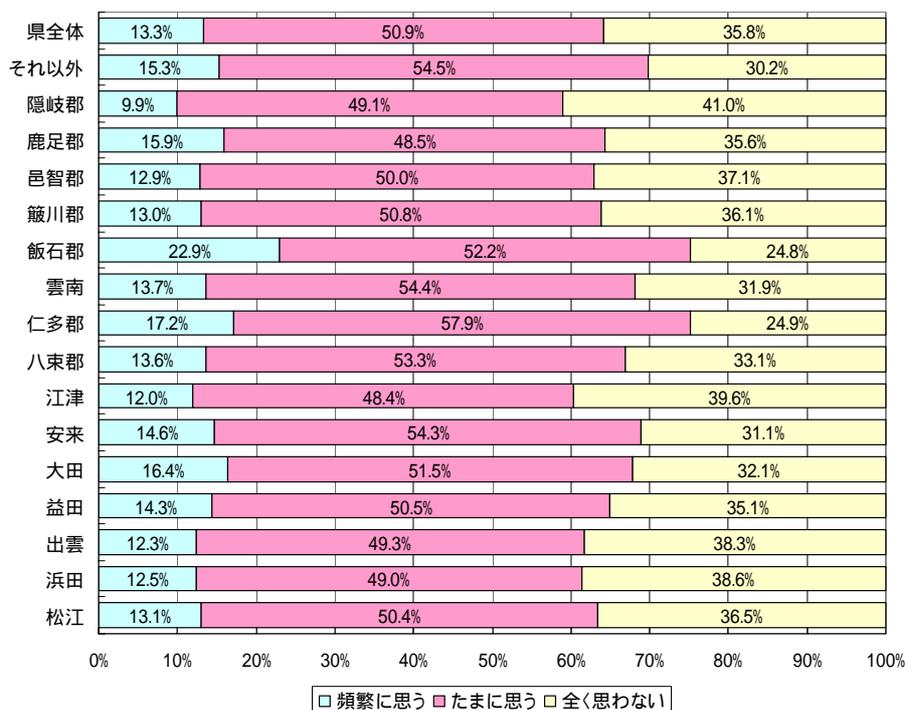
### (1) 転職願望と失業への危機意識

転職を希望する理由として、「労働条件・職場への不満」が62.2%と圧倒的に多く、若い年代ほど「自分の可能性」を多くあげている。飯石郡と仁多郡で転職願望がやや強い。

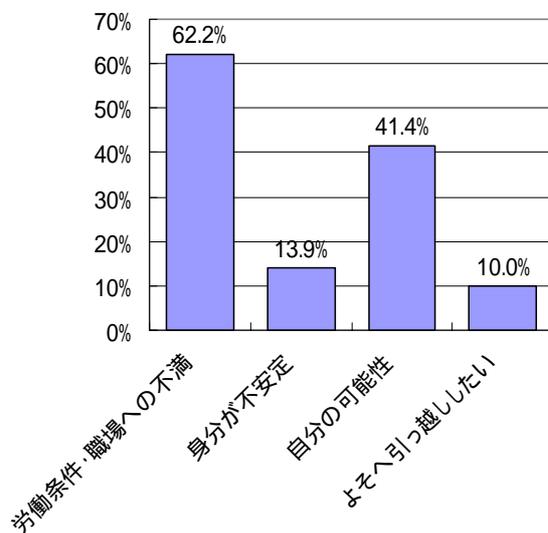
問 13 . あなたは転職したいと思うことがありますか。 <n=15,599 >



地域別 <n=15,555 >

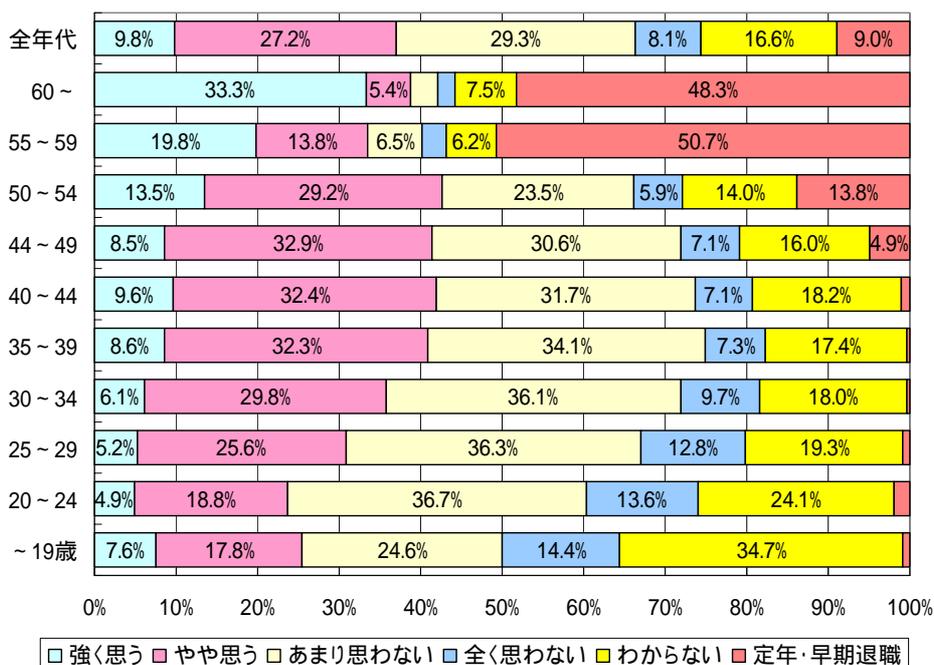


問 14 . 問 13 で 1 と 2 ( 転職したい ) と答えた方にお聞きします。理由は何ですか ( 2 つまで回答可 ) 。 < n=10,027 >

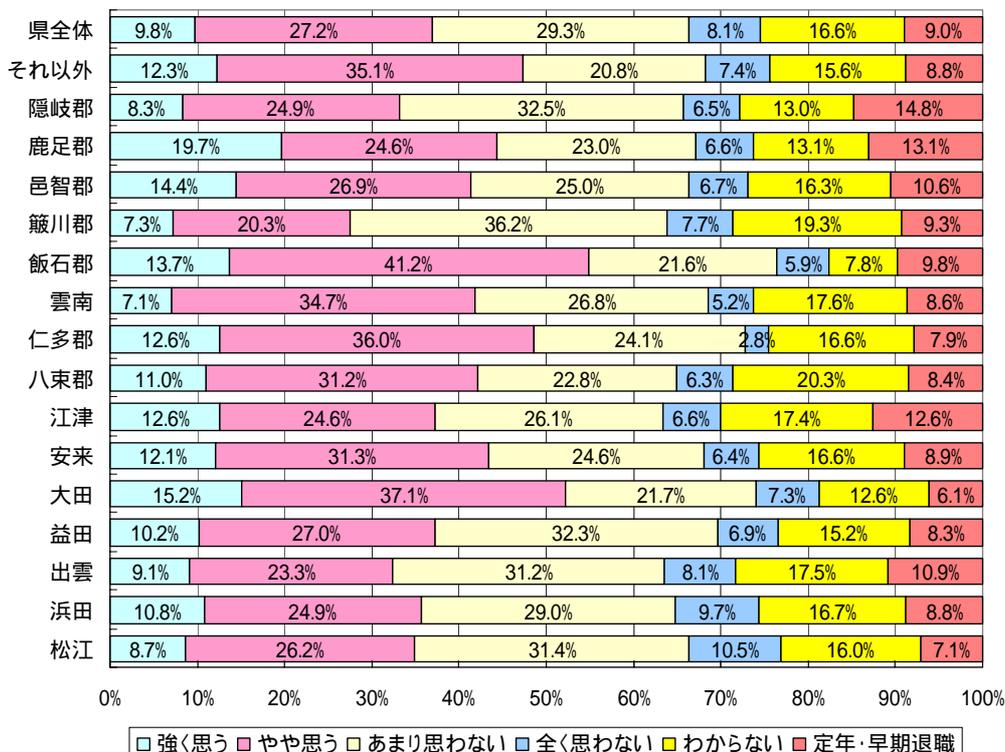


35 ~ 54 歳で 4 割強の人 ( 公務員を除く ) が 5 年後に失業する可能性があると感じており、安定雇用の崩壊への危機意識が高い。地域別にみると、飯石郡、大田市、仁多郡では失業への危機意識が 5 割程度と高いが、簸川郡では 3 割弱にとどまっている。

問 15 . あなたは 5 年後に失業する可能性があると思いますか ( 公務員を除く )  
< n=9,695 >



地域別 < n=9,665 >



(2) ワーキングプア

「ワーキングプア」とは、正社員並みにフルタイムで働いても（またはその意思があっても）生活保護の支給額にも満たない収入しか得られない就業者のことを指し、格差社会の象徴的な弱者労働者である。ワーキングプアについては、全年代で15%、50代以上の人で2割が身近に存在している。

問16. あなたは、島根県内でいわゆる「ワーキングプア」の人を知っていますか。

< n=15,526 >

	自分自身	家族にいる	友人・知人にいる	誰も知らない
～19歳	4.9%	0.0%	6.5%	88.6%
20～24	1.0%	1.7%	8.0%	89.3%
25～29	1.0%	2.0%	10.1%	86.9%
30～34	0.4%	1.4%	8.9%	89.3%
35～39	0.5%	1.5%	10.3%	87.7%
40～44	0.4%	1.8%	11.9%	85.9%
44～49	0.8%	1.6%	13.0%	84.5%
50～54	0.8%	3.4%	15.6%	80.1%
55～59	1.0%	3.9%	16.8%	78.3%
60～	2.1%	5.3%	22.2%	70.4%
全年代	0.8%	2.1%	11.8%	85.3%

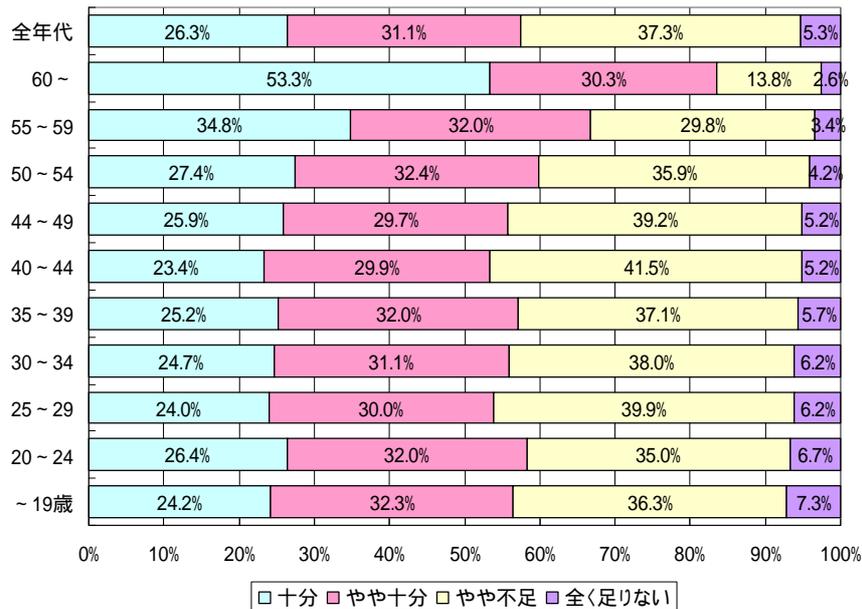
### Ⅲ. 日常生活への満足度

#### 1. 「自由な時間」への欲求

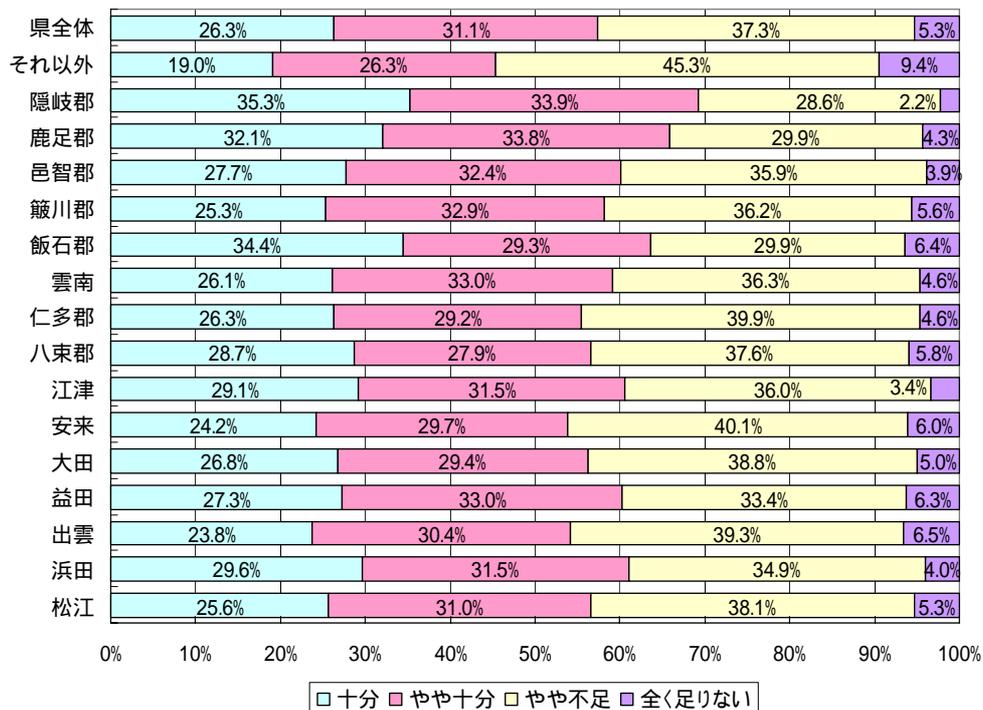
##### (1) 睡眠時間と「自由な時間」

睡眠時間は5割以上が十分と感じており、55歳以上の方は十分と感じる人が多い。地域別にみると、隠岐郡、鹿足郡、飯石郡で睡眠時間が十分と感じる人がやや多い。

問 17. あなたは睡眠時間が十分にあると思いますか。 <n=15,649>



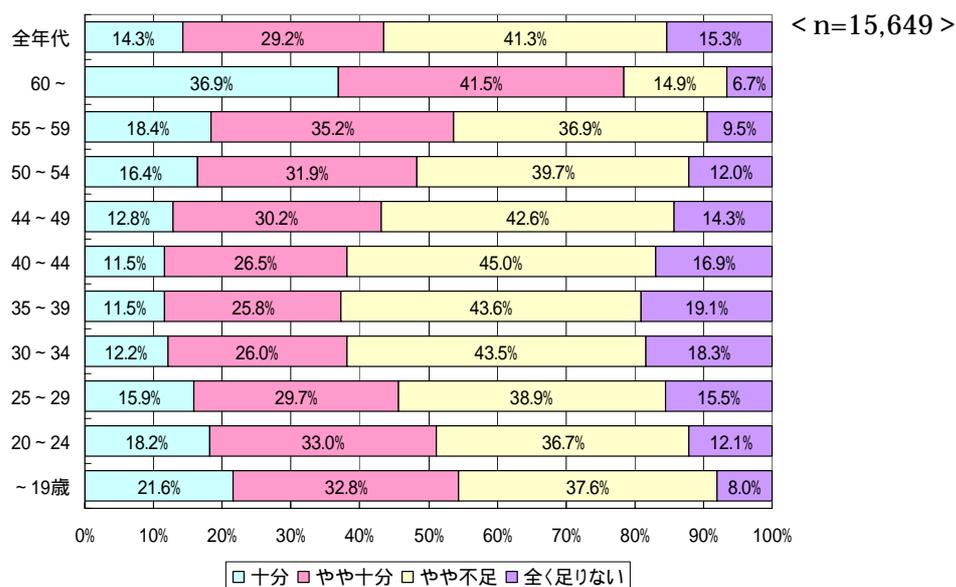
地域別 <n=15,602>



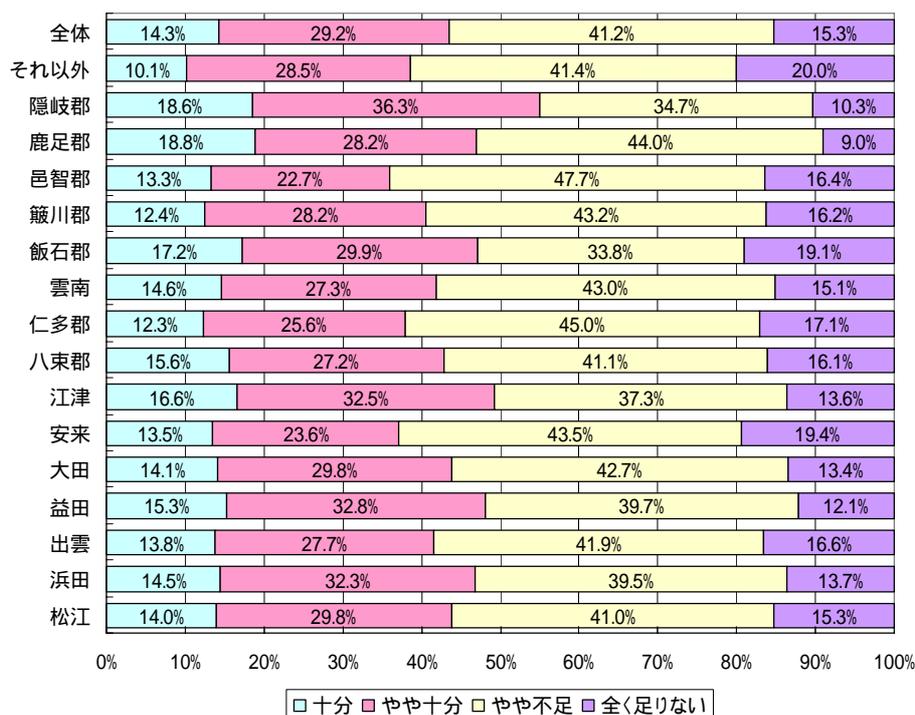
自分の「自由な時間」は全体的に不足感が強く、30～44歳でより強くなる。隠岐郡では、睡眠時間と同様に、自由な時間が十分であると感じている人がやや多い。

労働時間が1週間で40～44時間では、自由な時間に対して十分と不足が同じ割合だが、労働時間が長くなるほど不足感が強くなる。睡眠時間が十分だと自由な時間も十分だが、睡眠時間が不足すれば自由な時間も不足と感じる。男性の方が自由な時間が十分だと感じている。自由な時間が不足すると、長期休暇への欲求が強くなる。

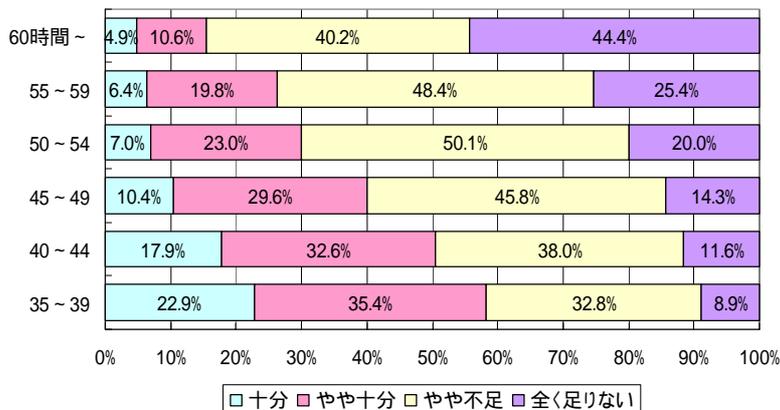
問18. あなたは「自由な時間」(趣味、くつろぎ、交際等)が十分にあると思いますか。



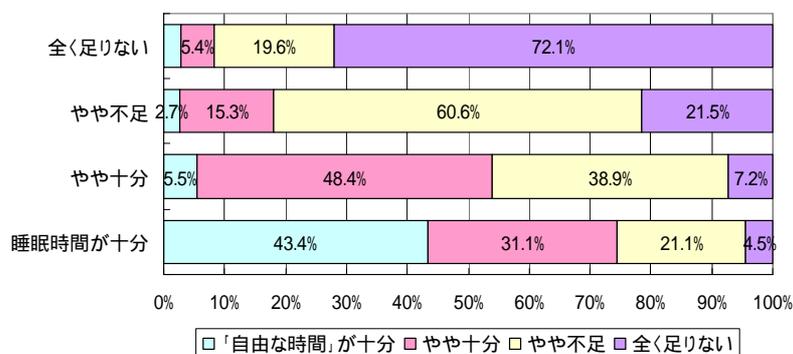
地域別 < n=15,600 >



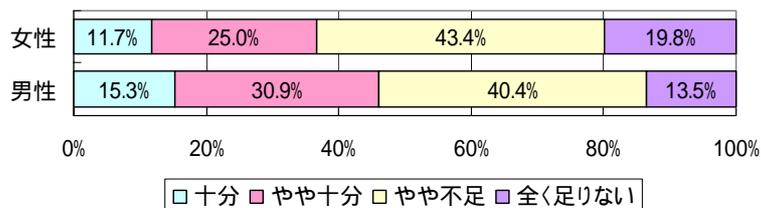
1週間の労働時間と「自由な時間」との関係 <n=15,544>



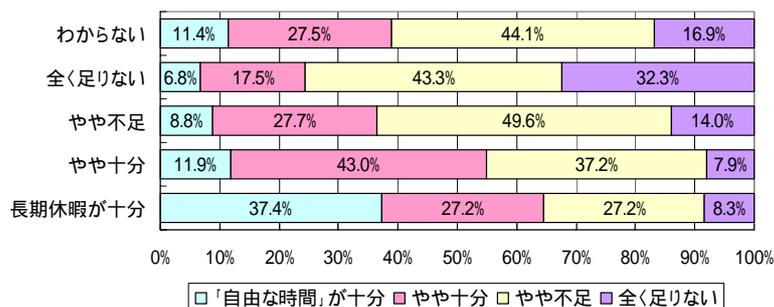
睡眠時間と「自由な時間」との関係 <n=15,646>



性別と「自由な時間」との関係 <n=15,651>



長期休暇への欲求と「自由な時間」との関係 <n=15,563>



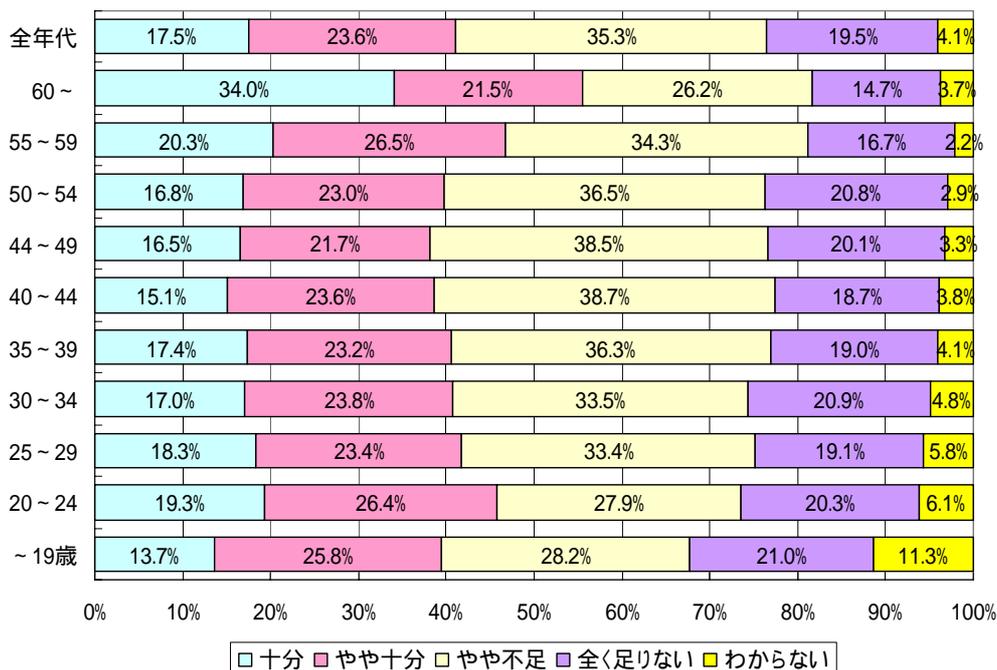
(2) 長期休暇(夏冬休み)への欲求

長期休暇(夏冬休み)について4割が十分、5割が不足と感じている。必要な期間については、8割が夏冬休みともに1週間程度で十分だとみなしている。夏冬休みへの欲求は19歳以下を除いて世代間で大きな差が見られない。

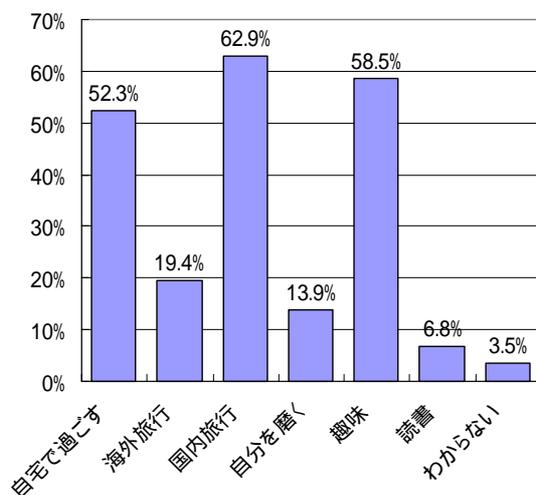
夏冬休みの過ごし方として、「国内旅行」という行動派が62.9%を占めるが、「自宅で過ごす」52.3%という滞在型も多い。

問19. あなたは、現状の夏休み(盆)と冬休み(正月)の期間が十分だと思いますか。

<n=15,564>

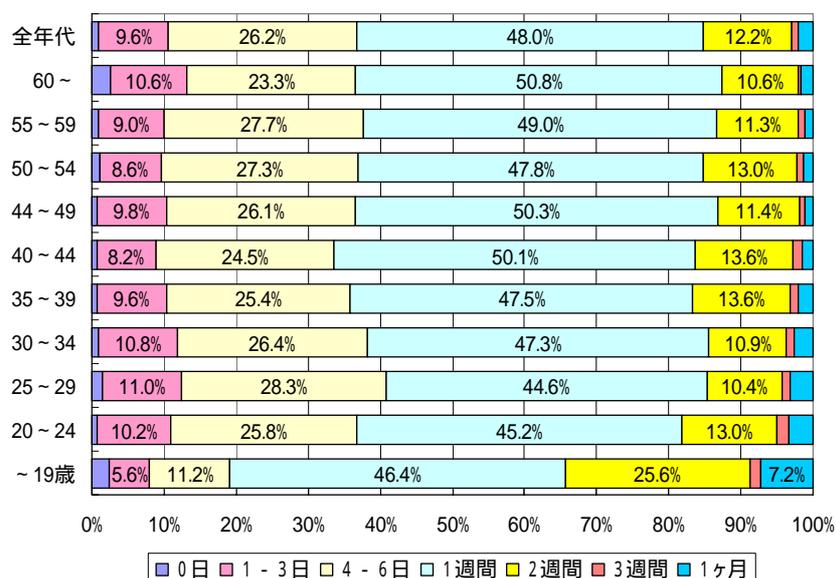


問21. 夏休み・冬休みで何をしたいですか(3つまで回答可) <n=15,600>

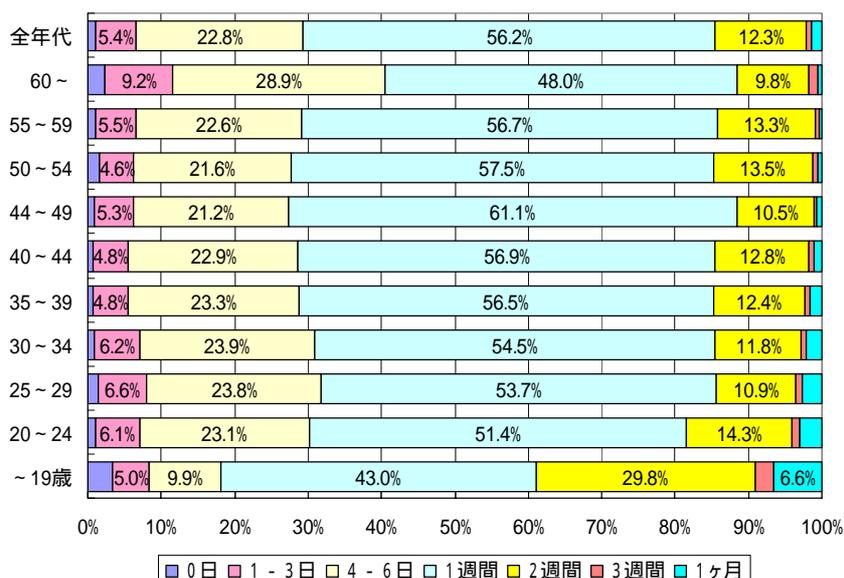


問 20 . あなたは、毎年どのくらい夏休みと冬休みの期間が必要ですか。

夏休み < n=15,609 >



冬休み < n=15,163 >



長期休暇に関するクロス集計を行ったところ、以下のような特徴が認められた。

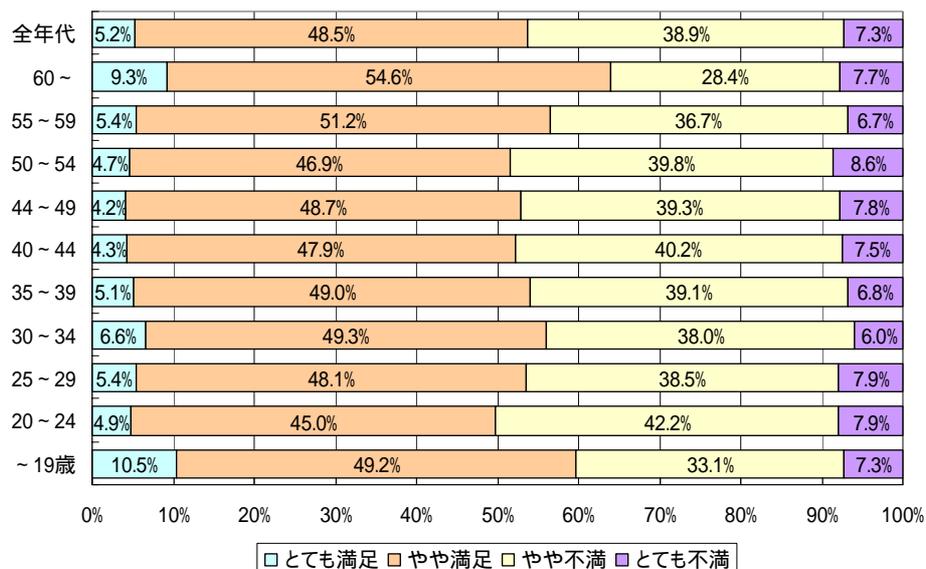
- ・ うつ傾向の人は、睡眠時間や自由な時間、夏冬休みが不足と感じている。
- ・ 日常生活への満足度が高いと、自由な時間も十分だと感じる傾向が強い。
- ・ 自由な時間が十分な人は、5年後の日常生活が良くなると思う傾向が強い。
- ・ 自由な時間が十分な人は、家族とのコミュニケーションが良好である。また、独身者（単身者）は自由な時間が十分と感じる傾向が強い。
- ・ 「家庭生活」を優先させたい人（現実には「仕事」を優先させている人）は自由な時間が不足していると感じている。

## 2. 日常生活と家庭への認識

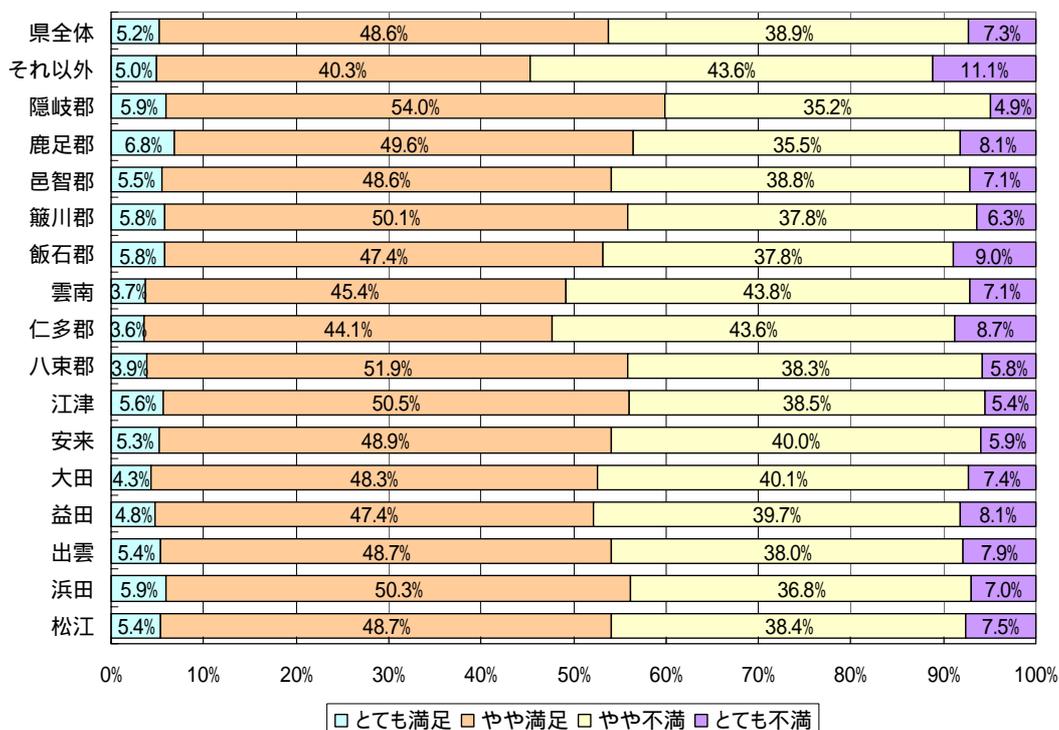
### (1) 日常生活への満足度

日常生活への満足度は、全年代の55%が満足しており、20～59歳で大きな差はみられない。地域別では、隠岐郡が60%でやや満足度が高く、仁多郡が48%でやや低いが、大きな差はみられない。

問22. あなたは今の日常生活に満足していますか。 <n=15,638>



地域別 <n=15,592>



◆参考

内閣府調査(全国)の結果と比較すると、島根県の労働者の方が日常生活への満足度がやや高く、不満足がかなり低い。

問 あなたは、現在のご自身の生活に満足していますか？

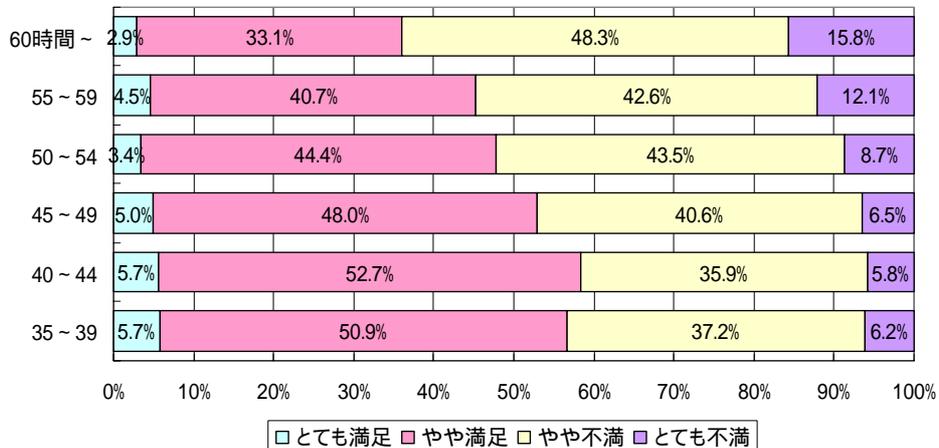
	内閣府調査(全国)		本調査(島根)
	度数	(%)	(%)
非常に満足している	78	2.60	5.20
満足している	1,079	35.97	48.60
やや不満足である	1,080	36.60	38.90
不満足である	624	20.80	7.30
どちらともいえない	139	4.63	-
合計	3,000	100.00	100.00

(注)内閣府調査(全国)は、内閣府経済社会総合研究所(2005)「コミュニティ機能再生とソーシャル・キャピタルに関する研究調査報告書」(資2-4、Q25を修正)を指す。

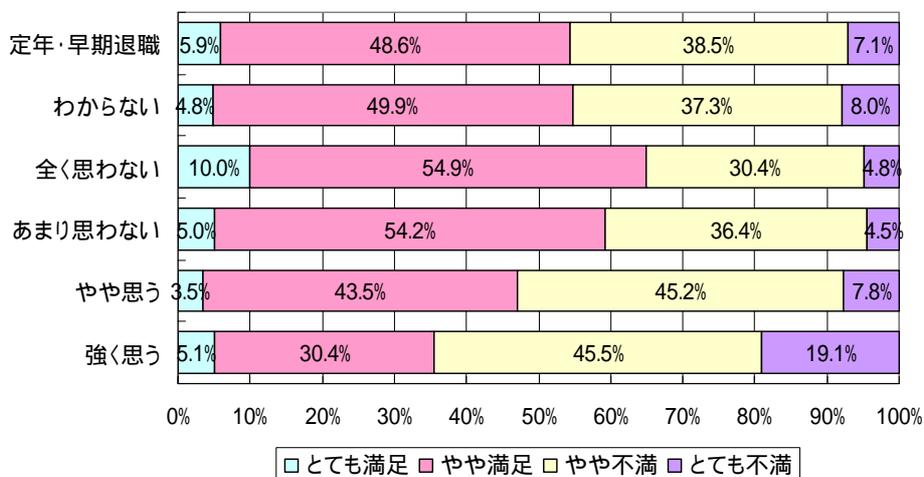
日常生活の満足度についてクロス集計を行った結果、以下のような特徴が認められた。

- ・ 営業職と現場作業は日常生活の満足度がやや低いが、管理職と事務職はやや高い。
- ・ 労働時間や残業時間が長くなるほど日常生活への満足度が低くなる。1週間の労働時間が40時間前後が最も満足度が高い。同様に残業時間が長くなると、日常生活への満足度が下がる。
- ・ 失業への危機感が少ないと、日常生活の満足度が高くなる。
- ・ 睡眠時間や長期休暇が十分だと、日常生活の満足度がかなり高くなる。
- ・ 家族とのコミュニケーションが十分だと日常生活の満足度が高く、不十分だと満足度は低くなる。
- ・ 「仕事」を優先している人は、日常生活の満足度が低い。

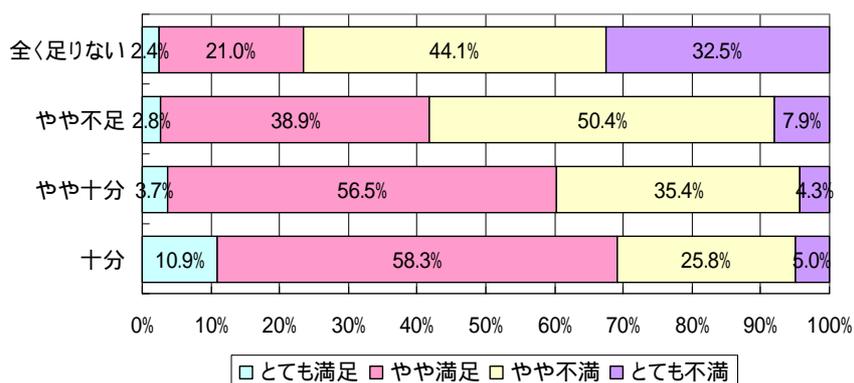
1週間の労働時間と日常生活への満足度との関係 < n=15,535 >



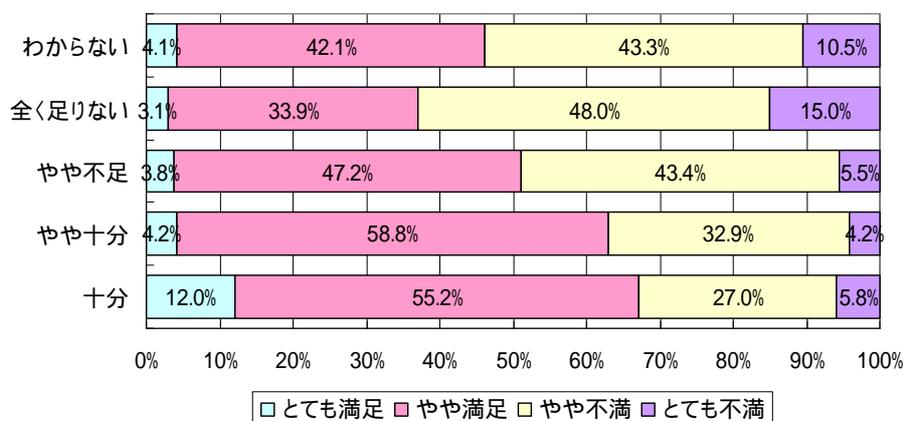
失業への危機感と日常生活への満足度との関係 < n=15,572 >



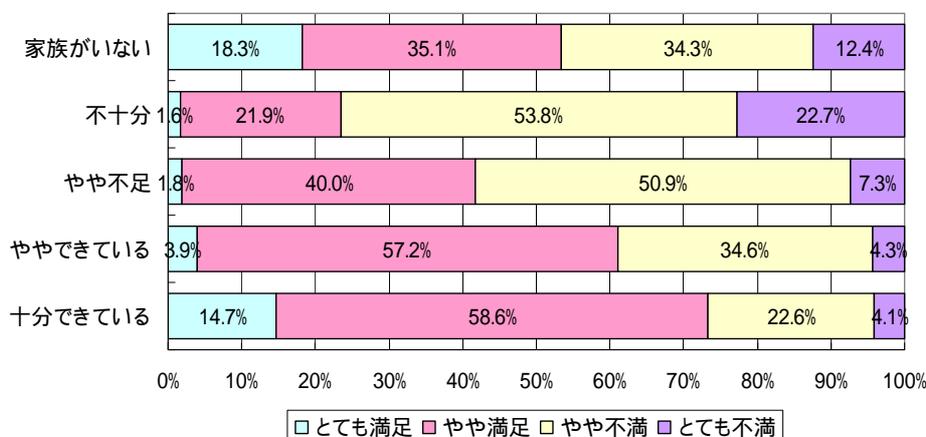
睡眠時間と日常生活への満足度との関係 < n=15,638 >



長期休暇への欲求と日常生活への満足度との関係 < n=15,553 >

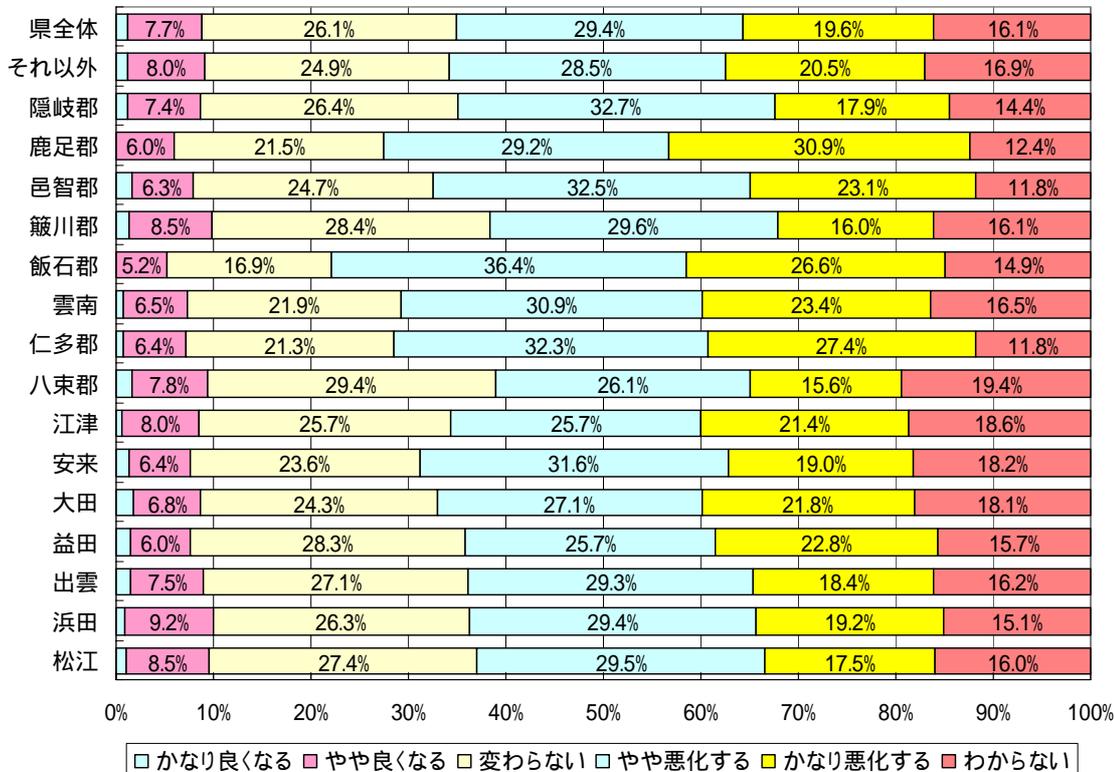


家族とのコミュニケーションと日常生活への満足度との関係 < n=15,614 >

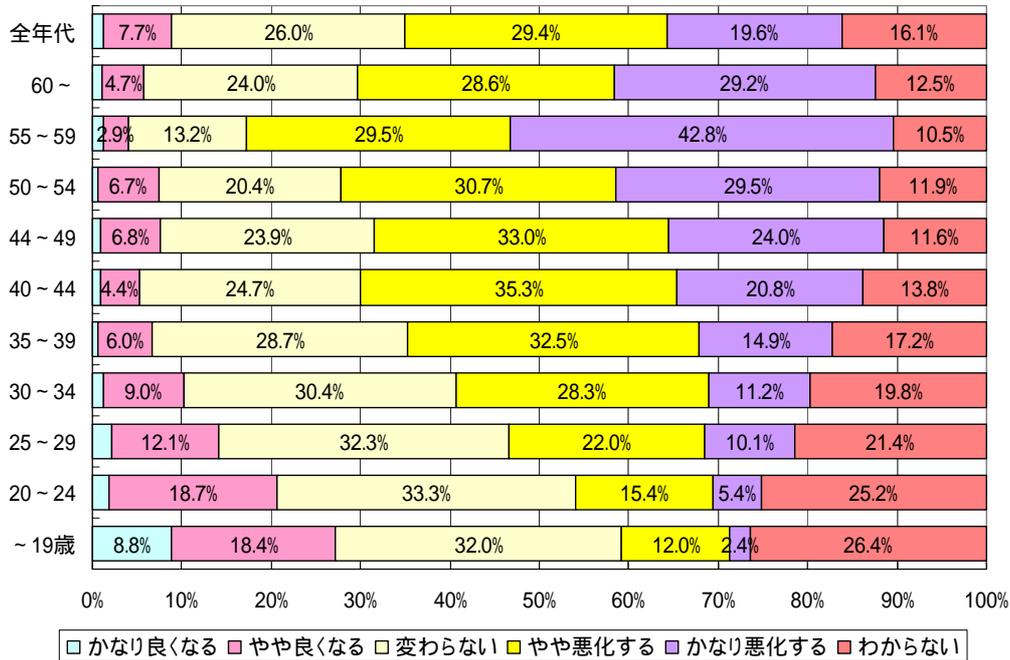


5年後の日常生活の変化については、県全体で1割が良くなるが、5割が悪化すると考えている。地域別にみると、飯石郡、鹿足郡、仁多郡、雲南市で悪化すると感じている人がやや多い。年代別にみると、若い年代ほど現状維持か良くなるが、年齢が上がるほど悲観的な将来展望を描いている。

問 25 . 5年後のあなたの日常生活がどのように変化すると思いますか。 < n=15,544 >



年代別 < n=15,589 >

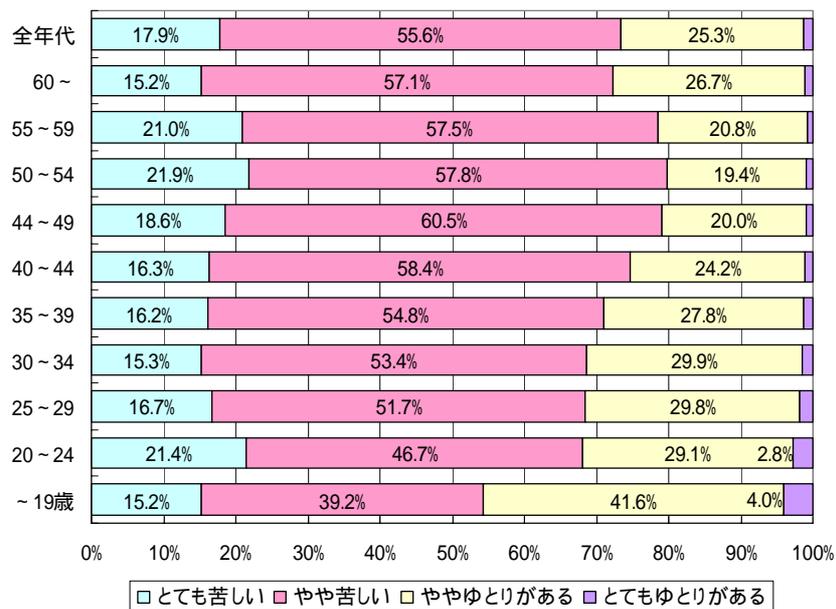


(2) 世帯の金銭的なゆとり

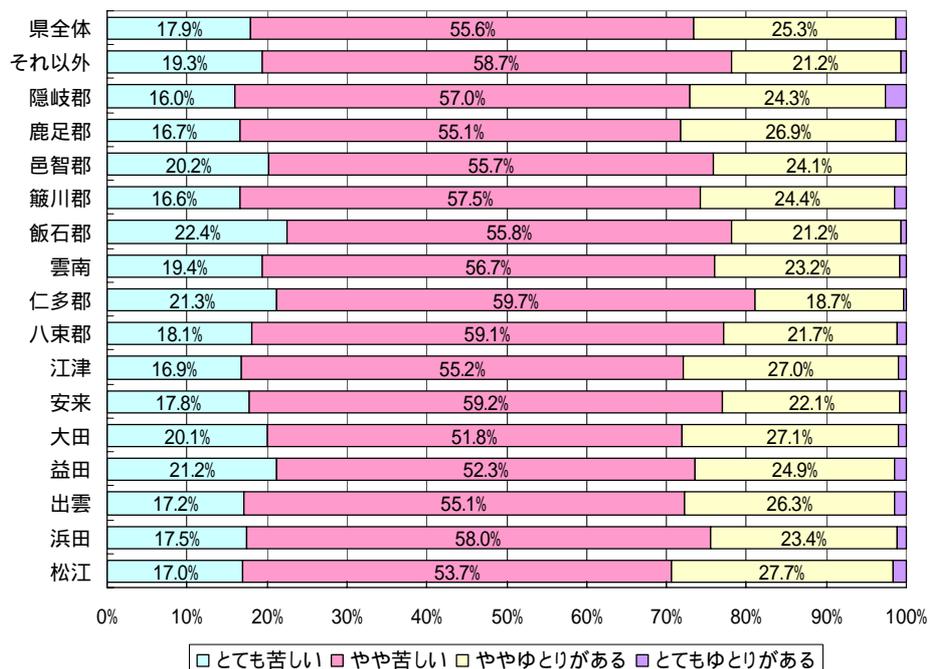
金銭面での生活が苦しいと感じる人が全年代の7割強であり、44～59歳は8割に達する。地域別では、仁多郡と飯石郡で苦しいと感じる人がやや多い。

その理由として、「子供の教育・養育費」が47%を占めるが、「自分の収入が減少」42.9%や「老後の貯蓄」31.8%のように賃下げや社会保障の切り捨て政策の影響がみられる。

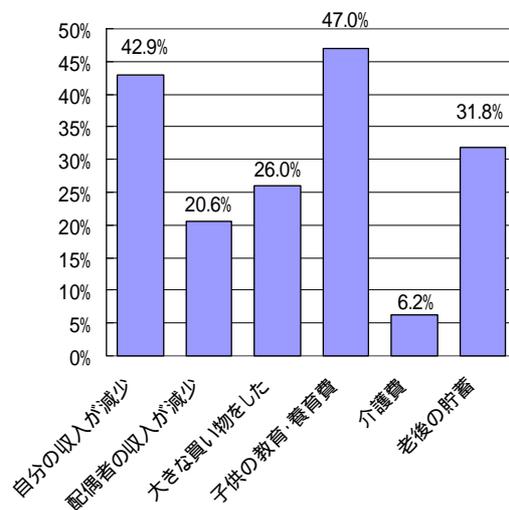
問23. あなたは現在の生活(収入・支出)が苦しいと感じますか。 < n=15,595 >



地域別 < n=15,551 >



問 24 . 問 23 で 1 と 2 (生活が苦しい) と答えた方にお聞きします。理由は何ですか ( 3 つまで回答可 )。 < n=11,579 >

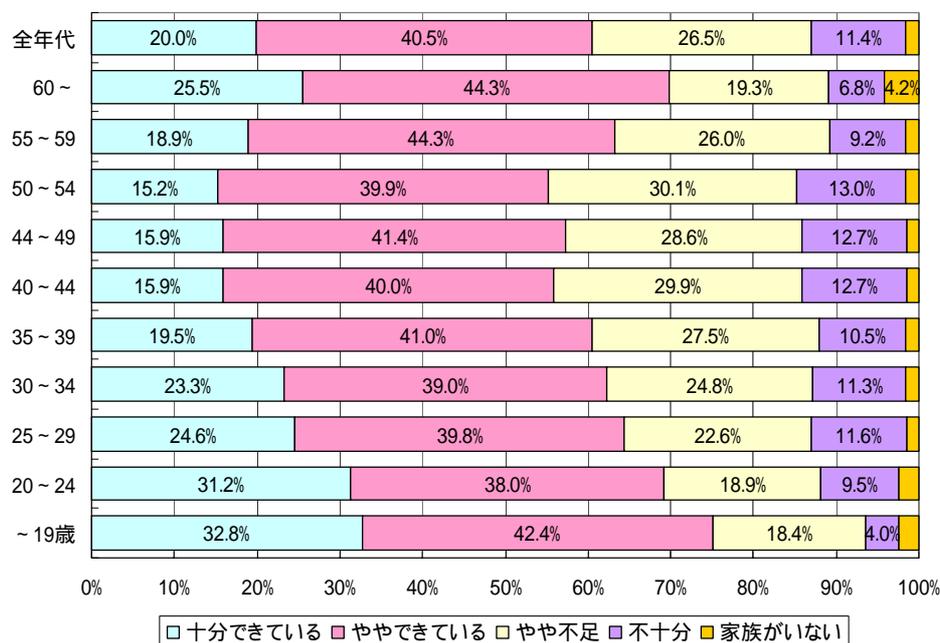


( 3 ) 家族との関係

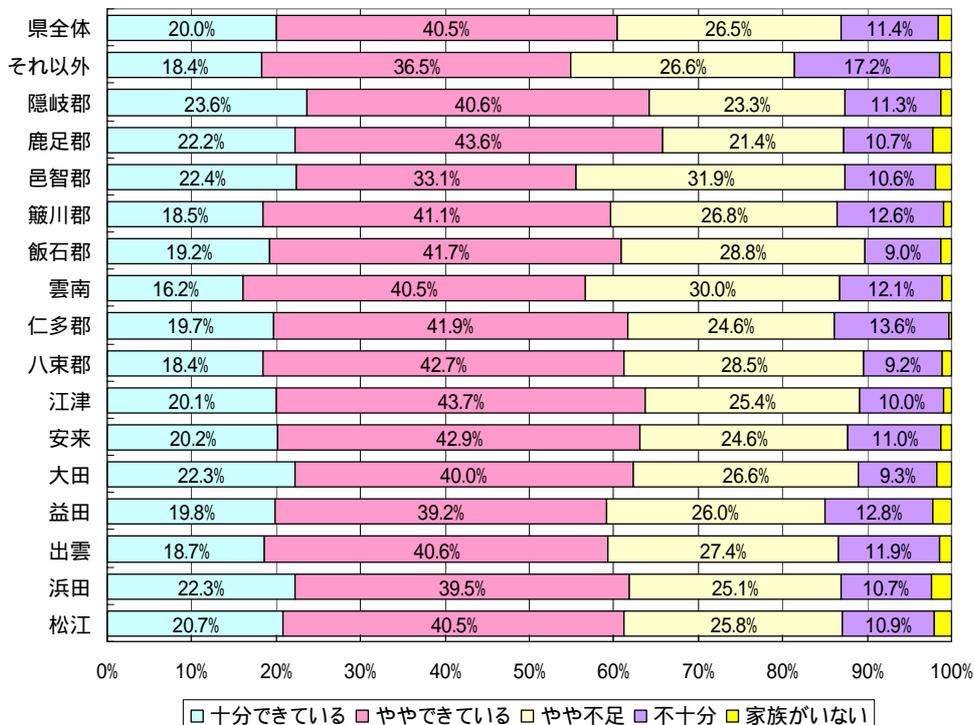
家族とのコミュニケーションについては、全年代で 60% が十分だが、37% が不十分と感じている。40 ~ 54 歳の 4 割は不足と感じている。女性の方が男性よりも家族とのコミュニケーションができていると感じている。自分が家族から必要とされているのかについては、全年代の 83% が必要とされていると考えている。

子供とほぼ毎日食事を一緒にとる人が全年代の 54.9% を占め、飯石郡と隠岐郡では約 7 割を占めている。25 ~ 44 歳の 7 割以上が週の半分以上を一緒にとっている。

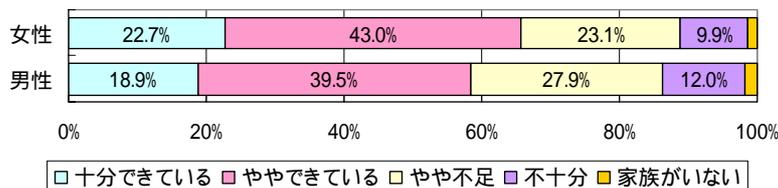
問 26 . あなたは家族とのコミュニケーションが十分できていますか。 < n=15,595 >



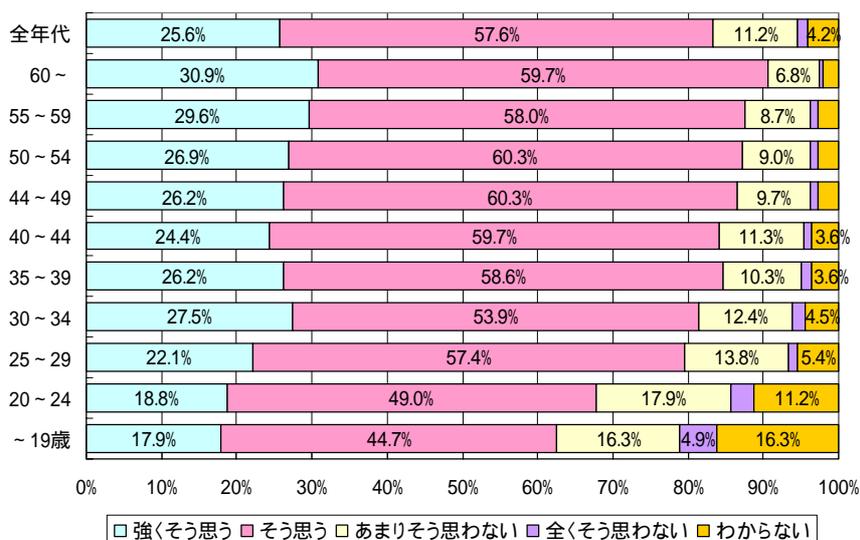
地域別 < n=15,578 >



男女別の家族とのコミュニケーションとの関係 <n=15,626>

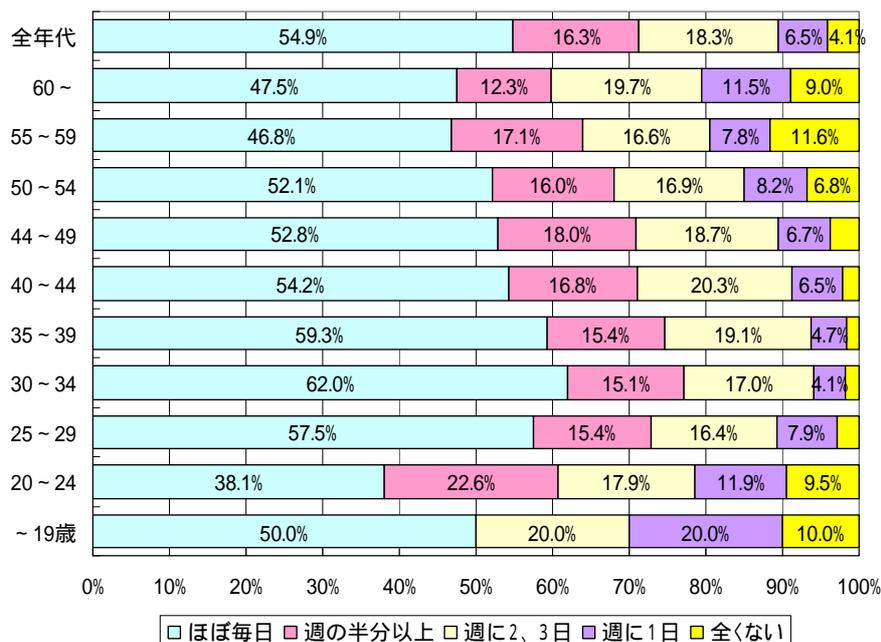


問 27 . あなたは家族にとって必要とされていると感じますか。 <n=15,555>

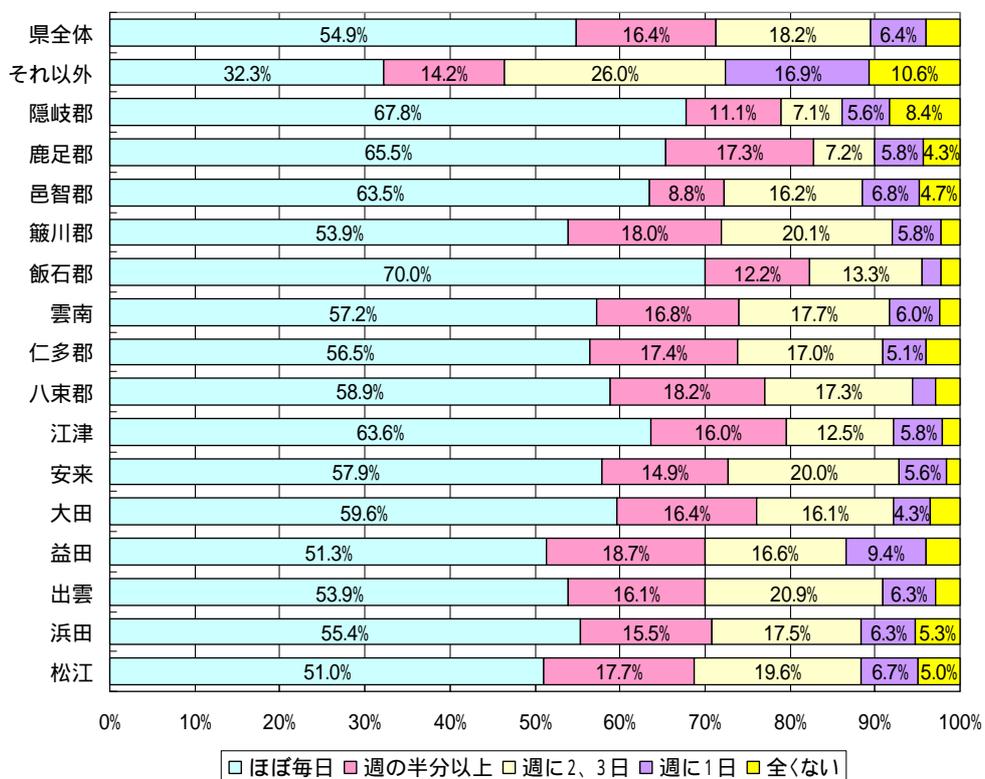


問 28 . 子供のいる方にお聞きします。あなたは日常で家族と食事を一緒にとりますか。

<n=9,489>



地域別 < n=9,455 >

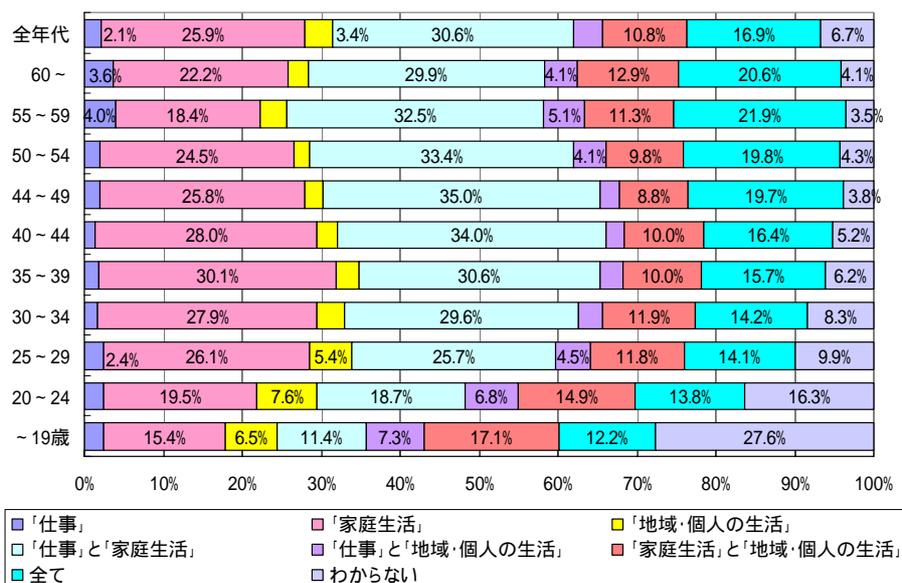


(4) 日常生活への希望と現実

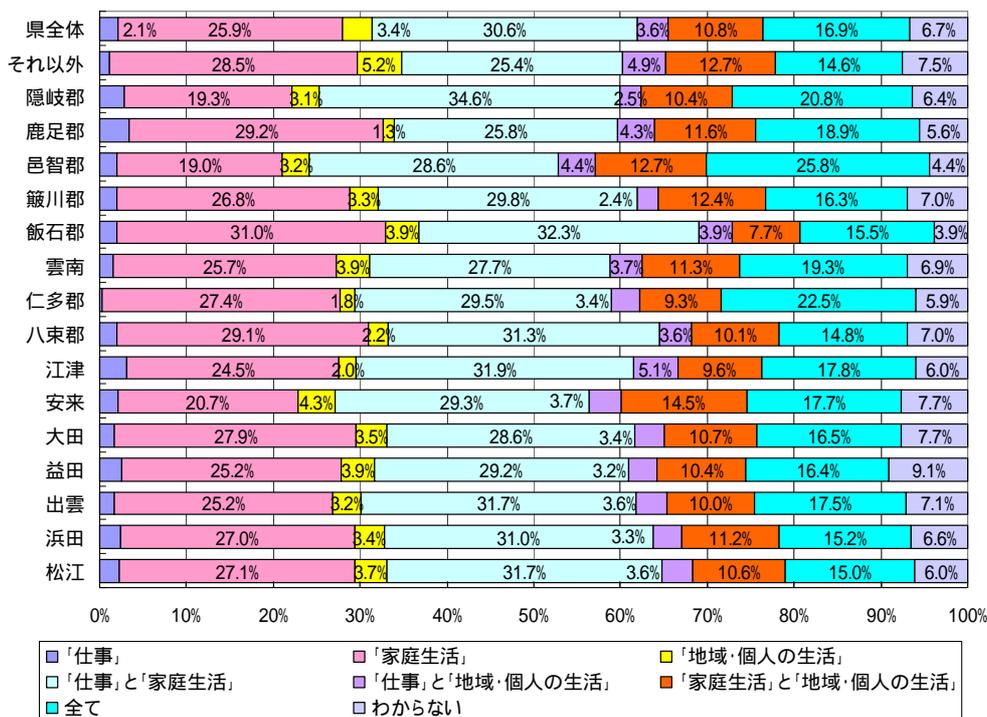
「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の理想的な優先度については、全年代で「家庭生活」をあげている人が7割以上を占めているが、現実には「仕事」が優先されている。

日常生活への希望をみると、25～44歳は「家庭」を重視したい人が多い。管理職は、家庭生活とともに仕事を重視したい傾向がある。

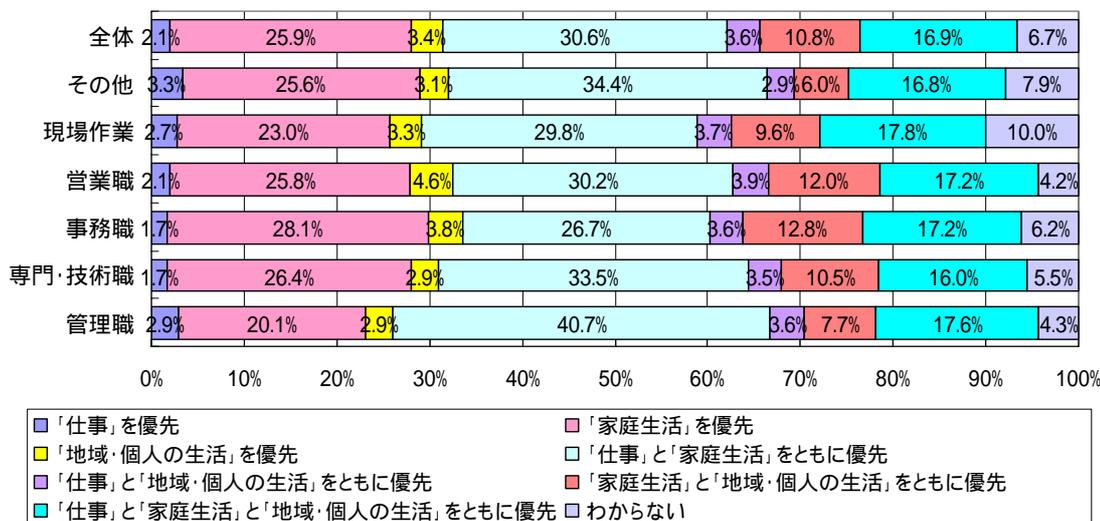
問 29. 仕事、家庭生活、地域・個人の生活について、あなたの希望に最も近いものはどれですか。 <n=15,553>



地域別 <n=15,507>



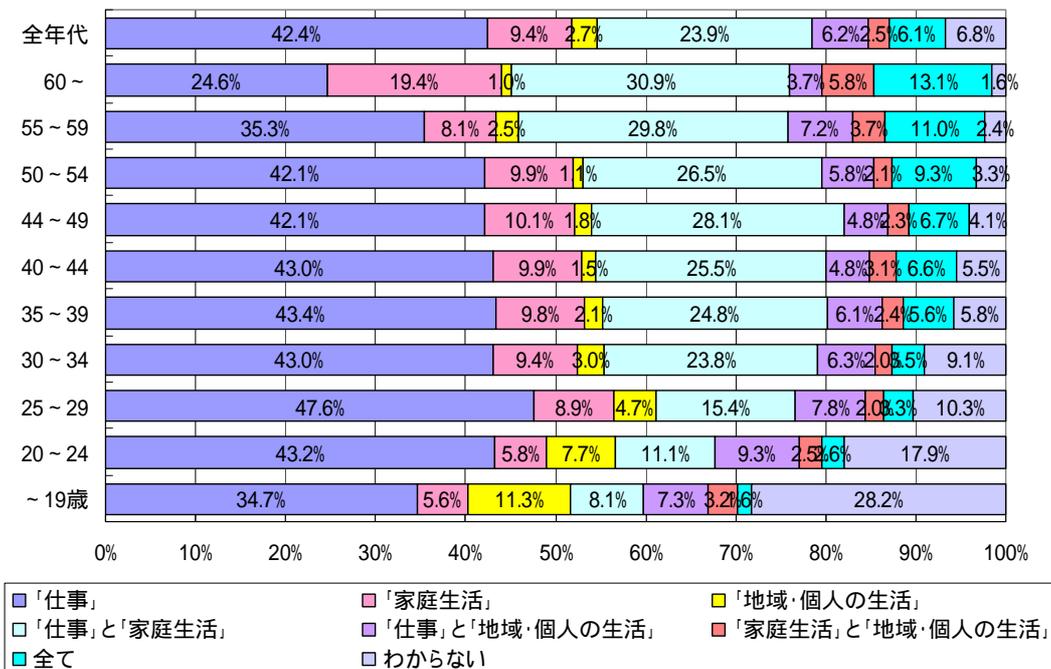
職種と日常生活の希望との関係 < n=15,464 >



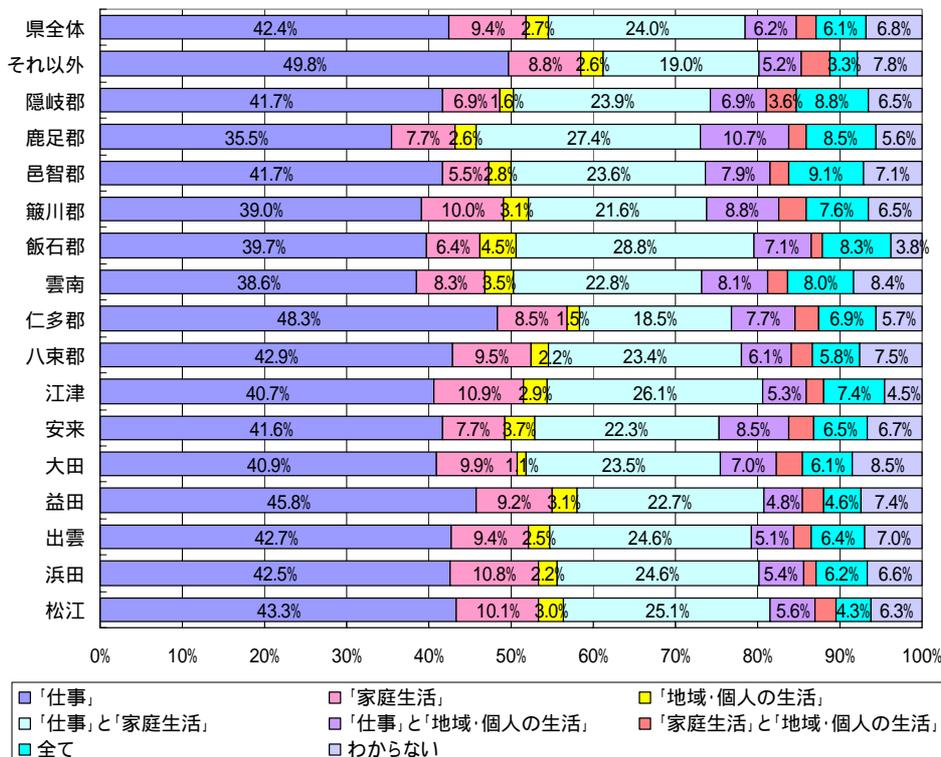
現実の日常生活をみると、全年代の 42% が仕事のみを優先している。仁多郡は仕事を優先している人の割合がやや高いが、地域差はそれほど大きくはない。管理職と営業職は仕事のみを優先する人が 5 割を占める。労働時間が長くなるほど仕事を優先しているという自覚が強くなる。

仕事を優先すると、睡眠時間や長期休暇が不足に感じ、家族とのコミュニケーションが不足するほどの犠牲が生じている。

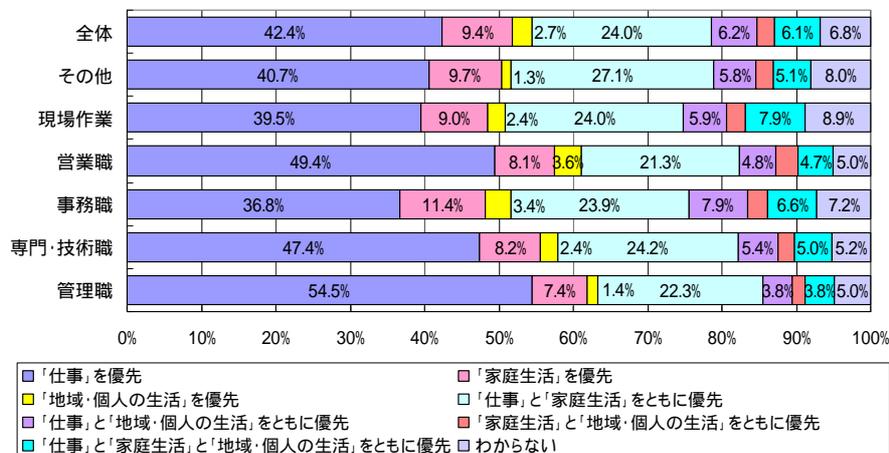
問 30 . 次の中で、あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。 < n=15,580 >



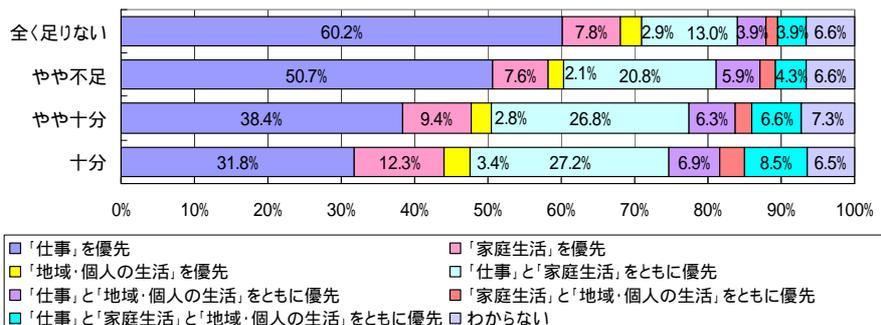
地域別 < n=15,534 >



職種別 < n=15,488 >



睡眠時間との関係 < n=15,576 >





◆参考 内閣府世論調査による仕事、家庭生活、地域・個人生活の関わり方

(1) 希望優先度

	「仕事」	「家庭生活」	「地域・個人 の生活」	「仕事」と 「家庭生活」	「仕事」と 「地域・個人 の生活」	「家庭生活」と 「地域・個人 の生活」	全て	わからない
本調査(県全体)	2.1%	25.9%	3.4%	30.6%	3.6%	10.8%	16.9%	6.7%
内閣府調査	11.2%	27.7%	3.9%	27.7%	3.6%	9.7%	14.7%	1.4%

(2) 現状

	「仕事」	「家庭生活」	「地域・個人 の生活」	「仕事」と 「家庭生活」	「仕事」と 「地域・個人 の生活」	「家庭生活」と 「地域・個人 の生活」	全て	わからない
本調査(県全体)	42.4%	9.4%	2.7%	24.0%	6.2%	2.5%	6.1%	6.8%
内閣府調査	27.7%	32.4%	4.7%	18.7%	2.8%	7.2%	5.0%	1.6%

(注) 内閣府調査は、内閣府大臣官房政府広報室(2007)「男女共同参画社会に関する世論調査」の結果(図22・23)を示す。

世論調査と本調査との違いは下記の通りである。

- ・ 島根県は「仕事」を優先したい人が全国よりも少ないが、「仕事」を優先している人が全国よりも多い。
- ・ 島根県は「家庭」を優先している人が全国よりも少ないが、「仕事」と「家庭生活」の両方を優先している人が全国よりも多い。

#### IV. 地域との関係

##### 1. ソーシャル・キャピタルの豊かさ

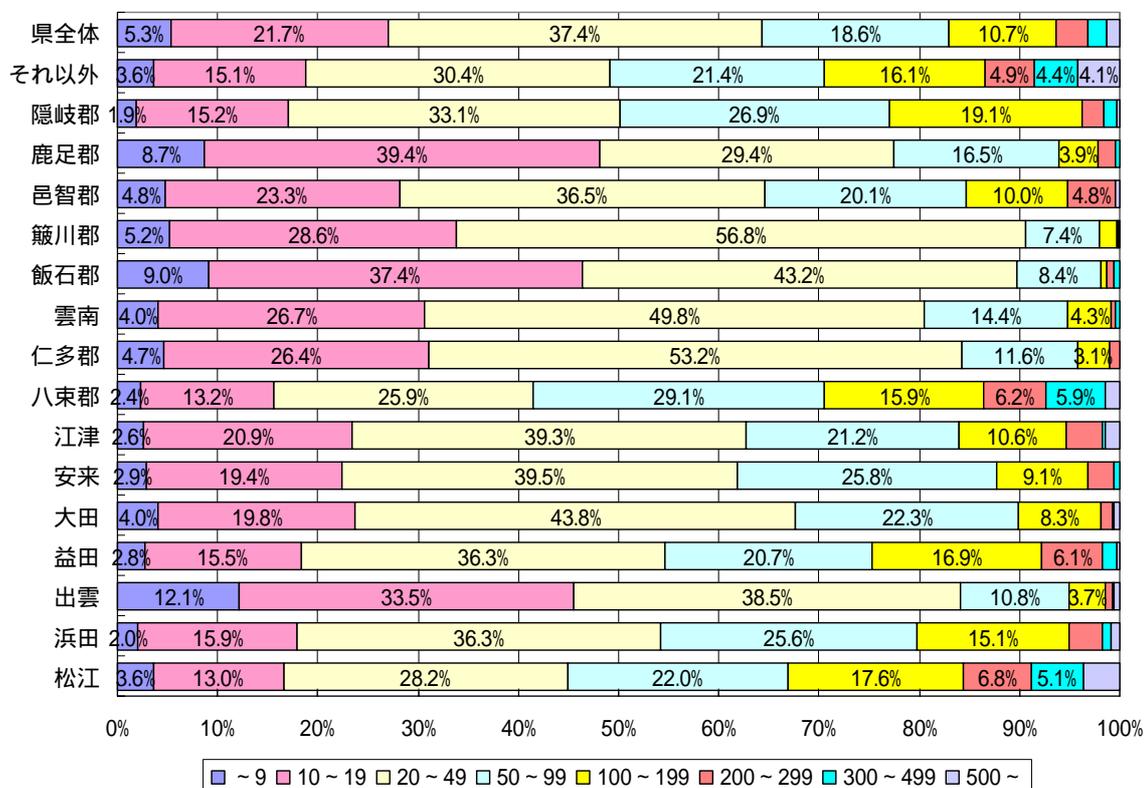
###### (1) 隣近所・地域とのつきあい

年齢が高くなるほど、隣近所の近況を知る人と日常的なつきあいの緊密さが高くなる。こうした人は地域への信頼も高く、隣人や地域からの助力を得やすいと考えている。

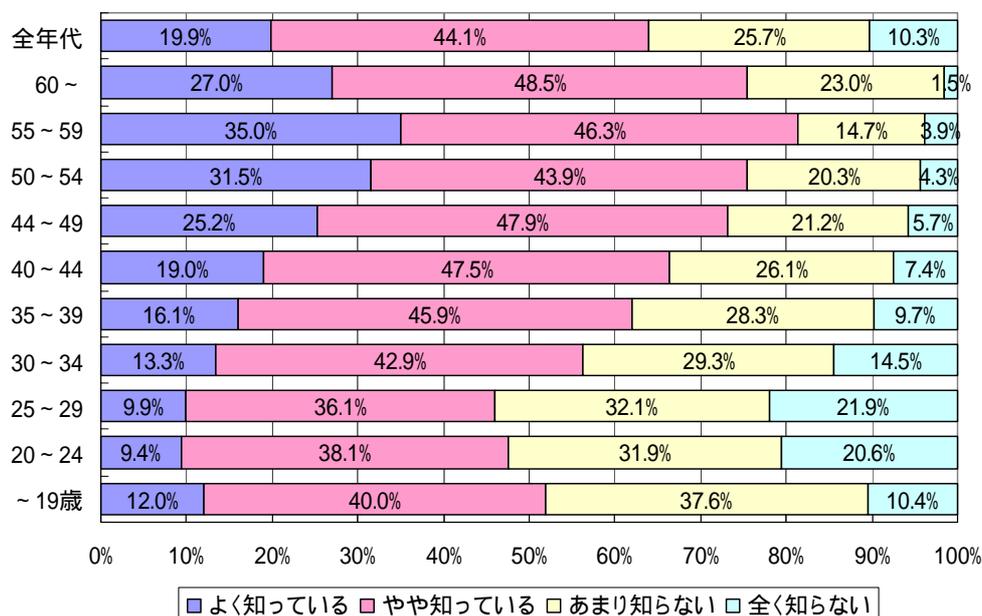
隣・近所とのつきあいは、飯石郡で9割が近況を知っており、つきあいの人数も5人以上が76%である。次いで、仁多郡、鹿足郡、隠岐郡、邑智郡もつきあいの緊密さが強い。一方、松江市では16%が隣近所は誰なのかも知らず、つきあいの人数も少ない。

このように、中山間地域ではソーシャル・キャピタルが豊かだが、都市部ではそれが弱いことが顕著に示されている。

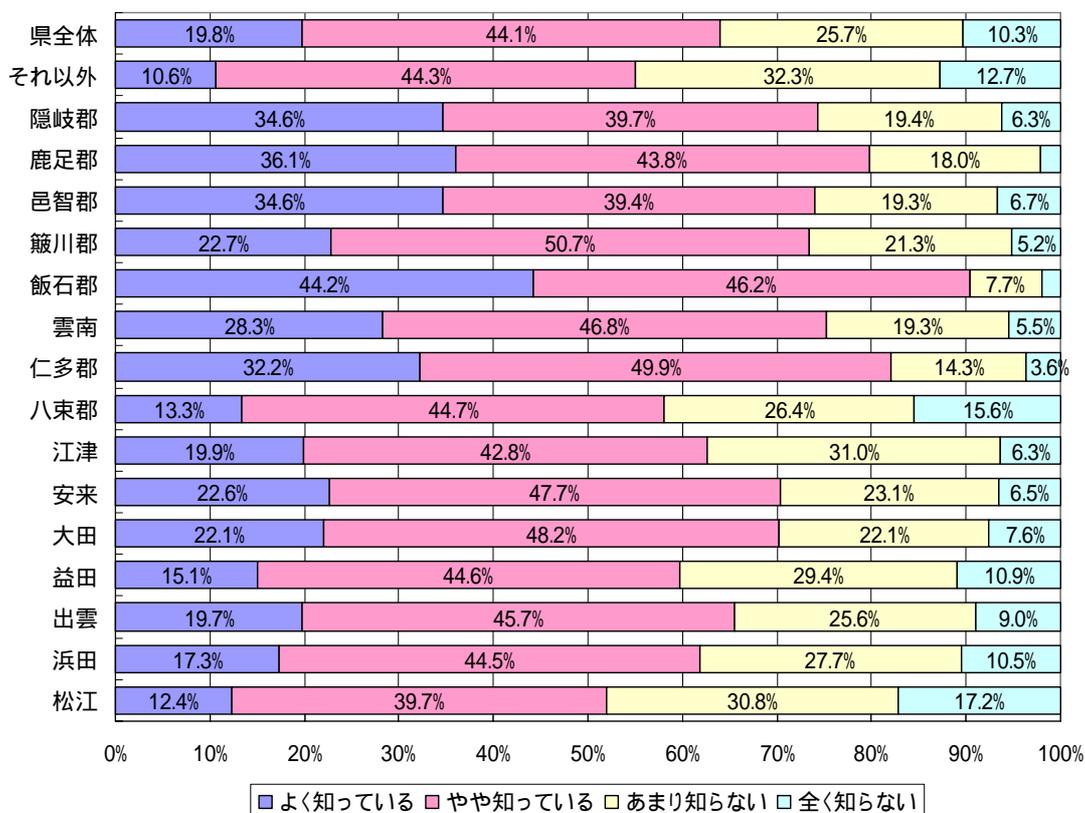
問 31 . あなたのお住まいの町内会・自治会の規模はどの程度ですか。 < n=15,047 >



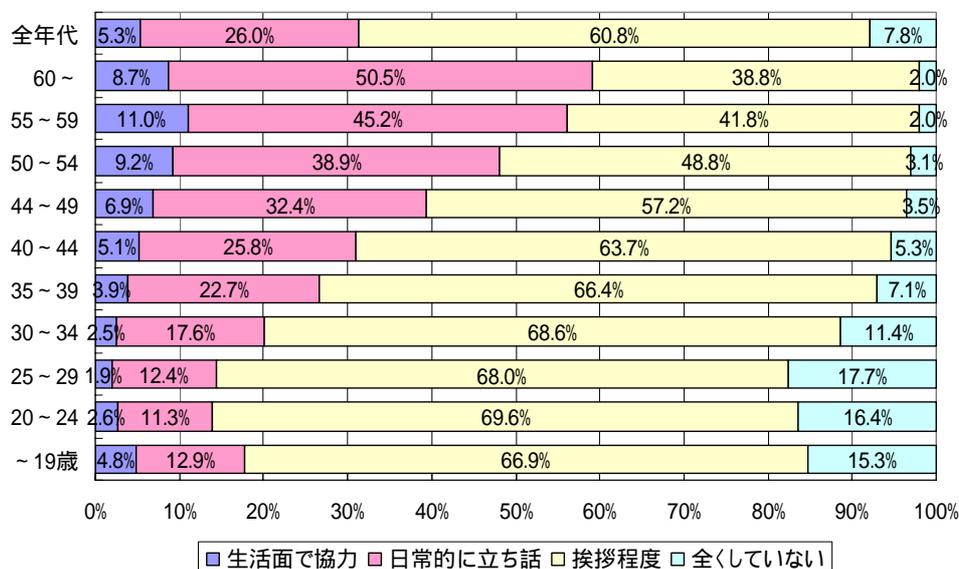
問 32 . あなたは隣近所の家族構成や近況を知っていますか。 < n=15,564 >



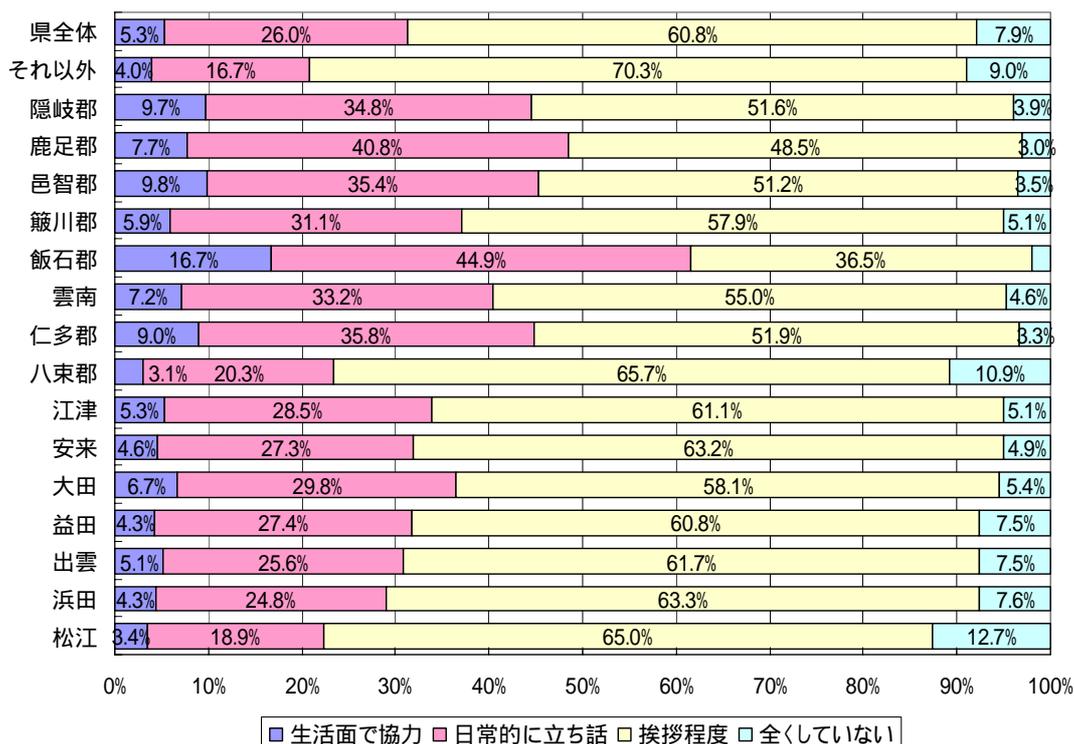
地域別 < n=15,564 >



問 33 . あなたは隣近所とどの程度のつき合いをしていますか。 < n=15,598 >



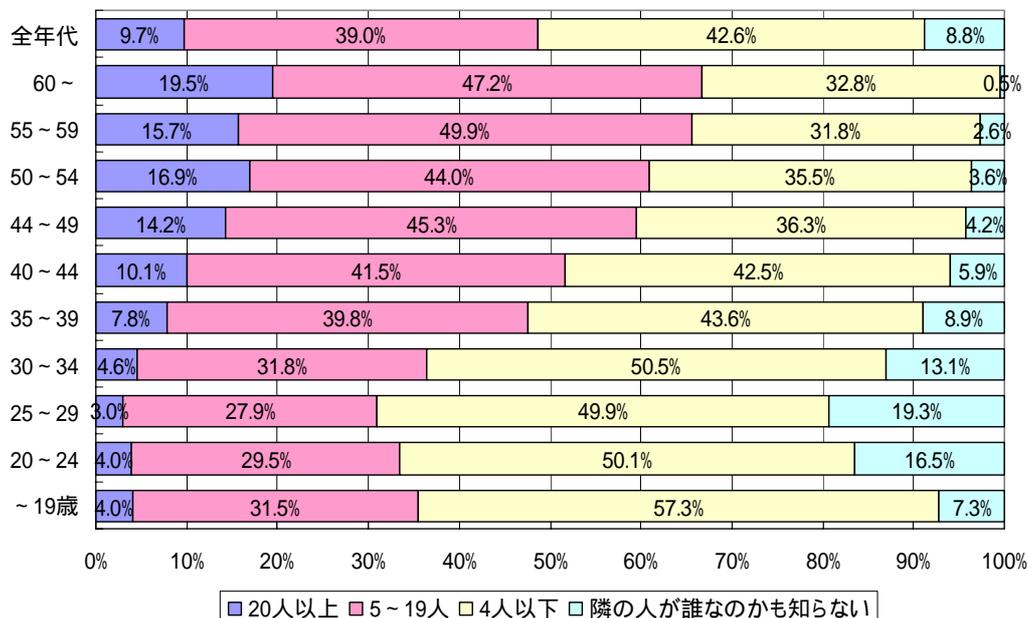
地域別 < n=15,549 >



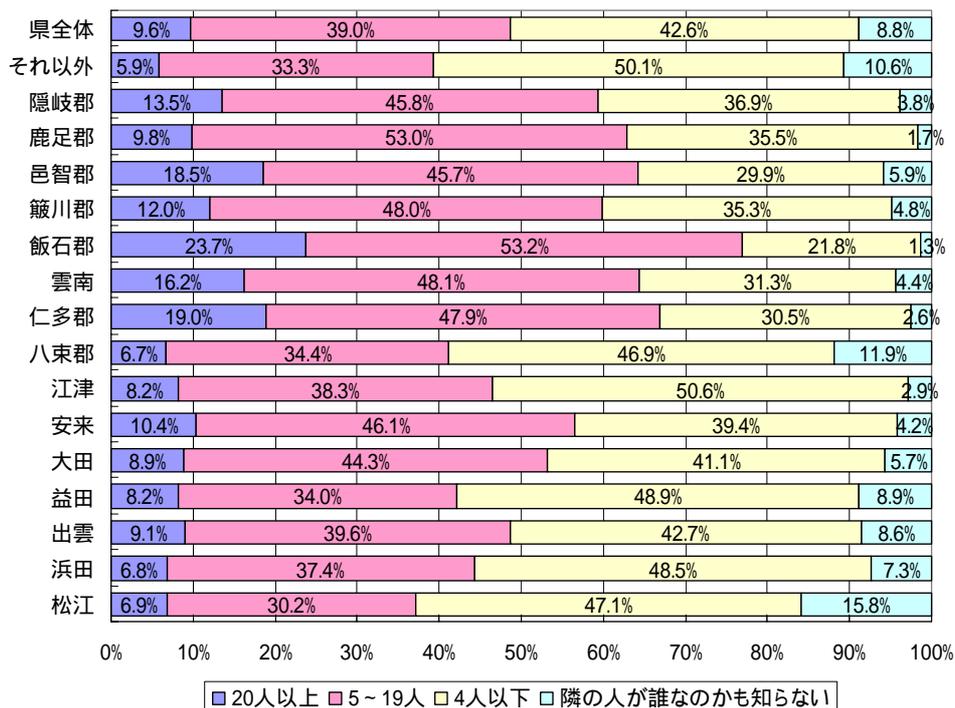
参考：内閣府経済社会総合研究所（2005）の調査結果（資 2-3、Q17）

質問: あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか？	度数	(%)
1 互いに相談、日用品の貸し借り等、生活面で協力しあっている人もいる	251	8.4
2 日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている	858	28.6
3 あいさつ程度の最小限のつきあひしかしていない	1707	56.9
4 つきあひは全くしていない	184	6.1

問 34 . あなたは隣近所のどの程度の人とつき合いをしていますか。 <n=15,577 >



地域別 <n=15,531 >



参考：内閣府経済社会総合研究所（2005）の調査結果（資 2-3、Q18）

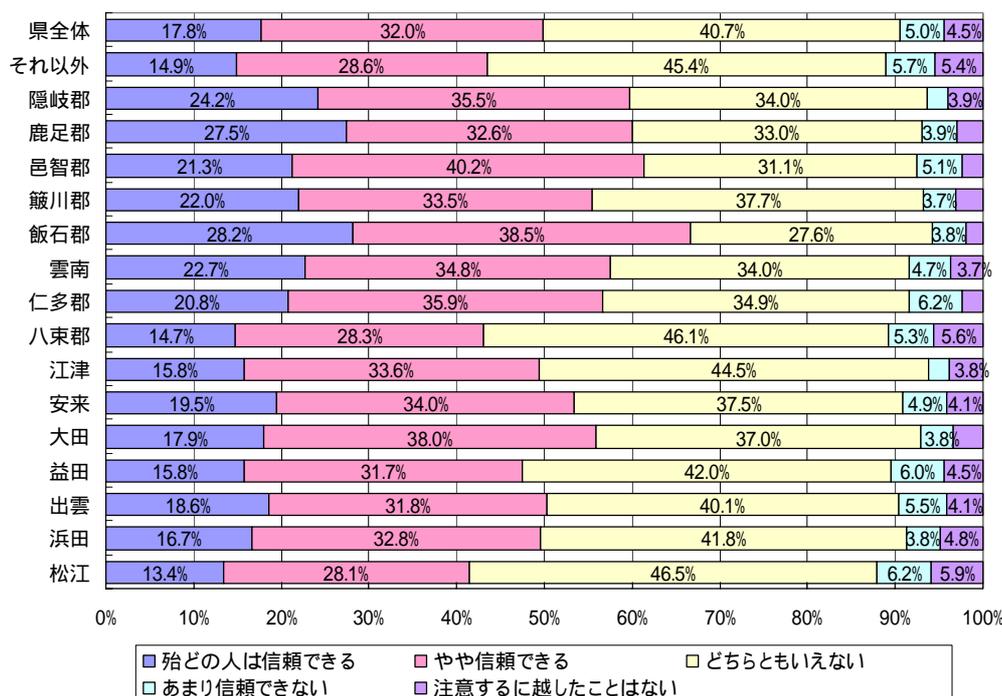
質問：つきあっている人数の数について当てはまるものを1つ選んでください	度数	(%)
1 近所のかかなり多くの人と面識・交流がある(概ね20人以上)	263	8.8
2 ある程度の人との面識・交流がある(概ね5~19人)	1176	39.2
3 近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある(概ね4人以下)	1308	43.6
4 隣の人だけがだれかも知らない	253	8.4

(2) 地域への信頼感

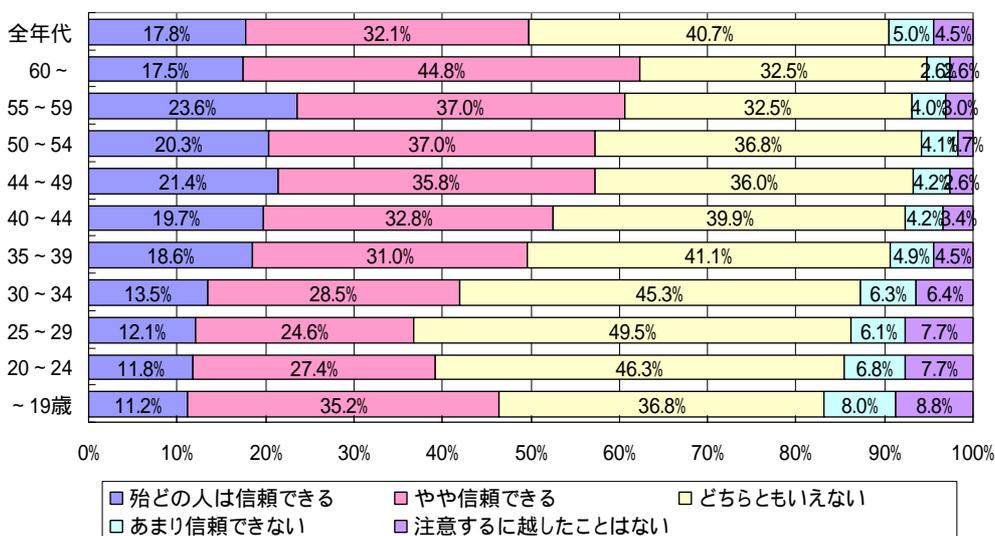
地域への信頼度は飯石郡で67%が信頼できるが、松江市と八束郡では4割にとどまる。しかし、他地域の人への信頼度については、地域間に差がみられない。年齢が上がるほど地域への信頼が高くなる。隣近所との交流が緊密であるほど、地域への信頼が高い。隣近所・地域からの助力は、飯石郡と隠岐郡などの中山間地域では5割以上が期待している。

地域への信頼度が高い人は、他の地域の人への信頼度も高く、信頼度が低い人はその逆の傾向になる。自治会活動が盛んな人ほど、地域への信頼度が高くなる。

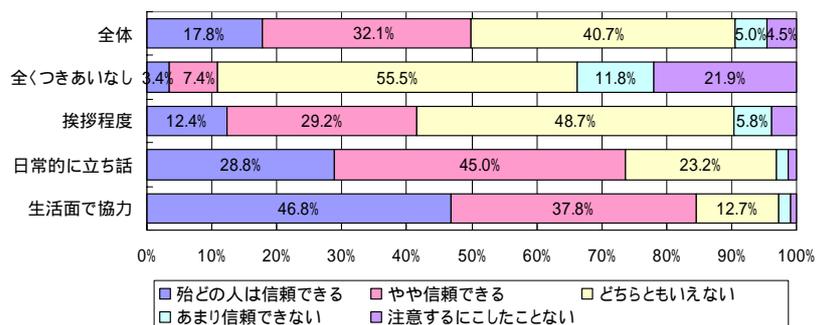
問35. あなたは地域の人を信頼できますか。 <n=15,539>



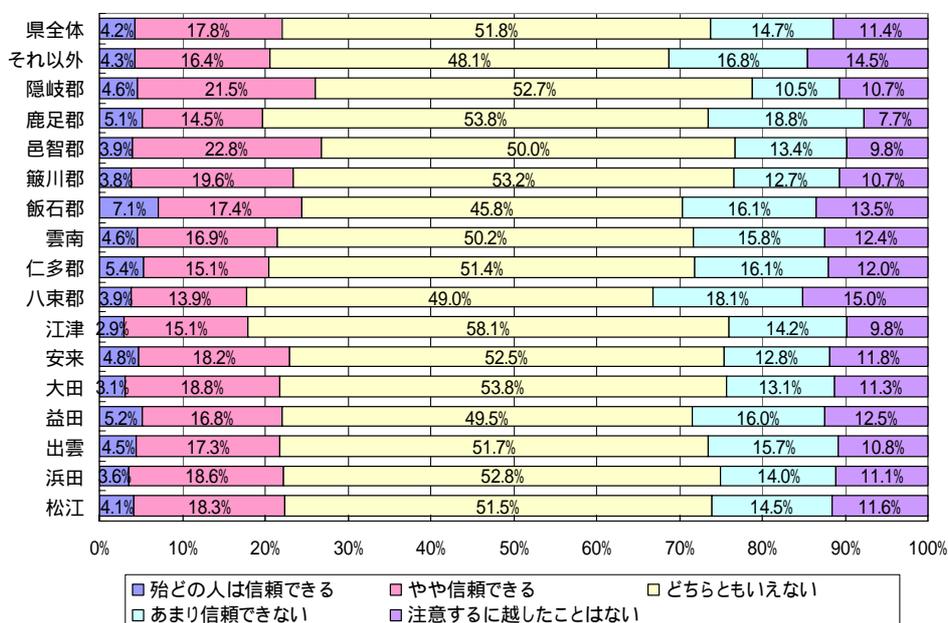
年代別 <n=15,587>



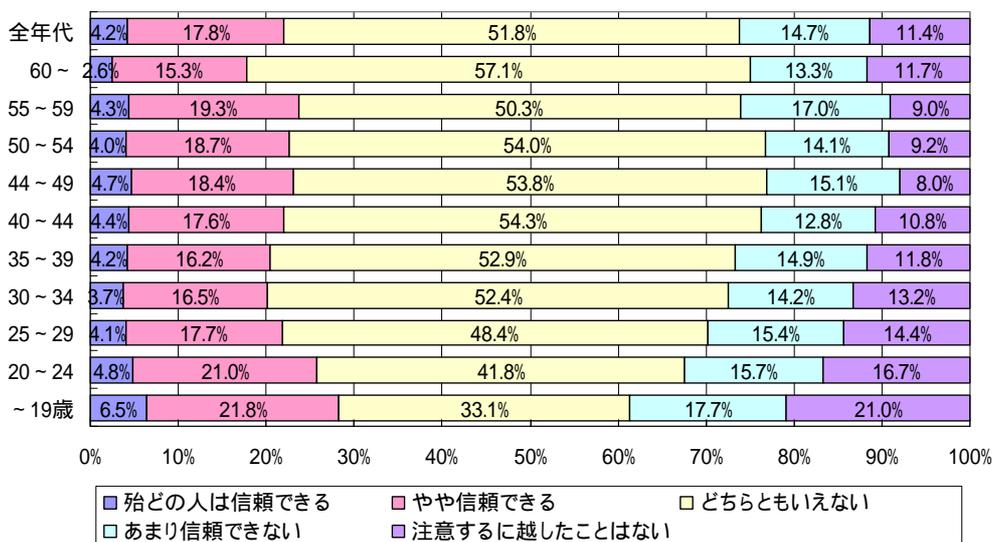
隣近所のつきあいとの関係 < n=15,564 >



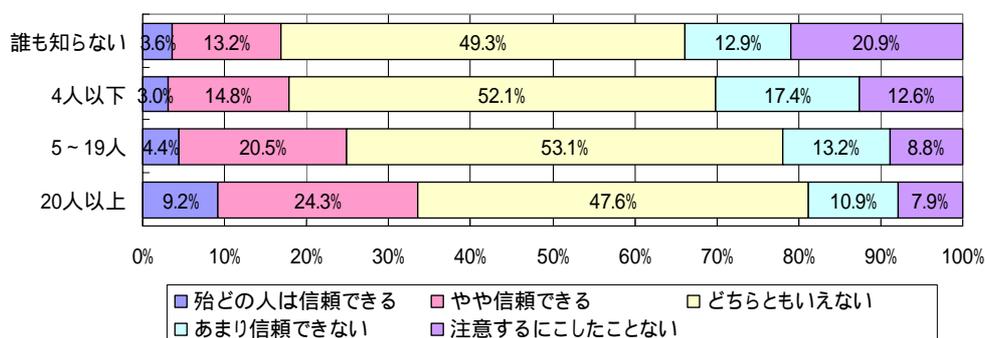
問 36 . 一般的に ( 地域以外の見知らぬ土地などで出会う ) 他人を信頼できますか。



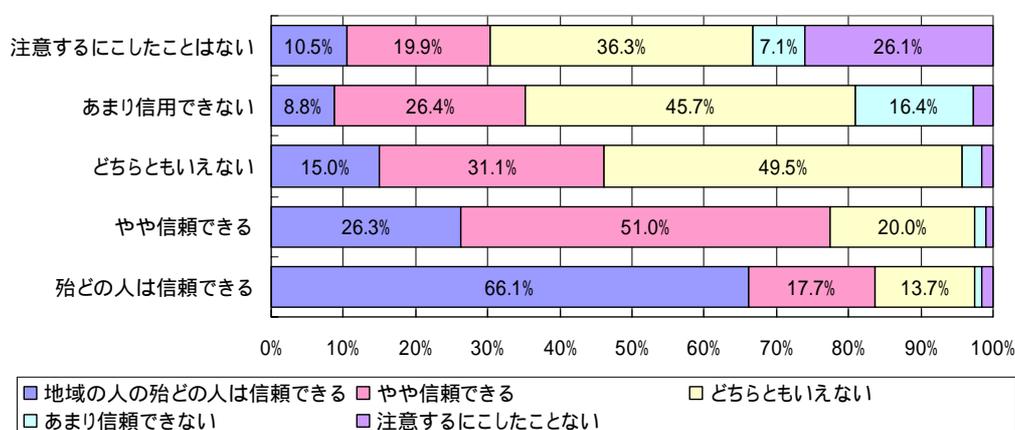
年代別 < n=15,598 >



隣近所のつきあい人数との関係 < n=15,561 >



地域の信頼度との関係 < n=15,571 >



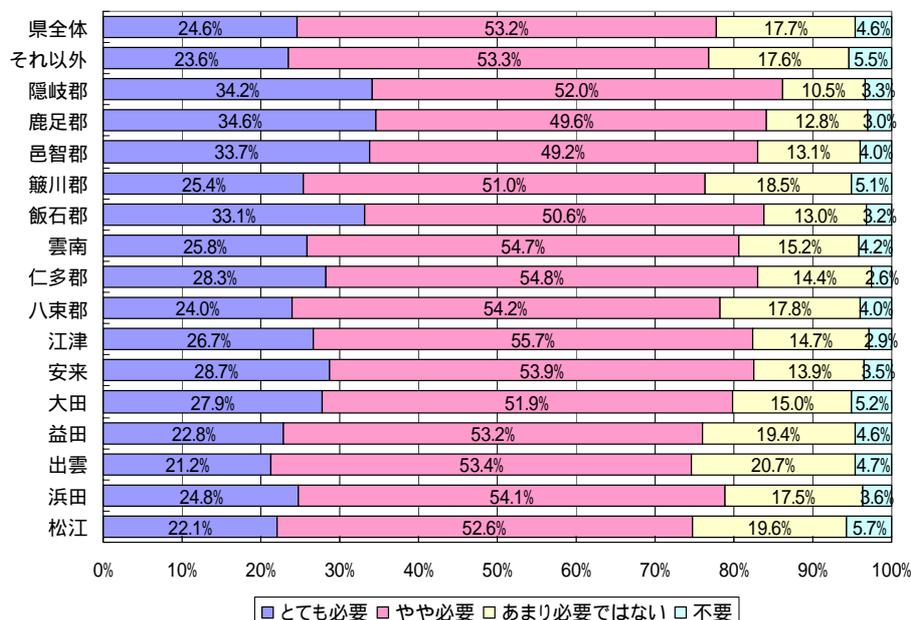
(3) 自治会・町内会への参加

年齢が高くなるほど、町内会・自治会の活動に積極的に関わる割合が高く、その必要性を認める傾向が強い。町内会・自治会の必要性については、隠岐郡や鹿足郡で必要度がやや強いが、地域間で顕著な差はみられない。過疎化している地域では自治会の必要性が高いが、過疎化していない地域では自治会の必要性がそれほど高くはない。

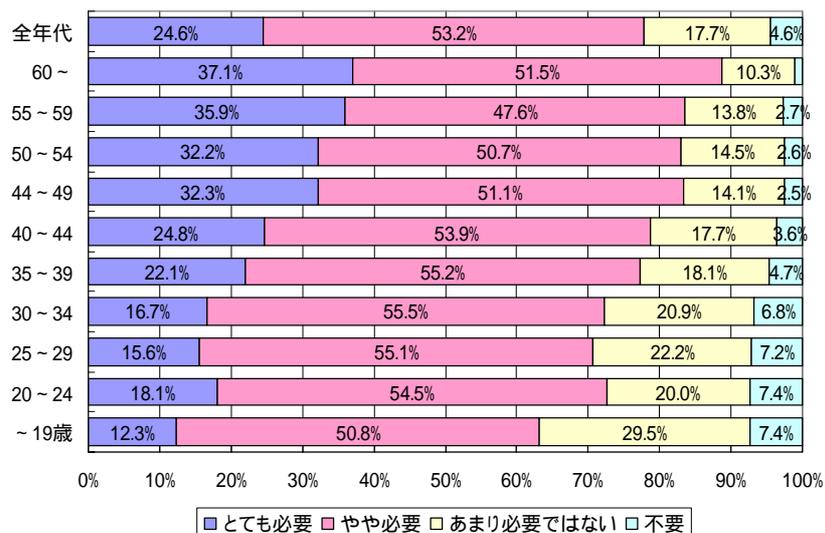
地域での義務的な活動については、飯石郡と隠岐郡では8割が参加しているが、松江市と八束郡では6割の参加にとどまる。楽しみ活動、趣味活動、ボランティア活動についても同様の傾向である。

自治会が必要な理由として、「地域の安全」や「助け合える」が58%を占めるとおり、昔ながらの役割が期待されている。

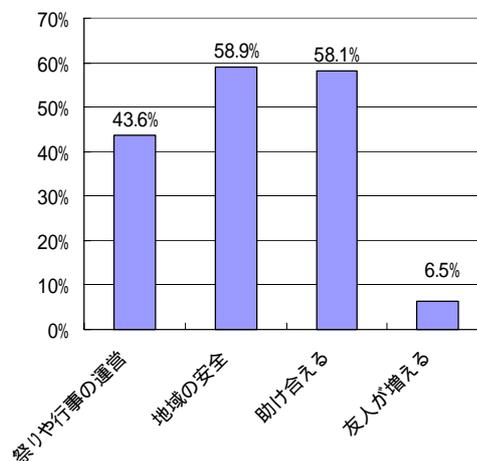
問 37 . あなたは町内会や自治会が必要だと思いますか。 <n=15,506 >



年代別 <n=15,553 >

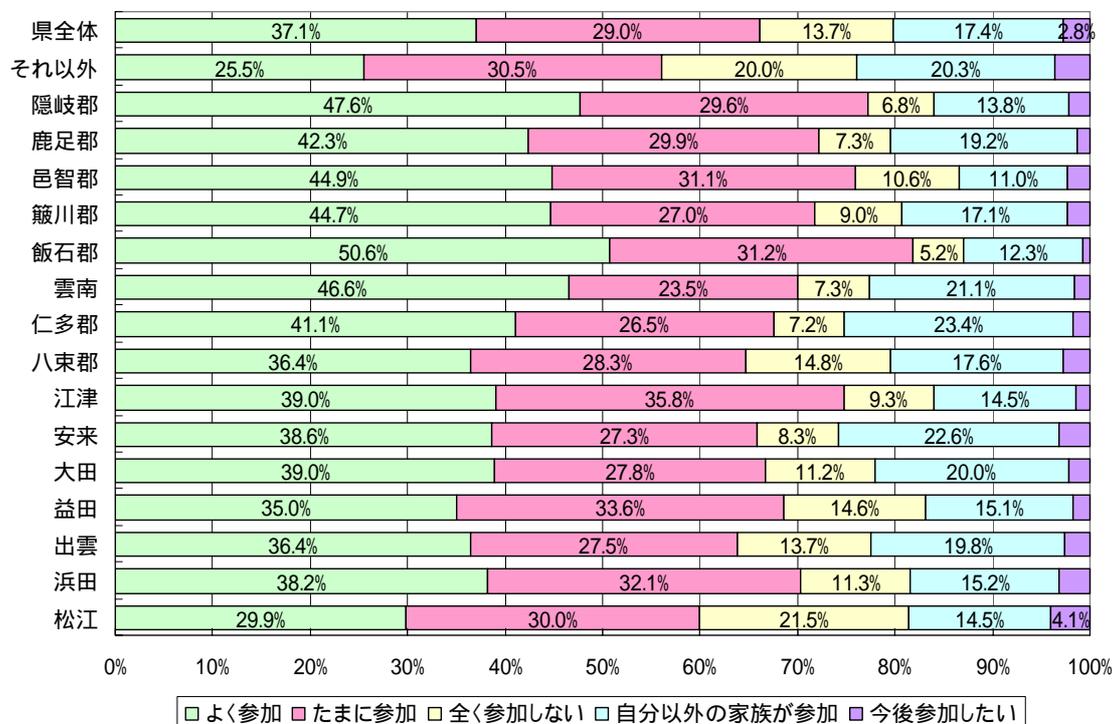


問 38 . 問 37 で 1 と 2 と答えた方にお聞きします。理由は何ですか ( 2 つまで回答可 )  
<n=12,167 >

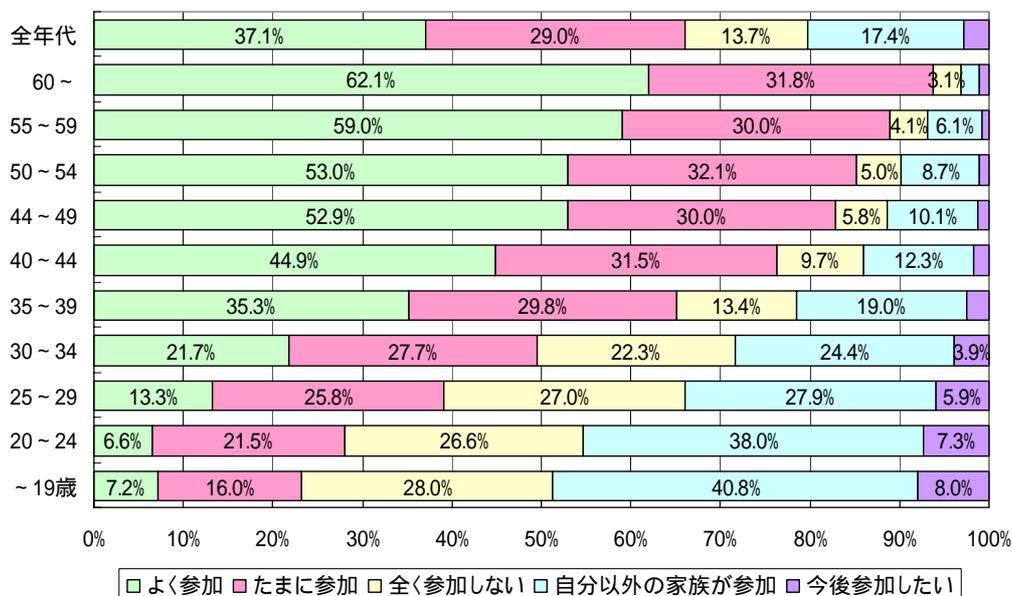


問 39 . あなたは町内会や自治会の活動に参加していますか。

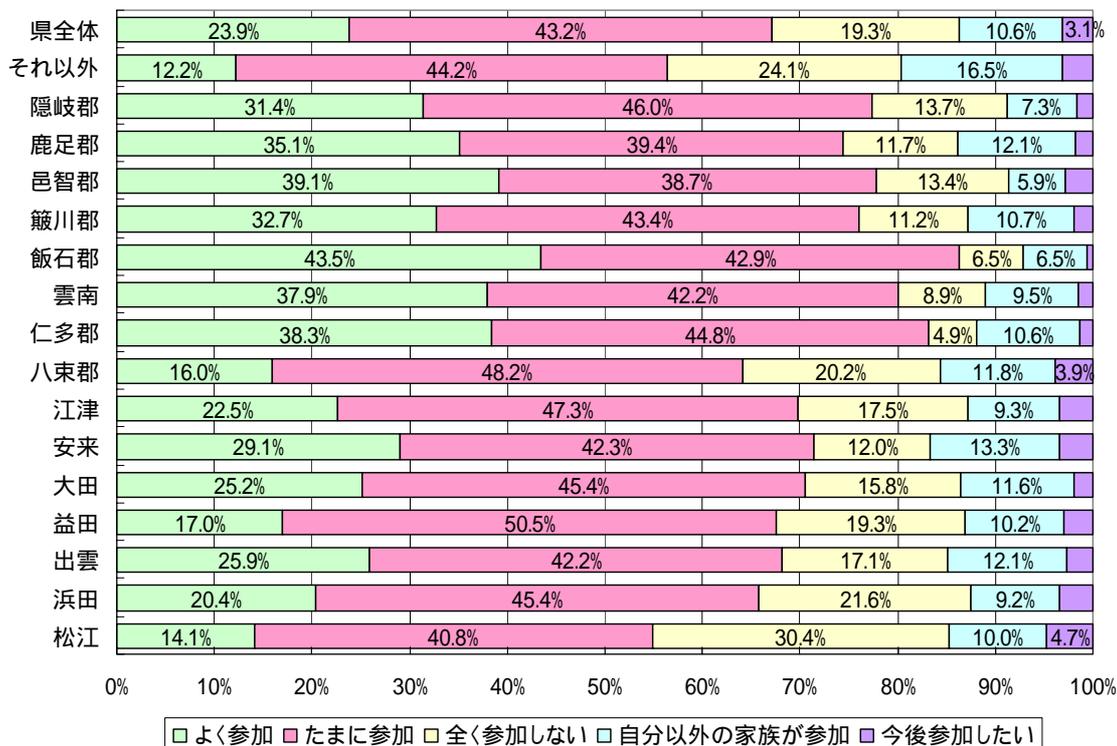
(ア) 義務的な活動 (環境整備)



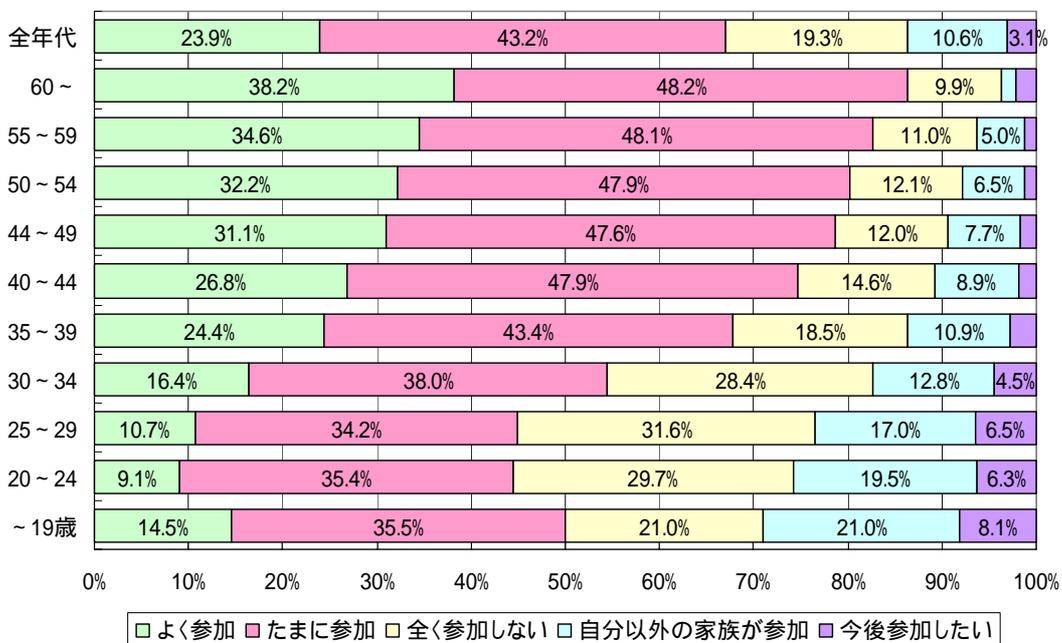
年代別 < n=15,531 >



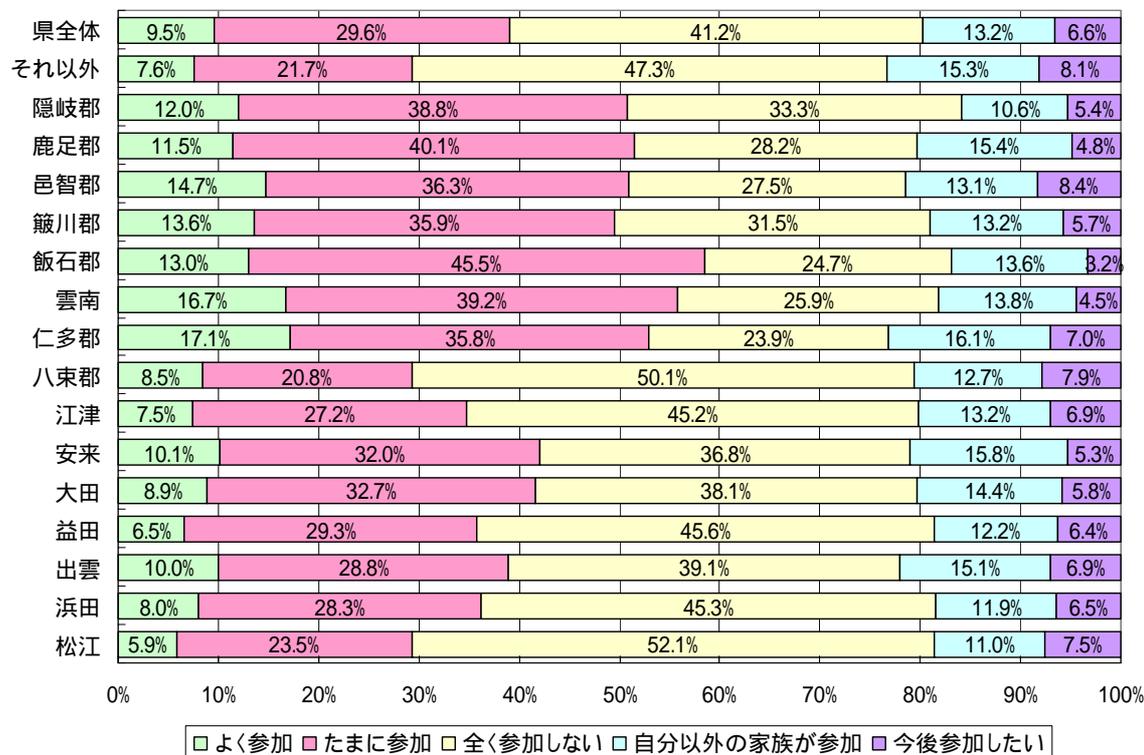
(イ) 楽しみ活動(祭りなど) <n=15,436>



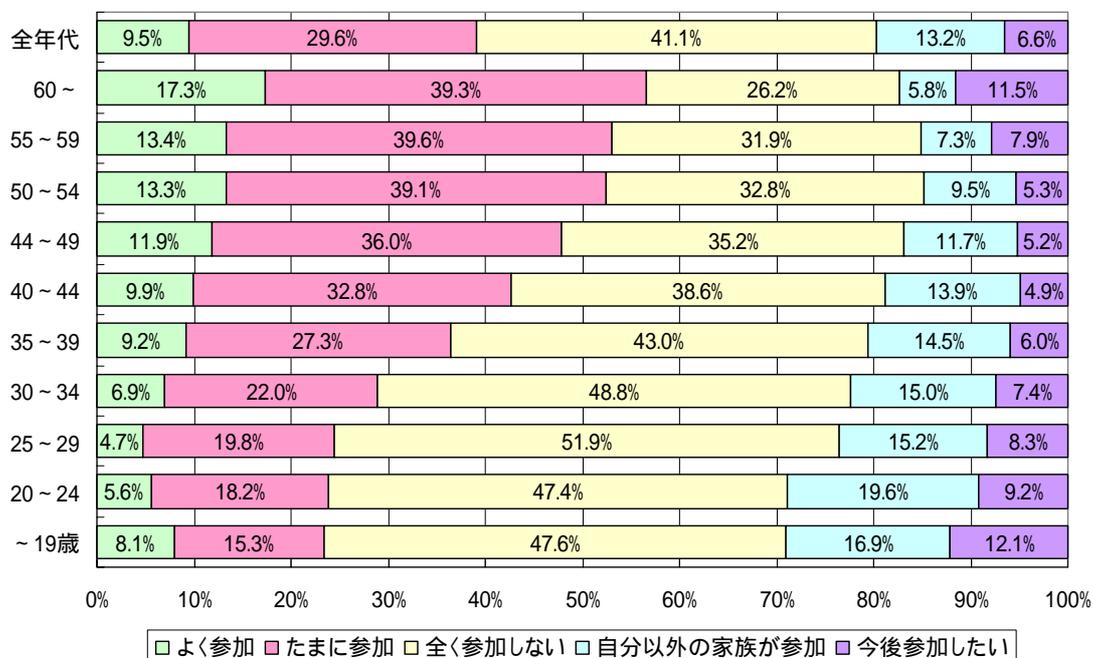
年代別 <n=15,485>



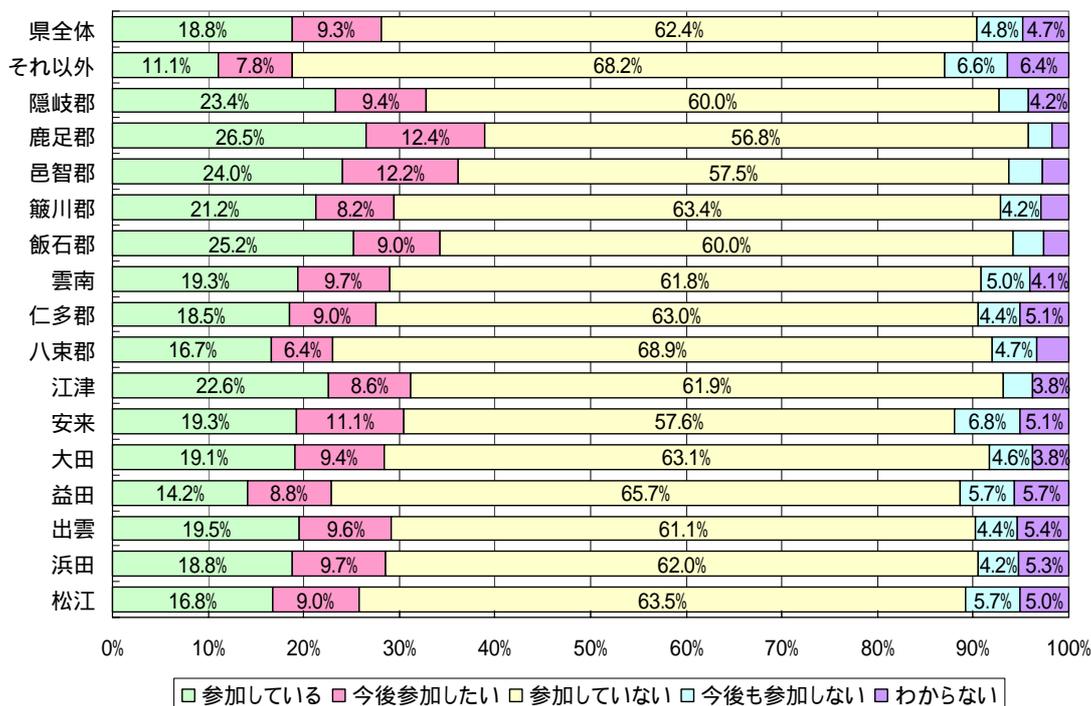
(ウ) 趣味の活動・サークル <n=15,374>



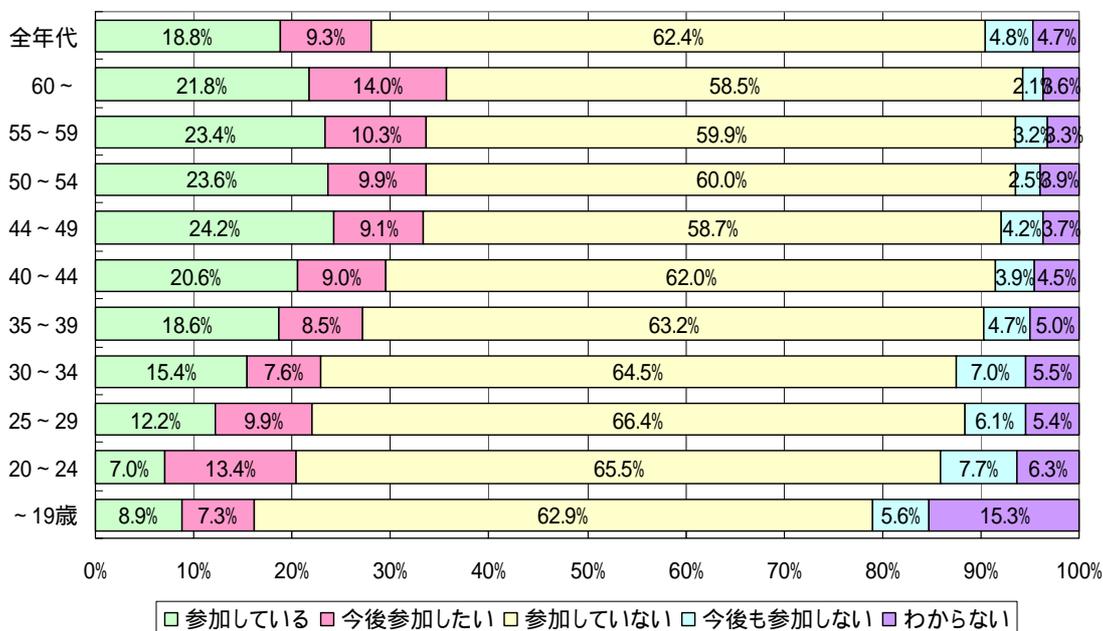
年代別 <n=15,423>



問 40 . あなたはボランティア活動・NPO・市民活動に参加していますか。 <n=15,545 >



年代別 <n=15,594 >



## 2. 地域への愛着さと将来展望

### (1) 地域の現状

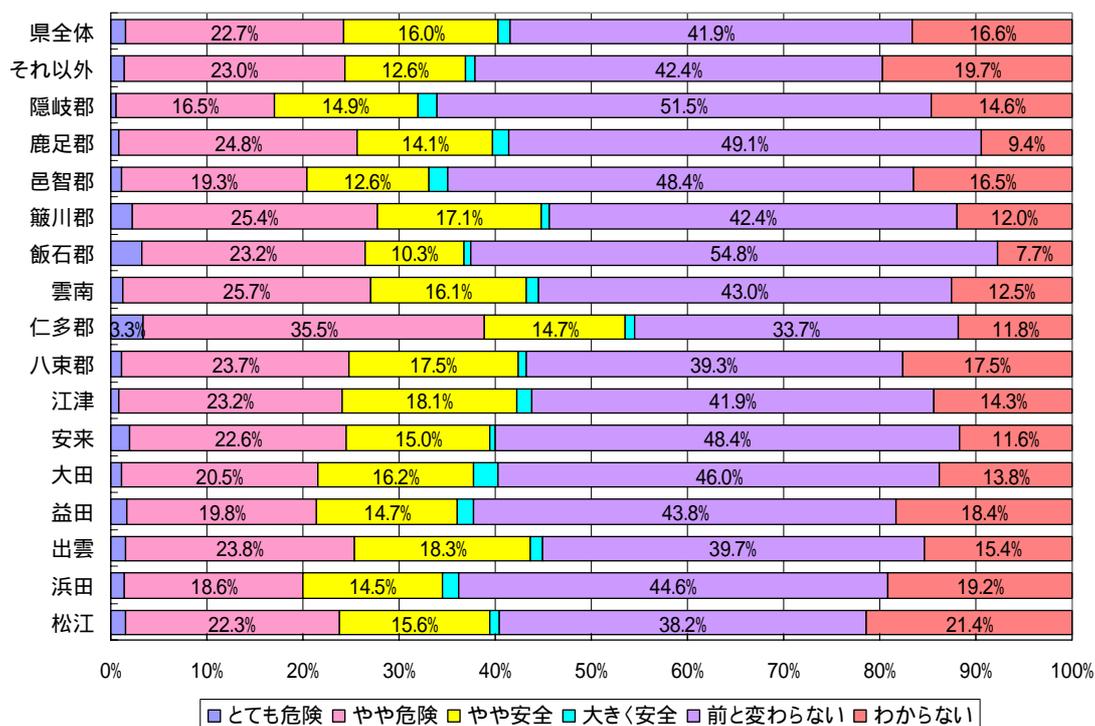
地域の安全性については、35～44歳の3割が危険になったと感じている。地域の安全性の変化については、県全体で5割が変化なしだが、危険になったと感じている人が24%、仁多郡では39%を占める。

地域でのもめごとの有無については、地域間での差はあまりみられない。

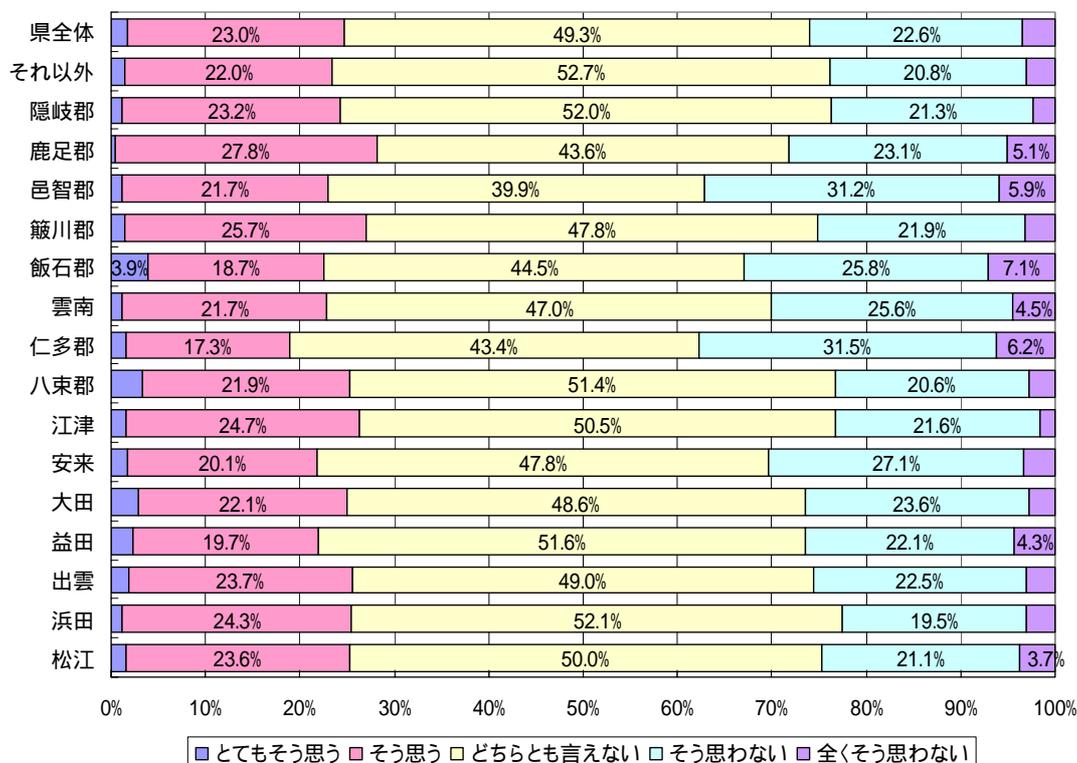
困ったときに隣近所や地域から助力を得られるのかについては、飯石郡や隠岐郡ではそう思う人が多く、八束郡や松江市は少ない。働き盛りの世代では、助力への期待度が低くなる傾向がある。

地域の過疎化については、地域差が顕著である。飯石郡、邑智郡、仁多郡、鹿足郡は過疎化が進展したと思う人が約8割であるのに対して、八束郡、簸川郡、松江市は約2割にとどまる。

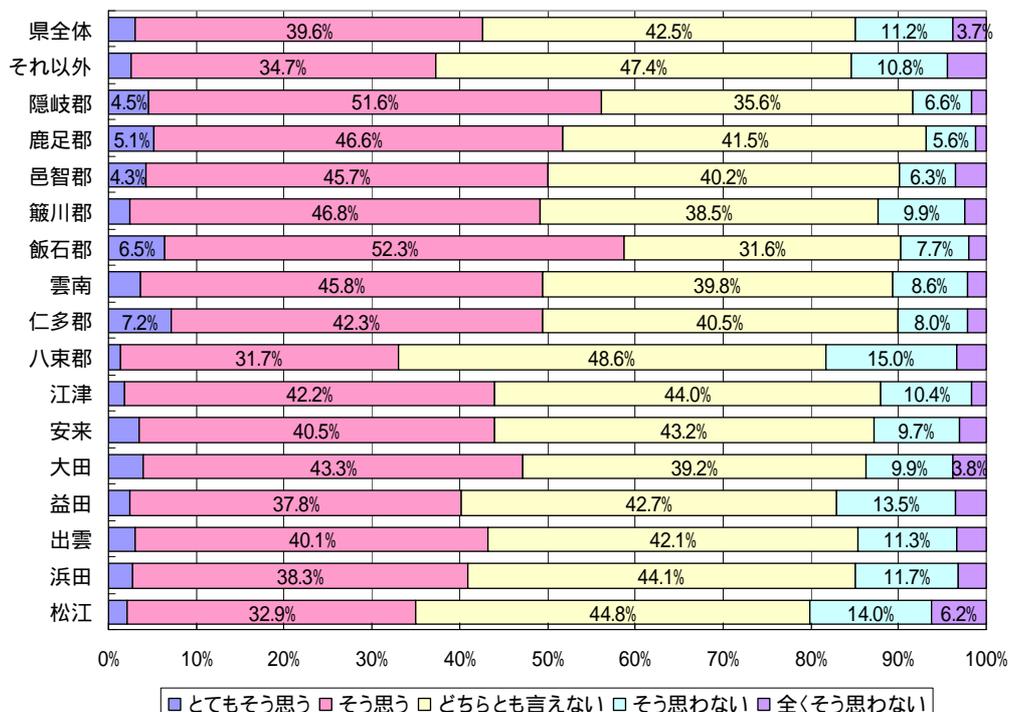
問41. あなたの地域は5年前に比べて安全性が変化しましたか。 <n=15,532>



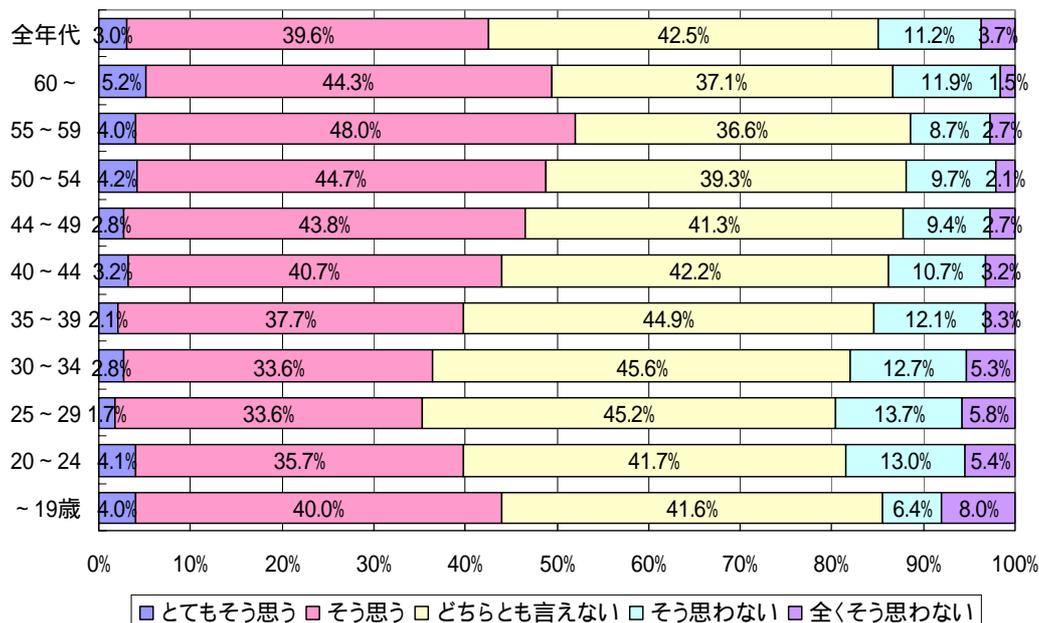
問 42 . 地域内ではもめごとはないと思いますか。 < n=15,546 >



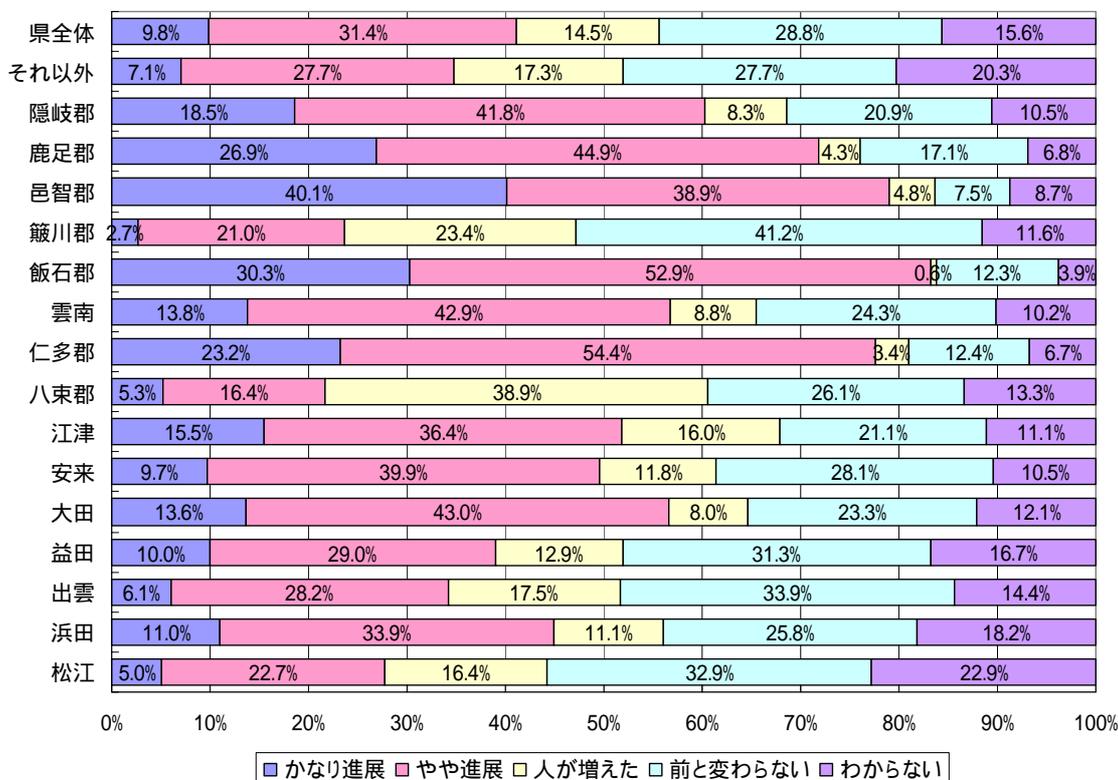
問 43 . 困ったときなどには隣人もしくは地域内から助力は得られると思いますか。



年代別 < n=15,604 >



問 44 . あなたの地域は 5 年前に比べて過疎化が進展しましたか。 < n=15,539 >



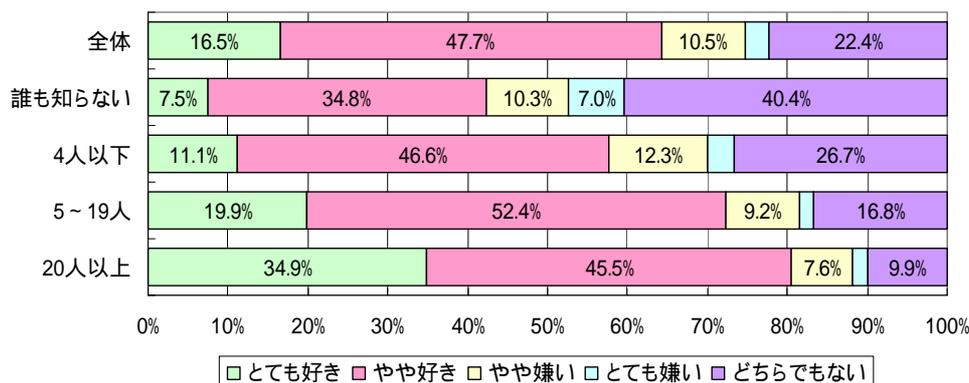
## (2) 地域への愛着

今の居住地域については、若い世代ほどよそへ移りたいと考える人が多いが、年齢が高くなるほど定住化の傾向が強くなる。

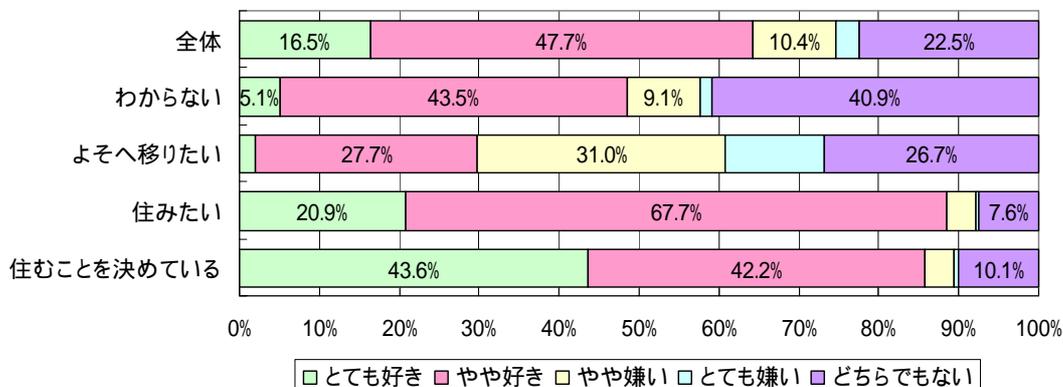
居住地域への愛着については、地域間で顕著な差が生じていないが、次のような点に特徴がみられる。

- ・ 男性の方がやや強い。
- ・ 年齢が上がるほど、愛着が強くなる。
- ・ 農業に従事している人はやや強い。
- ・ 5年後の日常生活がよくなると考えている人は強い。
- ・ 隣近所の関係が良好な人ほど強い。
- ・ 定住の意志が強い人ほど強い。
- ・ 隣近所の近況を知っている人やつきあいが深い人ほど強い。
- ・ 地域の人への信頼度が高い人、自治会活動に参加する人、地域への愛着が強い人は、他の地域の人にも信頼度が高くなる傾向がある。

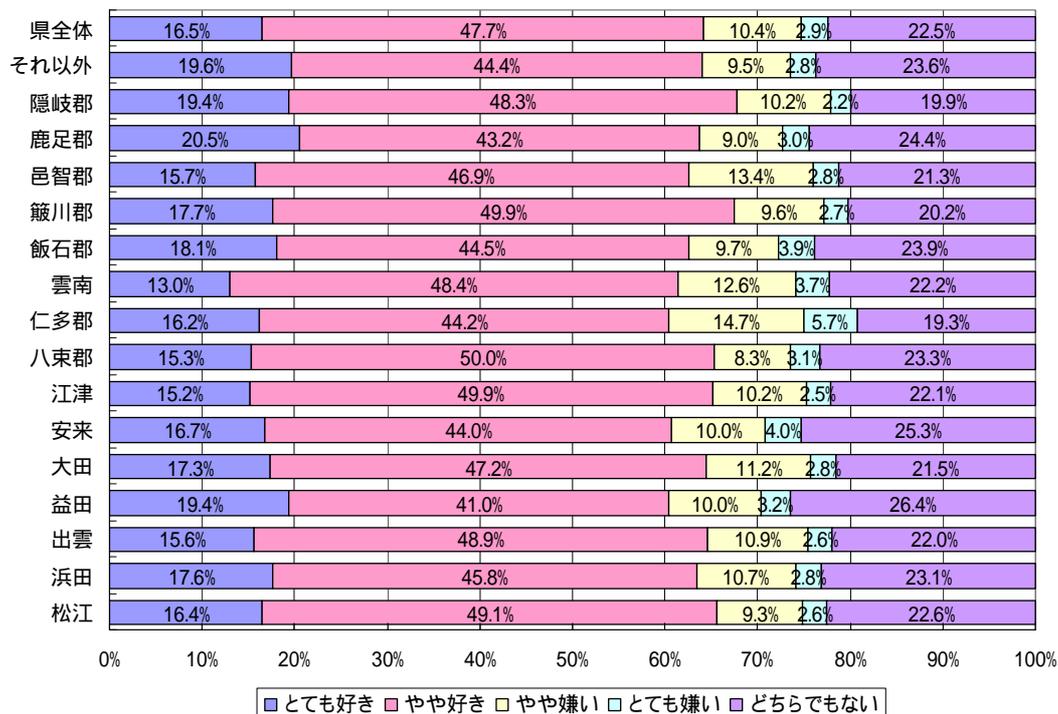
隣近所のつきあい人数と地域愛との関係 < n=15,554 >



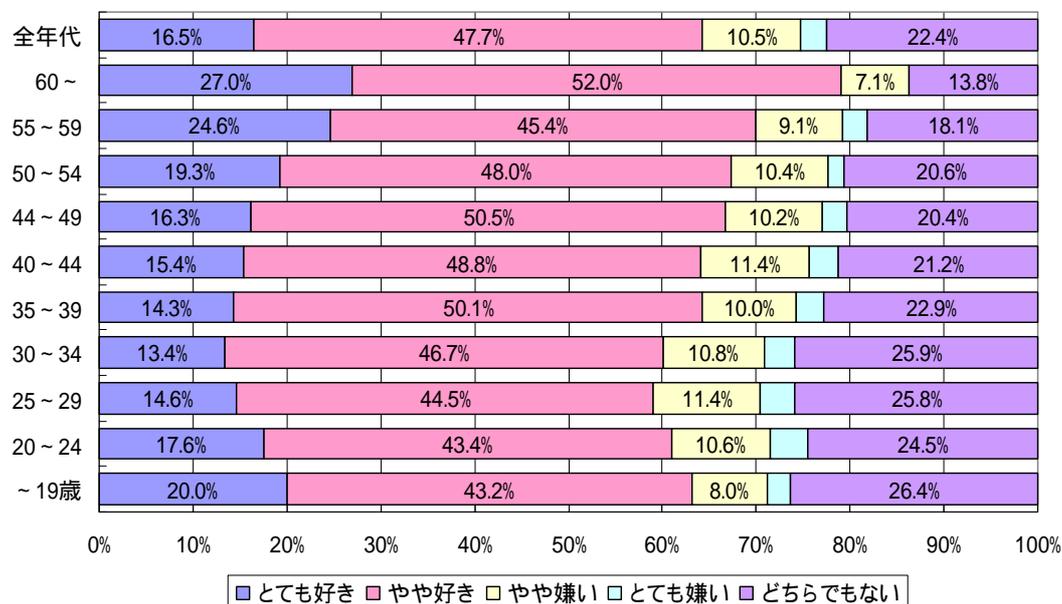
将来の居住地と地域愛との関係 < n=15,586 >



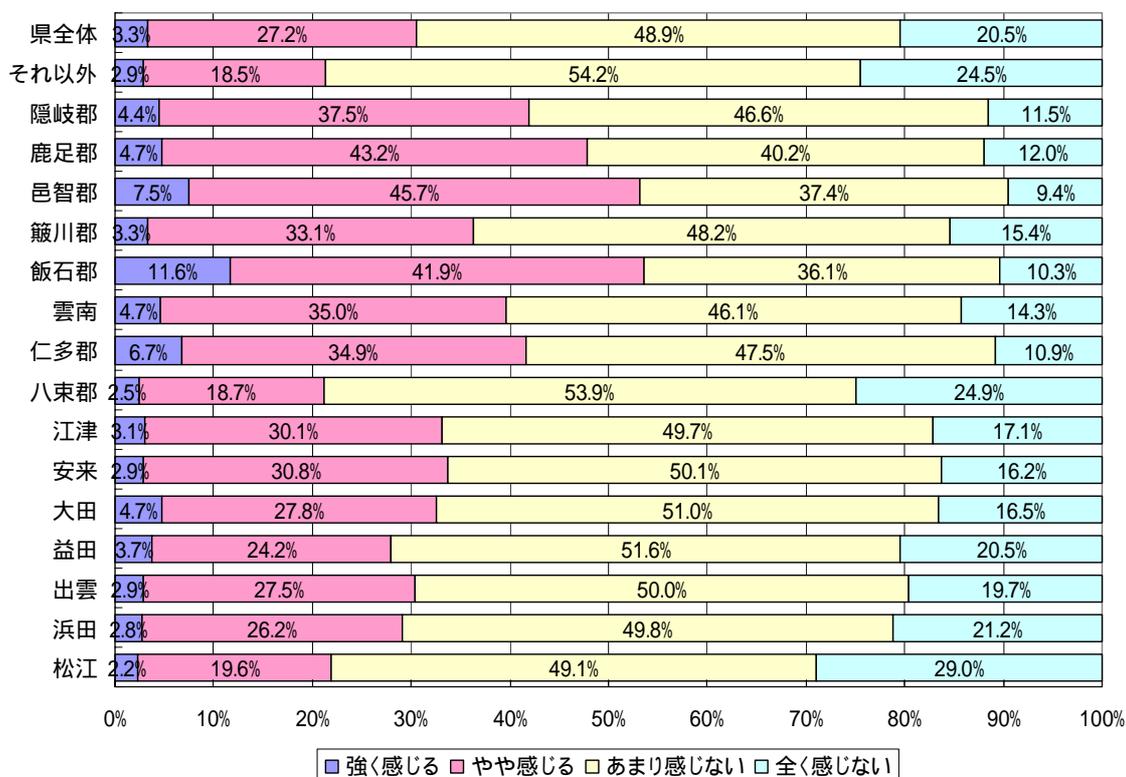
問 45 . あなたは自分の居住地域が好きですか。 < n=15,554 >



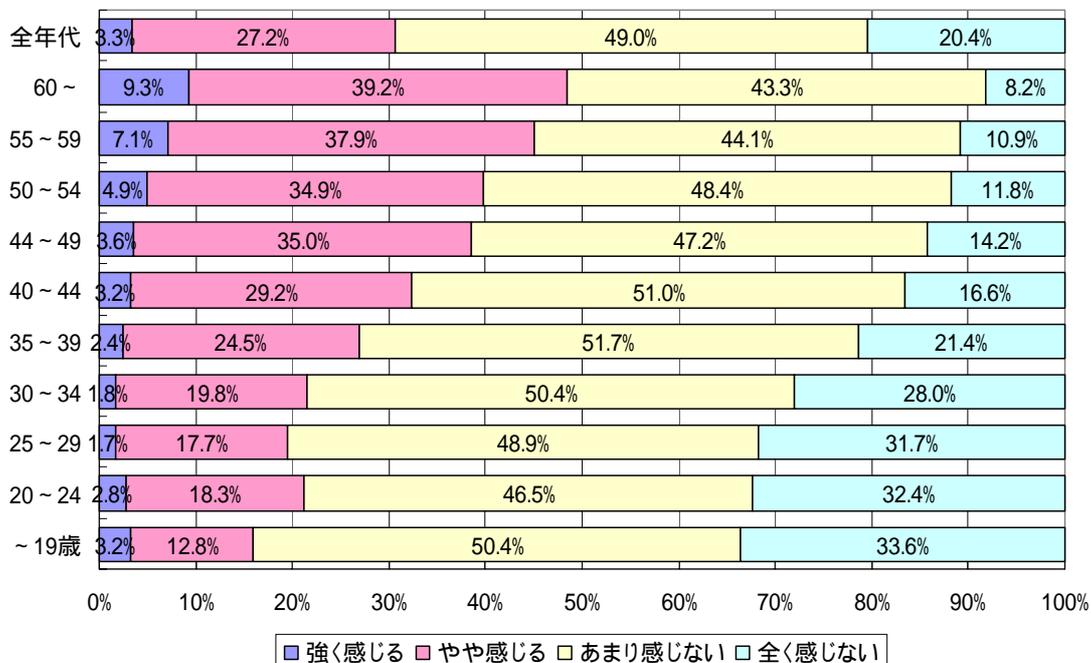
年代別 < n=15,601 >



問 46 . あなたは地域に必要とされていると感じますか。 <n=15,516 >



年代別 <n=15,564 >

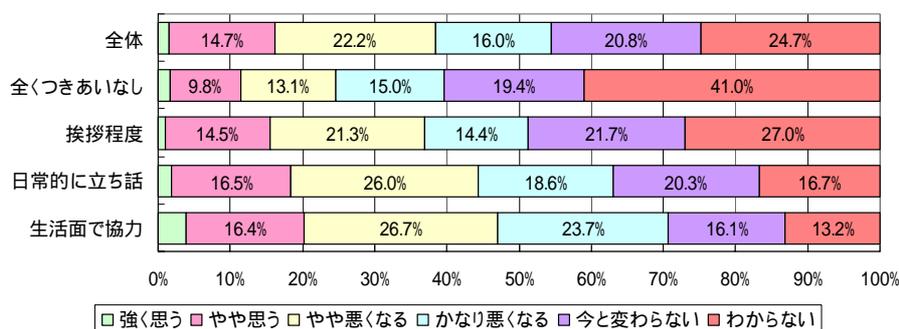


### (3) 地域の将来展望

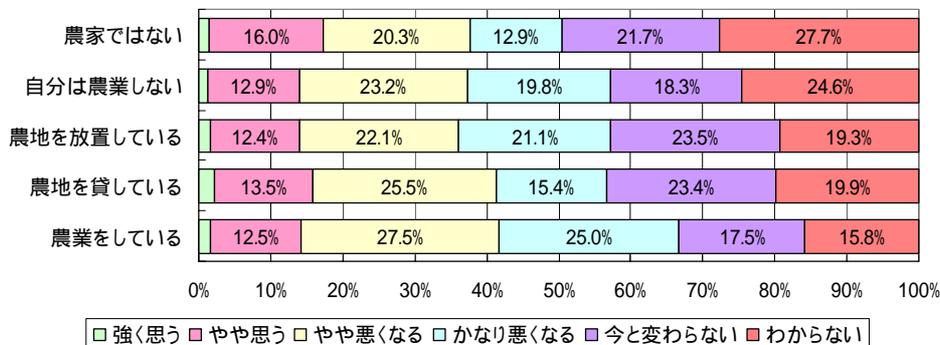
地域の過疎化については、飯石郡、仁多郡、邑智郡で8割が進展していると感じているが、八束郡、簸川郡、松江市では2～3割程度にとどまっている。

将来の暮らしやすさについては、現状維持又は良くなる考える人が2割弱だが、悪化すると考えている人は約4割である。とくに過疎地ほど悪化への危機感が強い。年代別に見ると、45～49歳の44%が将来悪くなると感じている。この他に、農業に従事している人、近所関係が良好な人、5年後の自分の生活が悪化すると考えている人が悲観的な見方をしている。

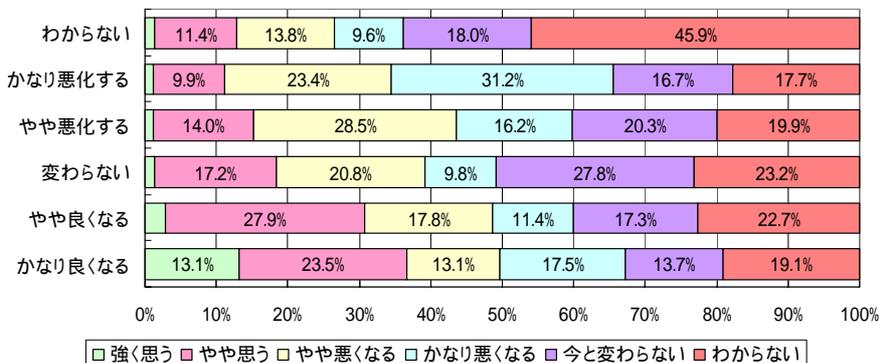
地域とのつきあいと地域の将来展望との関係 <n=15,571>



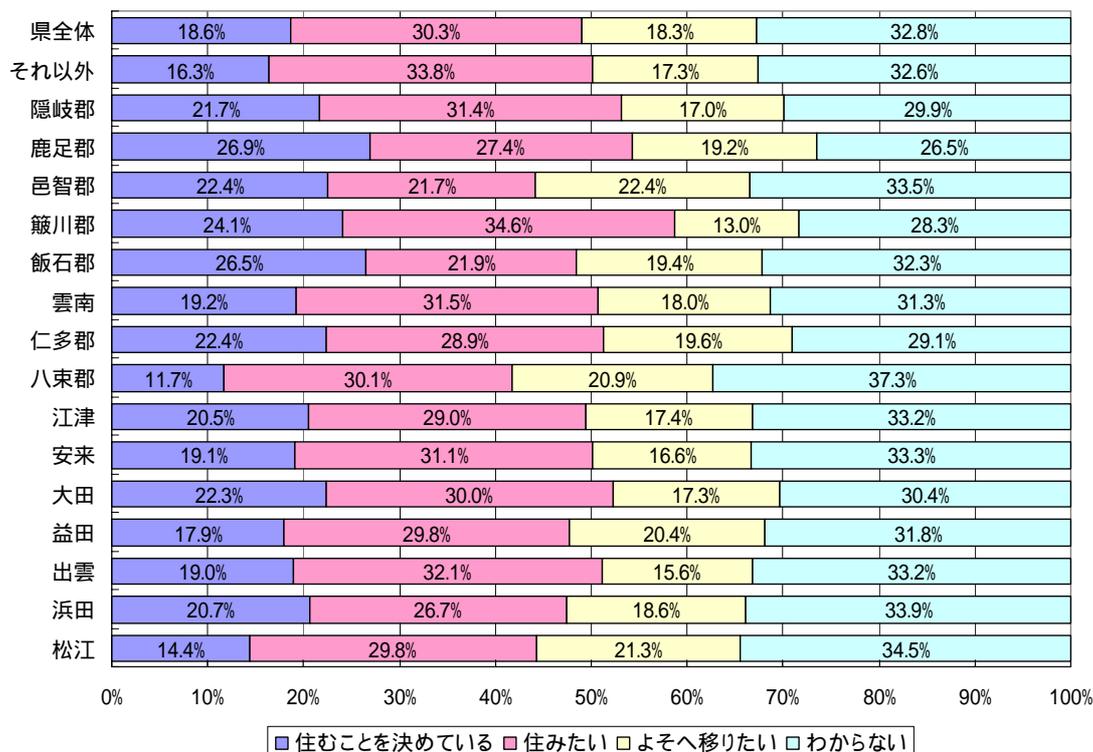
農業従事と地域の将来展望との関係 <n=15,501>



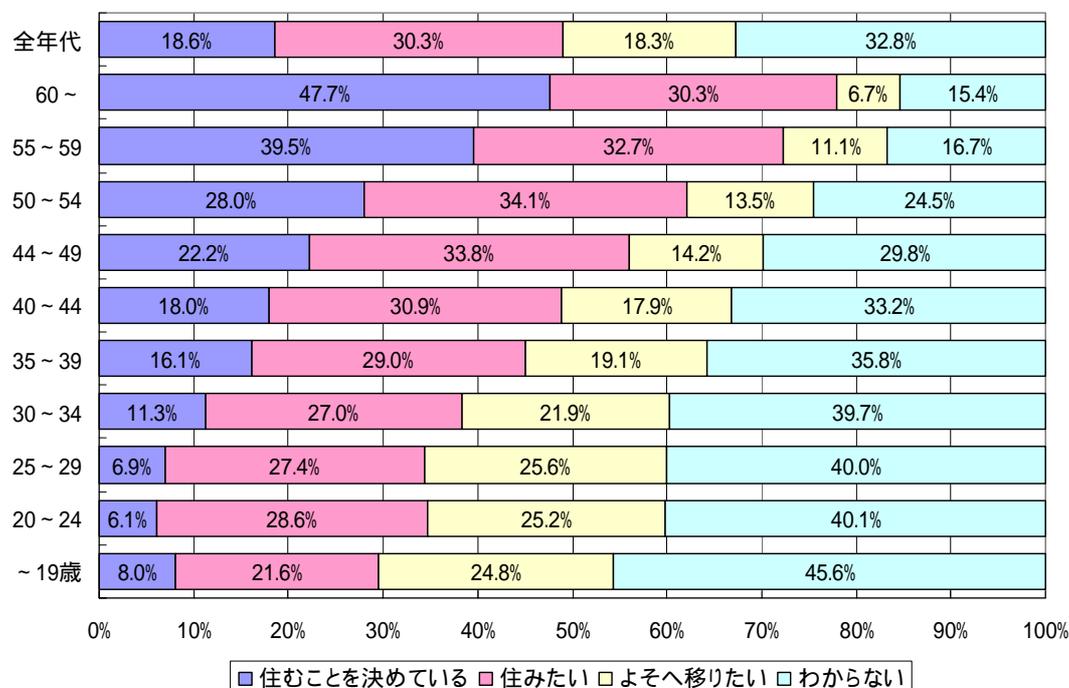
5年後の自分の生活への展望と地域の将来展望との関係 <n=15,542>



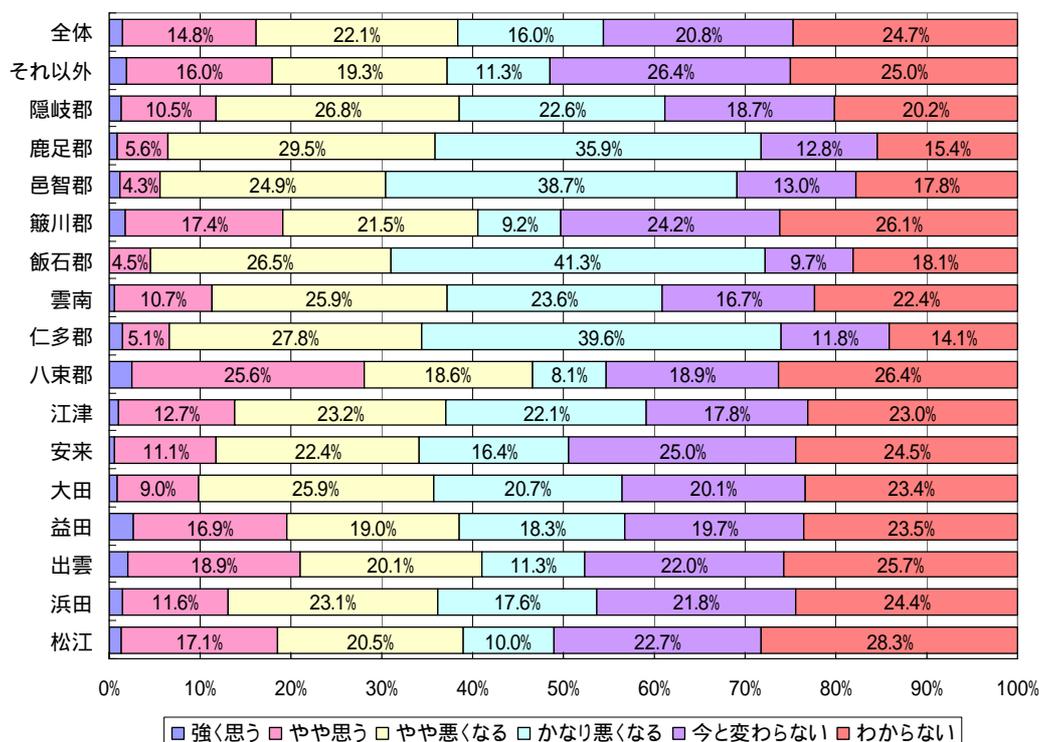
問 47 . あなたは老後も自分の地域に住みたいですか。 < n=15,547 >



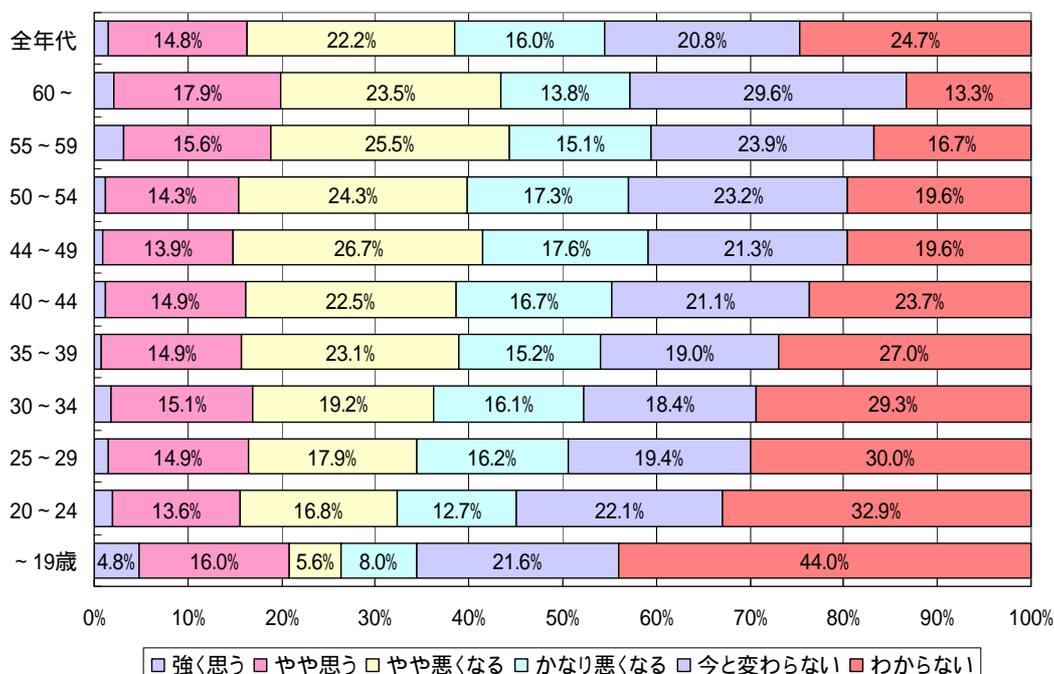
年代別 < n=15,595 >



問 48 . 将来、あなたの地域は一層暮らしやすくなると思いますか。 < n=15,552 >



年代別 < n=15,601 >



資料（質問票）

## 労働者の「生活満足度」についてのアンケートのお願い

この度、島根大学重点研究プロジェクト「中山間地域研究グループ」と連合島根は、組合員の皆様に「生活満足度」に関するアンケート調査を実施させて頂くことになりました。

近年、格差問題などの社会問題が顕在化し、様々な調査がなされていますが、島根県などの地方の実態が十分に明らかにされていません。この調査の目的は、島根県地域の労働者が「生活満足度」についてどのような考えをお持ちなのかを調査するものです。労働者の生活環境の改善策を立案するための基礎資料となるものです。質問項目は多数ありますが、より正確に「生活満足度」を構成する要因を調査するためのものです。

この調査はすべて統計的に処理されるので、個人情報が出るなどのご迷惑をおかけすることはありません。また、調査目的以外の利用はしません。

ご多忙のところ恐縮ですが、是非ともアンケート調査にご協力をお願い申し上げます。

島根大学重点研究プロジェクト「中山間地域研究グループ」  
連合島根

2008年1月

### アンケートの記入について

アンケートへの回答は、別紙の回答用紙にご記入下さい。

「回答記入欄」に該当する番号を HB の鉛筆 で正確に塗りつぶして下さい。

複数回答の場合、該当する番号を同列の回答番号欄で塗り潰して下さい。  
(例：1と3を回答する場合、**①** ② **③** ④ ⑤ )

ご記入後は、記入漏れがないかももう一度ご確認の上、配布されたルートの指示に従って、2月29日（金）まで提出して下さい。

#### 連絡先

島根大学法文学部 准教授 上園昌武

電話 / Fax : 0852-32-6137 E-mail : uezono@soc.shimane-u.ac.jp

連合島根 事務局長 堀内幹夫

電話 : 0852-21-8105

●まず、あなた自身のことについてお聞きします。

F 1 あなたの性別はどちらですか。

- 1 . 男性 2 . 女性

F 2 あなたの年齢は何歳ですか（2007年4月1日の満年齢）。

- 1 . ~19歳 2 . 20~24歳 3 . 25~29歳 4 . 30~34歳 5 . 35~39歳  
6 . 40~44歳 7 . 45~49歳 8 . 50~54歳 9 . 55~59歳 10 . 60歳以上

F 3 あなたは結婚していますか。

- 1 . 既婚（配偶者あり） 2 . 既婚（離別・死別） 3 . 未婚

F 4 あなたには子供がいますか。

- 1 . いる（同居） 2 . いる（別居） 3 . いない

F 5 あなたは親と同居していますか。

- 1 . 単身 2 . 夫婦のみ 3 . 核家族 4 . 親と同居（子供あり） 5 . 親と同居（子供なし）

F 6 あなたの最終学歴をお答えください。

- 1 . 中学校 2 . 高校 3 . 専修・各種学校 4 . 短大・高専 5 . 四年制大学 6 . 大学院

F 7 あなたの世帯全体の年収（税込み・一時金込み）をお答えください。

- 1 . 0~199万円 2 . 200~299万円 3 . 300~399万円 4 . 400~499万円  
5 . 500~599万円 6 . 600~699万円 7 . 700~799万円 8 . 800~999万円  
9 . 1000~1199万円 10 . 1200万円~

F 8 あなたの職場の業種をお答えください。

- 1 . 建設業 2 . 食・飲料 3 . 繊維 4 . 合板 5 . パルプ・紙 6 . 印刷  
7 . 鉄鋼・金属 8 . 一般機械 9 . 電気機器 10 . 輸送機器 11 . 電気・通信  
12 . 鉄道・バス 13 . 道路貨物 14 . 卸・小売 15 . 農協 16 . 自動車学校  
17 . 金融・保険 18 . 公務員 19 . その他

F 9 あなたの職場（会社）の規模をお答え下さい。

- 1 . ~29人 2 . 30~99人 3 . 100~299人 4 . 300~999人 5 . 1000人~

F 10 あなたの職種をお答えください。

- 1 . 管理職 2 . 専門・技術職 3 . 事務職 4 . 営業職 5 . 現場作業 6 . その他

F 11 あなたの今の職場での勤続年数をお答えください。

- 1 . 1年未満 2 . 1~5年 3 . 6~10年 4 . 11~15年 5 . 16~20年 6 . 21~30年  
7 . 31年以上

F12 あなたの平均的な1週間の労働時間（時間外労働を含む）をお答えください。

1. 10時間未満
2. 10～19時間
3. 20～29時間
4. 30～34時間
5. 35～39時間
6. 40～44時間
7. 45～49時間
8. 50～54時間
9. 55～59時間
10. 60時間以上

F13 あなたの平均的な1週間の労働時間のうち、時間外労働をお答えください。

1. ない
2. 1～4時間
3. 5～9時間
4. 10～14時間
5. 15～19時間
6. 20～24時間
7. 25～29時間
8. 30～34時間
9. 35～39時間
10. 40時間以上

F14 あなたの片道の通勤時間をお答え下さい。

1. 10分未満
2. 10～19分
3. 20～29分
4. 30～39分
5. 40～49分
6. 50～59分
7. 60～69分
8. 70～79分
9. 80～89分
10. 90分以上

F15 あなたの家の形態をお答え下さい。

1. 一軒家（親と同居）
2. 一軒家（親と同居せず）
3. 高層住宅（持ち家）
4. 賃貸住宅（アパート等）
5. 社宅・寮

F16 あなたの居住地域をお答え下さい。

1. 松江市
2. 浜田市
3. 出雲市
4. 益田市
5. 大田市
6. 安来市
7. 江津市
8. 八束郡
9. 仁多郡
10. 雲南市
11. 飯石郡
12. 簸川郡
13. 邑智郡
14. 鹿足郡
15. 隠岐郡
16. それ以外

F17 あなたの家は農家ですか。また、ご自身が農業をしていますか。

1. 農地を持って農業をしている
2. 農地を持っているが、一部又は全部を人に貸している
3. 農地を持っているが放置している
4. 農家だが自分は農業をしていない
5. 農家でない

F18 F17で1と答えた方にお聞きします。田植えや収穫時はどうしていますか。

1. 会社などを休んで従事する
2. 早朝や夕方に従事する
3. 人を雇う

F19 F17で1と答えた方にお聞きします。仕事をしながら農業をすることをどう考えますか。

1. 現状のまま農業を続けたい
2. いずれ農業をやめたい（仕事との両立が困難）
3. いずれ農業をやめたい（体力的に両立が困難）
4. 農業に重点を移していきたい

Q1 あなたの労働環境についてお聞きします。

●職場と労働状況

問1. あなたの会社の経営状況は昨年に比べて良好ですか。

1. 良好
2. やや良好
3. 変わらない
4. やや悪化
5. 悪化

問2. あなたの賃金（税込み）は昨年に比べて上昇しましたか。

1. 大きく増えた
2. やや増えた
3. 変わらない
4. やや減った
5. 大きく減った

問3. あなたは昨年に比べて残業が増えましたか。

1. 大きく増えた
2. やや増えた
3. 変わらない
4. やや減った
5. 大きく減った

問4. 問3で1と2と答えた方にお聞きします。理由は何ですか（3つまで回答可）。

<回答番号「問4」に、該当する回答を3つまで塗りつぶして下さい。>

1. 会社の業績がよい
2. 会社の業績が悪化
3. 仕事量が多い
4. 同僚が減った
5. 新しい仕事が増えた
6. 上司・同僚のやり方が非効率
7. 自分のやり方が非効率

## ●ストレス

問5. あなたは自分の健康状態にどの程度満足していますか。

1. 非常に満足
2. 満足
3. どちらでもない
4. 不満
5. 全く不満

問6. あなたは日常的にストレスを感じますか。

1. 強く感じる
2. やや感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない

問7. 問6で1と2と答えた方にお聞きします。要因は何ですか（3つまで回答可）。

1. 仕事の内容
2. 労働時間の長さ
3. 「自由な時間」が足りない
4. 家族関係
5. 地域関係
6. 自分の健康状態

問8. 問7で1と答えた方にお聞きします。要因は何ですか（2つまで回答可）。

1. ノルマ
2. 評価・査定
3. 今の仕事内容が合わない
4. 自分の能力不足
5. 職場での人間関係

問9. あなたはうつ病が自分にも起こりうる、又は起こりえたと感じますか。

1. 強く感じる
2. やや感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない

問10. 問9で1と2に答えた方にお聞きします。要因は何ですか（2つまで回答可）。

1. 仕事量が多い
2. 仕事内容が難しい
3. 労働時間が長い
4. 職場での人間関係
5. 相談相手がいない

問11. あなたは今の仕事に働き甲斐を感じますか。

1. 強く感じる
2. やや感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない

問12. あなたは今の職場で必要とされていると感じますか。

1. 強く感じる
2. やや感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない

●転職願望と失業への認識

問 13. あなたは転職したいと思うことがありますか。

1. 頻繁に思う 2. たまに思う 3. 全く思わない

問 14. 問 13 で 1 と 2 と答えた方にお聞きします。理由は何ですか (2 つまで回答可)。

1. 労働条件・職場への不満 2. 身分が不安定 3. 自分の可能性 4. よそへ引越したい

問 15. あなたは 5 年後に失業する可能性があると思いますか。

1. 強く思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない 5. わからない  
6. 定年・早期退職

問 16. あなたは、島根県内でいわゆる「ワーキングプア」の人を知っていますか。

「ワーキングプア」とは、正社員並みにフルタイムで働いても(またはその意思があっても)生活保護の支給額にも満たない収入しか得られない就業者のこと

1. 自分自身 2. 家族にいる 3. 友人・知人にいる 4. 誰も知らない

Q 2 あなたの「自由な時間」についてお聞きします。

●「自由な時間」への必要度・優先度

問 17. あなたは睡眠時間が十分にあると思いますか。

1. 十分 2. やや十分 3. やや不足 4. 全く足りない

問 18. あなたは「自由な時間」(趣味、くつろぎ、交際等)が十分にあると思いますか。

1. 十分 2. やや十分 3. やや不足 4. 全く足りない

問 19. あなたは、現状の夏休み(盆)と冬休み(正月)の期間が十分だと思いますか。

1. 十分 2. やや十分 3. やや不足 4. 全く足りない 5. わからない

問 20. あなたは、毎年どのくらい夏休みと冬休みの期間が必要ですか。

(ア)夏休み

1. 0日 2. 1~3日 3. 4~6日 4. 1週間 5. 2週間 6. 3週間 7. 1ヶ月

(イ)冬休み

1. 0日 2. 1~3日 3. 4~6日 4. 1週間 5. 2週間 6. 3週間 7. 1ヶ月

問 21. 夏休み・冬休みで何をしたいですか (3 つまで回答可)。

1. 自宅で過ごす 2. 海外旅行 3. 国内旅行 4. 自分を磨く 5. 趣味 6. 読書  
7. わからない

Q3 あなたの生活についてお聞きします。

●生活状況への認識

問22. あなたは今の日常生活に満足していますか。

1. とても満足 2. やや満足 3. やや不満 4. とても不満

問23. あなたは現在の生活（収入・支出）が苦しいと感じますか。

1. とても苦しい 2. やや苦しい 3. ややゆとりがある 4. とてもゆとりがある

問24. 問23で1と2と答えた方にお聞きします。理由は何ですか（3つまで回答可）。

1. 自分の収入が減少 2. 配偶者の収入が減少 3. 大きな買い物をした  
4. 子供の教育・養育費 5. 介護費 6. 老後の貯蓄

問25. 5年後のあなたの日常生活がどのように変化すると思いますか。

1. かなり良くなる 2. やや良くなる 3. 変わらない 4. やや悪化する  
5. かなり悪化する 6. わからない

●家族との関係

問26. あなたは家族とのコミュニケーションが十分できていますか。

1. 十分できている 2. ややできている 3. やや不足 4. 不十分 5. 家族がいない

問27. あなたは家族にとって必要とされていると感じますか。

1. 強くそう思う 2. そう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問28. 子供のいる方にお聞きします。あなたは日常で家族と食事を一緒にとりますか。

1. ほぼ毎日 2. 週の半分以上 3. 週に2、3日 4. 週に1日 5. 全くない

問29. 仕事、家庭生活、地域・個人の生活について、あなたの希望に最も近いものはどれですか。

1. 「仕事」を優先したい 2. 「家庭生活」を優先したい 3. 「地域・個人の生活」を優先したい  
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい 5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい  
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい 7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい  
8. わからない

問30. 次の中で、あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。

1. 「仕事」を優先している 2. 「家庭生活」を優先している 3. 「地域・個人の生活」を優先している  
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している 5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している  
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している 7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している  
8. わからない

Q 4 あなたの地域についてお聞きします。

●地域（町内会・自治会・集落）でのコミュニケーション

問 31. あなたのお住まいの町内会・自治会の規模はどの程度ですか。

1. 9世帯以下 2. 10～19世帯 3. 20～49世帯 4. 50～99世帯 5. 100～199世帯  
6. 200～299世帯 7. 300～499世帯 8. 500世帯以上

問 32. あなたは隣近所の家族構成や近況を知っていますか。

1. よく知っている 2. やや知っている 3. あまり知らない 4. 全く知らない

問 33. あなたは隣近所とどの程度のつき合いをしていますか。

1. 生活面で協力 2. 日常的に立ち話をする 3. 挨拶程度のつき合い 4. 全くしていない

問 34. あなたは隣近所のどの程度の人とつき合いをしていますか。

1. かなり多くの人と交流がある（概ね20人以上） 2. ある程度の人と交流がある（概ね5～19人） 3. ごく少数の人と交流がある（概ね4人以下） 4. 隣の人が誰かも知らない

問 35. あなたは地域の人を信頼できますか。

1. 殆どの方は信頼できる 2. やや信頼できる 3. どちらともいえない 4. あまり信頼できない 5. 注意するに越したことはない

問 36. 一般的に（地域以外の見知らぬ土地などで出会う）他人を信頼できますか。

1. 殆どの方は信頼できる 2. やや信頼できる 3. どちらともいえない 4. あまり信頼できない 5. 注意するに越したことはない

問 37. あなたは町内会や自治会が必要だと思いますか。

1. とても必要 2. やや必要 3. あまり必要ではない 4. 不要

問 38. 問 37 で 1 と 2 と答えた方にお聞きします。理由は何ですか（2 つまで回答可）。

1. 祭りや行事の運営 2. 地域の安全 3. 助け合える 4. 友人が増える

問 39. あなたは町内会や自治会の活動に参加していますか。

（ア）義務的な活動（環境整備）

1. よく参加 2. たまに参加 3. 全く参加しない 4. 自分以外の家族が参加  
5. 今後参加したい

（イ）楽しみ活動（祭りなど）

1. よく参加 2. たまに参加 3. 全く参加しない 4. 自分以外の家族が参加  
5. 今後参加したい

（ウ）趣味の活動・サークル

1. よく参加 2. たまに参加 3. 全く参加しない 4. 自分以外の家族が参加  
5. 今後参加したい

問 40. あなたはボランティア活動・NPO・市民活動に参加していますか。

1. 参加している
2. 今後参加したい
3. 参加していない
4. 今後も参加しない
5. わからない

●地域の現状と将来展望

問 41. あなたの地域は5年前に比べて安全性が変化しましたか。

1. とても危険
2. やや危険
3. やや安全
4. 大きく安全
5. 前と変わらない
6. わからない

問 42. 地域内ではもめごとはないと思いますか。

1. とてもそう思う
2. そう思う
3. どちらとも言えない
4. そう思わない
5. 全くそう思わない

問 43. 困ったときなどには隣人もしくは地域内から助力は得られると思いますか。

1. とてもそう思う
2. そう思う
3. どちらとも言えない
4. そう思わない
5. 全くそう思わない

問 44. あなたの地域は5年前に比べて過疎化が進展しましたか。

1. かなり進展
2. やや進展
3. 人が増えた
4. 前と変わらない
5. わからない

問 45. あなたは自分の居住地域が好きですか。

1. とても好き
2. やや好き
3. やや嫌い
4. とても嫌い
5. どちらでもない

問 46. あなたは地域に必要とされていると感じますか。

1. 強く感じる
2. やや感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない

問 47. あなたは老後も自分の地域に住みたいですか。

1. 住むことを決めている
2. 住みたい
3. よそへ移りたい
4. わからない

問 48. 将来、あなたの地域は一層暮らしやすくなると思いますか。

1. 強く思う
2. やや思う
3. やや悪くなる
4. かなり悪くなる
5. 今と変わらない
6. わからない

**アンケートへのご記入、有り難うございました。**